平成２９年度

秋田県学習状況調査

調 査 結 果 報 告 書

平成３０年２月

秋田県教育委員会

ま　え　が　き

県教育委員会では、平成２９年１２月に、小学校第４学年から中学校第２学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。

この調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少人数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、本県の教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

この調査では、小学校第４学年が国語、算数、理科の３教科、小学校第５・第６学年が国語、社会、算数、理科の４教科、中学校第１・２学年が国語、社会、数学、理科、英語の５教科の教科に関する調査と、全ての学年で「学習習慣や学校生活についての意識」「各教科等の学習に対する意識」「読書についての意識」など、学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。

教科に関する調査の特色として、全国学力・学習状況調査Ｂ問題の出題趣旨を踏まえた問題を全ての教科で出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするため、複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題いたしました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査では、全国学力・学習状況調査の質問項目と対応させることにより、各学校が調査結果を比較・分析して自校の児童生徒の学習に対する意識等を的確に捉え、学習指導の一層の改善・充実に役立てることができるようにいたしました。

４月に実施された全国学力・学習状況調査は今年度で１０回目となりましたが、児童生徒質問紙の調査結果からは、この間、本県児童生徒の学習習慣、生活習慣等について大きな改善がなされていることが見て取れます。今年度で１６回目の悉皆調査となった本調査においても、同様の傾向がうかがえます。このことは、各学校が全国学力・学習状況調査及び県学習状況調査を併せて分析し、学習指導の改善・充実にきめ細かに取り組んできたことの現れと捉えております。

本報告書は、平成２９年度の学習状況調査の結果に基づき、全県的な状況や教科における授業改善のポイント等をまとめたものです。各学校や教育委員会においては、本報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育施策の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校の皆様に心から御礼申し上げます。

平成３０年２月

秋田県教育委員会

目　　次

1　調査の概要 ---------- 1

2　調査の特徴、用語等 ---------- 2

3　調査結果の概要 ---------- 3
(1) 教科に関する調査の結果
① 設定通過率との比較 ---------- 3
② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較 ---------- 4
③ 類似問題との比較 ---------- 5
④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較 ---------- 6

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果
① 学習全般についての結果概要 ---------- 11
② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要 ---------- 11
③ 学習全般について ---------- 12
④ 生活全般について ---------- 14
⑤ 家庭学習について ---------- 18
⑥ 授業について ---------- 19
⑦ 各教科等の学習に対する意識について ---------- 21
⑧ 読書について ---------- 30

4　結果と考察 ---------- 31

本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。

(1) 国語
・小学校第４学年 ---------- 32
・小学校第５学年 ---------- 36
・小学校第６学年 ---------- 40
・中学校第１学年 ---------- 44
・中学校第２学年 ---------- 48

(2) 社会
・小学校第５学年 ---------- 52
・小学校第６学年 ---------- 56
・中学校第１学年 ---------- 60
・中学校第２学年 ---------- 64

(3) 算数、数学
・小学校第４学年 ---------- 68
・小学校第５学年 ---------- 72
・小学校第６学年 ---------- 76
・中学校第１学年 ---------- 80
・中学校第２学年 ---------- 84

(4) 理科
・小学校第４学年 ---------- 88
・小学校第５学年 ---------- 92
・小学校第６学年 ---------- 96
・中学校第１学年 ---------- 100
・中学校第２学年 ---------- 104

(5) 英語
・中学校第１学年 ---------- 108
・中学校第２学年 ---------- 112

5　平均通過率の度数分布グラフ ---------- 117

平成２９年度
秋田県学習状況調査

１　調査の概要

２　調査の特徴・用語等

３　調査結果の概要

1　調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

校種・学年 / 実施教科等	小　学　校 (人)			中　学　校 (人)	
	第４学年	第５学年	第６学年	第１学年	第２学年
国　　語	７，２３６	７，４１３	７，３３７	７，４７０	７，４５６
社　　会		７，４０９	７，３３７	７，４６７	７，４５８
算数・数学	７，２３４	７，４１０	７，３３８	７，４７３	７，４５５
理　　科	７，２３３	７，４１３	７，３４２	７，４７８	７，４５３
英　　語				７，４７７	７，４５６
学習の意欲等に関するアンケート	７，２３８	７，３８７	７，３４４	７，４８９	７，４８５
参　加　者	７，２３８	７，４１３	７，３４４	７，４８９	７，４８５
小・中ごとの参加者計	２１，９９５			１４，９７４	
参加者合計	３６，９６９				

(3) 出題内容

①　基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

②　出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

(4) 調査実施日

小学校　　平成２９年１２月　６日（水）

中学校　　平成２９年１２月　７日（木）

2　調査の特徴、用語等

(1) 特徴

①　評価規準の設定

・観点別評価の実施

・調査する基礎・基本の明確化

②　設定通過率の設定

・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定

③　教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握

・多面的な学力の把握

④　過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較

・学力の経年変化の把握

⑤　複数学年にわたる共通問題

・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握

・県の課題についての改善状況の把握

⑥　思考力、判断力、表現力に関する問題

・全国学力・学習状況調査Ｂ問題の出題趣旨を踏まえた問題

・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題

⑦　秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題

・改善状況の把握

⑧　調査結果の活用の工夫

・各学校における結果分析に基づいた指導の改善

・報告書の作成

(2) 用語

①　通過率

・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合

（各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%）

②　平均通過率

・全問題の通過率の平均

③　設定通過率

・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足」な状況とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）

④　正答数別度数分布

・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ

⑤　小問別通過率度数分布表

・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。

・各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

3　調査結果の概要

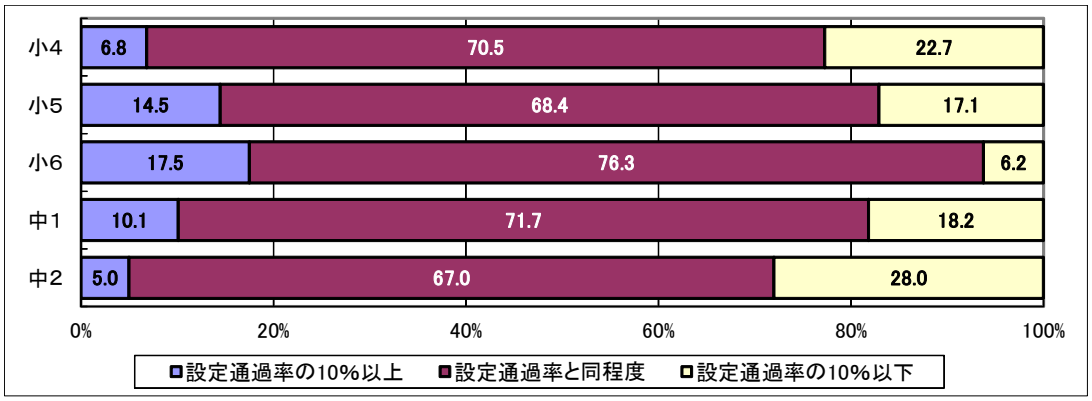
(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第４学年が77.3%、小学校第５学年が82.9%、小学校第６学年が93.8%、中学校第１学年が81.8%、中学校第２学年が72.0%であった。昨年度に比べて、小学校６学年は13.8ポイント、中学校第１学年は5.8ポイント高くなっている。

・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第４、６学年国語、第５、６学年社会、第５、６学年理科、中学校では第１学年英語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、小学校第５学年国語、中学校第２学年社会、数学、理科であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校　種	教　科	学　　年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国　語	第４学年	73.3	72.9	0.4	75.0%
		第５学年	60.1	70.6	-10.5	56.3%
		第６学年	72.4	72.3	0.1	90.0%
	社　会	第５学年	76.2	72.8	3.4	95.0%
		第６学年	79.8	74.0	5.8	100.0%
	算　数	第４学年	72.2	72.3	-0.1	80.0%
		第５学年	68.7	71.8	-3.1	80.0%
		第６学年	70.2	70.3	-0.1	90.0%
	理　科	第４学年	67.3	72.1	-4.8	75.0%
		第５学年	77.9	74.5	3.4	95.0%
		第６学年	79.7	75.0	4.7	95.0%
中学校	国　語	第１学年	64.7	70.5	-5.8	80.0%
		第２学年	64.6	70.3	-5.7	75.0%
	社　会	第１学年	69.8	70.8	-1.0	90.0%
		第２学年	59.1	70.0	-10.9	65.0%
	数　学	第１学年	67.7	70.3	-2.6	75.0%
		第２学年	59.7	70.0	-10.3	75.0%
	理　科	第１学年	68.2	71.3	-3.1	75.0%
		第２学年	58.1	70.5	-12.4	70.0%
	英　語	第１学年	75.1	73.4	1.7	89.5%
		第２学年	70.7	70.8	-0.1	75.0%

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれ以上（＋10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較

・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では国語の「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の全観点、算数の全観点、理科の全観点であった。一方、中学校では、国語の「話すこと・聞くこと」と「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の「技能」と「知識・理解」、数学の「考え方」と「知識・理解」、理科の「思考・表現」、英語の「理解の能力」と「言語や文化についての知識・理解」であった。

・通過率が設定通過率を下回る問題は、小・中学校ともに、国語では「読むこと」、他教科では「思考・判断・表現」や「技能」の観点のものが多かった。

＜小学校＞

教科名	観点又は領域	問題数	＋10%より高い	±10%の範囲内	－10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	3	0 （ 0.0% ）	1 （ 33.3% ）	2 （ 66.7% ）
	書くこと	3	0 （ 0.0% ）	3 （ 100.0% ）	0 （ 0.0% ）
	読むこと	16	0 （ 0.0% ）	10 （ 62.5% ）	6 （ 37.5% ）
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	26	0 （ 0.0% ）	22 （ 84.6% ）	4 （ 15.4% ）
社会	思考・判断・表現	13	4 （ 30.8% ）	9 （ 69.2% ）	0 （ 0.0% ）
	技能	13	2 （ 15.4% ）	11 （ 84.6% ）	0 （ 0.0% ）
	知識・理解	14	3 （ 21.4% ）	10 （ 71.4% ）	1 （ 7.1% ）
算数	考え方	21	4 （ 19.0% ）	12 （ 57.1% ）	5 （ 23.8% ）
	技能	20	2 （ 10.0% ）	17 （ 85.0% ）	1 （ 5.0% ）
	知識・理解	19	2 （ 10.5% ）	13 （ 68.4% ）	4 （ 21.1% ）
理科	思考・表現	26	8 （ 30.8% ）	16 （ 61.5% ）	2 （ 7.7% ）
	技能	9	1 （ 11.1% ）	7 （ 77.8% ）	1 （ 11.1% ）
	知識・理解	17	1 （ 5.9% ）	14 （ 82.4% ）	2 （ 11.8% ）

＜中学校＞

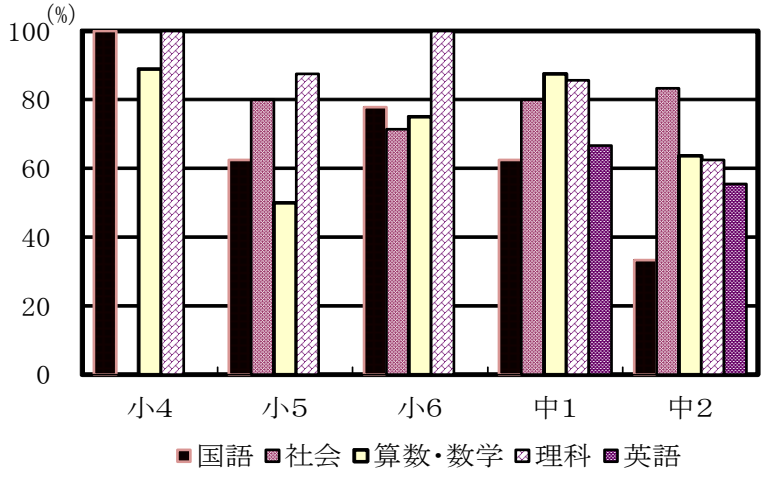
教科名	観点又は領域	問題数	＋10%より高い	±10%の範囲内	－10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	5	0 （ 0.0% ）	5 （ 100.0% ）	0 （ 0.0% ）
	書くこと	2	0 （ 0.0% ）	2 （ 100.0% ）	0 （ 0.0% ）
	読むこと	12	0 （ 0.0% ）	7 （ 58.3% ）	5 （ 41.7% ）
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	1 （ 4.8% ）	16 （ 76.2% ）	4 （ 19.0% ）
社会	思考・判断・表現	11	0 （ 0.0% ）	7 （ 63.6% ）	4 （ 36.4% ）
	技能	11	0 （ 0.0% ）	9 （ 81.8% ）	2 （ 18.2% ）
	知識・理解	18	2 （ 11.1% ）	13 （ 72.2% ）	3 （ 16.7% ）
数学	考え方	12	2 （ 16.7% ）	8 （ 66.7% ）	2 （ 16.7% ）
	技能	14	1 （ 7.1% ）	8 （ 57.1% ）	5 （ 35.7% ）
	知識・理解	14	0 （ 0.0% ）	11 （ 78.6% ）	3 （ 21.4% ）
理科	思考・表現	20	1 （ 5.0% ）	14 （ 70.0% ）	5 （ 25.0% ）
	技能	6	0 （ 0.0% ）	4 （ 66.7% ）	2 （ 33.3% ）
	知識・理解	14	1 （ 7.1% ）	9 （ 64.3% ）	4 （ 28.6% ）
英語	表現の能力	7	0 （ 0.0% ）	5 （ 71.4% ）	2 （ 28.6% ）
	理解の能力	26	5 （ 19.2% ）	16 （ 61.5% ）	5 （ 19.2% ）
	言語や文化についての知識・理解	6	2 （ 33.3% ）	4 （ 66.7% ）	0 （ 0.0% ）

③　類似問題との比較

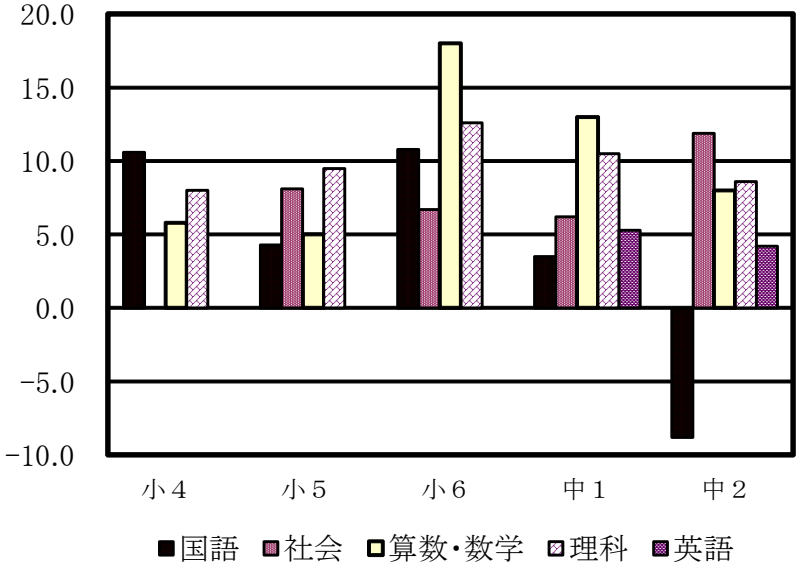
・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では91問中71問（78.0%）、中学校では91問中62問（68.1%）であり、全体では昨年度より0.6ポイント高くなっている。学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第４学年の国語、算数、理科、第５学年の社会、理科、第６学年の全教科であった。中学校では第１学年の社会、数学、理科、第２学年の社会であった。

・類似問題の通過率の平均を比較すると、ほとんどの学年・教科で過去の通過率の平均を上回っている。

類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合



類似問題において過去の通過率を基準とした今年度の通過率



④　各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設　定：設定通過率
通過率：全県平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	70	71.6	
小4	2)	85	91.0	
小4	3)	70	66.8	
小4	4)	80	87.4	77.8
小4	5)	80	88.3	
小4	6)	60	47.4	39.5
小4	7)	85	90.1	
小4	8)	60	49.3	43.7
小4	9)	80	85.8	
小4	10)	60	42.4	
小4	11)	60	68.5	49.4
小4	12)	85	91.3	

設定通過率	72.9		
平均通過率		73.3	
類似問題		63.2	52.6

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	95	94.0	
小5	2)	80	77.9	
小5	3)	75	71.6	
小5	4)	90	90.0	
小5	5)	60	42.0	63.9
小5	6)	60	39.6	47.9
小5	7)	85	84.6	74.4
小5	8)	60	57.0	52.4
小5	9)	65	64.6	26.5
小5	10)	65	49.5	70.8
小5	11)	60	26.3	
小5	12)	70	69.8	55.3
小5	13)	60	38.0	18.9
小5	14)	65	47.9	
小5	15)	60	29.4	
小5	16)	80	78.0	

設定通過率	70.6		
平均通過率		60.1	
類似問題		55.6	51.3

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	90	95.4	
小6	2)	90	99.7	
小6	3)	80	81.9	
小6	4)	65	64.1	
小6	5)	70	70.7	
小6	6)	65	65.1	51.2
小6	7)	60	40.4	39.9
小6	8)	60	55.6	
小6	9)	80	84.0	64.6
小6	10)	70	67.4	82.8
小6	11)	75	83.6	52.6
小6	12)	65	58.2	
小6	13)	75	80.7	
小6	14)	65	72.5	51.6
小6	15)	70	64.0	42.4
小6	16)	85	91.5	81.3
小6	17)	60	39.3	
小6	18)	80	88.1	
小6	19)	70	71.0	
小6	20)	70	75.6	80.4

設定通過率	72.3		
平均通過率		72.4	
類似問題		71.6	60.8

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	65	55.1	
中1	2)	85	91.9	
中1	3)	80	75.8	
中1	4)	60	52.0	48.3
中1	5)	80	88.8	
中1	6)	70	63.9	
中1	7)	60	44.2	
中1	8)	60	17.5	41.9
中1	9)	80	77.0	85.2
中1	10)	85	91.4	85.3
中1	11)	65	59.8	
中1	12)	70	72.9	
中1	13)	70	72.2	
中1	14)	60	12.3	
中1	15)	70	73.6	
中1	16)	70	72.1	
中1	17)	80	89.8	68.3
中1	18)	60	42.1	53.8
中1	19)	60	54.7	18.2
中1	20)	80	87.8	82.8

設定通過率	70.5		
平均通過率		64.7	
類似問題		64.0	60.5

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	75	83.0	95.2
中2	2)	75	82.7	74.9
中2	3)	85	89.8	81.0
中2	4)	75	77.8	
中2	5)	85	98.8	
中2	6)	60	31.1	
中2	7)	60	54.8	
中2	8)	60	33.3	46.0
中2	9)	75	80.0	90.3
中2	10)	70	66.7	
中2	11)	75	75.4	
中2	12)	75	74.6	67.0
中2	13)	75	78.2	97.3
中2	14)	60	27.8	
中2	15)	75	78.8	
中2	16)	60	30.2	
中2	17)	70	72.3	
中2	18)	60	26.1	
中2	19)	60	58.2	90.9
中2	20)	75	73.3	89.8

設定通過率	70.3		
平均通過率		64.6	
類似問題		72.6	81.4

【社会】

設　定：設定通過率
通過率：全県平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	75	82.9	
小5	2)	75	80.1	
小5	3)	65	68.6	83.2
小5	4)	85	83.6	61.9
小5	5)	70	65.9	69.7
小5	6)	80	90.7	74.2
小5	7)	75	82.8	
小5	8)	60	59.7	43.8
小5	9)	85	85.7	83.4
小5	10)	70	70.7	
小5	11)	70	64.1	
小5	12)	75	78.7	69.5
小5	13)	80	84.7	77.4
小5	14)	60	76.2	54.9
小5	15)	75	82.0	
小5	16)	80	82.0	77.4
小5	17)	70	55.7	
小5	18)	70	78.7	
小5	19)	75	85.7	
小5	20)	60	63.2	

設定通過率	72.8		
平均通過率		76.2	
類似問題		77.6	69.5

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	87.5	
小6	2)	80	84.1	
小6	3)	85	82.3	84.5
小6	4)	75	89.1	73.0
小6	5)	65	63.7	
小6	6)	65	81.4	
小6	7)	75	93.4	
小6	8)	90	91.4	87.7
小6	9)	80	87.1	
小6	10)	65	63.8	
小6	11)	75	83.9	
小6	12)	65	78.4	
小6	13)	65	68.6	62.5
小6	14)	70	74.3	
小6	15)	65	60.2	
小6	16)	85	81.6	83.3
小6	17)	75	73.0	
小6	18)	70	83.2	67.1
小6	19)	75	81.6	72.8
小6	20)	75	86.6	

設定通過率	74.0		
平均通過率		79.8	
類似問題		82.5	75.8

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	80	94.8	
中1	2)	70	64.4	
中1	3)	80	85.3	
中1	4)	70	86.0	
中1	5)	70	63.5	
中1	6)	60	58.4	
中1	7)	60	45.6	
中1	8)	75	81.3	73.1
中1	9)	65	73.1	
中1	10)	60	46.0	
中1	11)	60	51.6	43.6
中1	12)	75	80.4	67.6
中1	13)	65	63.0	60.9
中1	14)	70	63.3	50.5
中1	15)	75	76.9	
中1	16)	80	78.9	81.2
中1	17)	90	84.5	88.2
中1	18)	80	81.3	79.8
中1	19)	60	57.8	46.0
中1	20)	70	63.0	52.5

設定通過率	70.8		
平均通過率		69.8	
類似問題		70.5	64.3

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	85	79.5	
中2	2)	60	46.9	
中2	3)	80	72.3	70.1
中2	4)	60	53.2	38.6
中2	5)	75	67.1	
中2	6)	60	33.7	
中2	7)	90	95.0	76.3
中2	8)	60	47.5	22.7
中2	9)	65	56.3	54.8
中2	10)	90	81.6	73.4
中2	11)	65	56.3	
中2	12)	80	72.3	51.6
中2	13)	65	53.7	61.9
中2	14)	80	71.0	53.8
中2	15)	60	46.8	52.8
中2	16)	60	50.8	21.4
中2	17)	70	67.4	48.1
中2	18)	65	27.8	
中2	19)	70	63.2	
中2	20)	60	41.2	

設定通過率	70.0		
平均通過率		59.1	
類似問題		64.0	52.1

【算数、数学】

設　定：設定通過率
通過率：全県平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	90	88.9	87.8
小4	2)	85	87.2	93.9
小4	3)	80	85.4	
小4	4)	90	94.8	
小4	5)	75	64.8	
小4	6)	60	66.7	46.7
小4	7)	60	60.2	52.9
小4	8)	80	83.8	82.4
小4	9)	65	75.0	
小4	10)	75	77.4	75.5
小4	11)	65	80.1	
小4	12)	60	36.4	
小4	13)	80	85.1	72.4
小4	14)	60	49.8	
小4	15)	70	62.3	
小4	16)	60	42.1	34.4
小4	17)	65	61.3	
小4	18)	80	80.1	
小4	19)	85	93.8	86.9
小4	20)	60	70.4	

設定通過率	72.3		
平均通過率		72.2	
類似問題		76.1	70.3

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	90	84.1	85.6
小5	2)	90	88.5	85.6
小5	3)	75	67.1	74.3
小5	4)	70	83.7	55.8
小5	5)	70	73.4	
小5	6)	70	60.6	
小5	7)	60	42.1	
小5	8)	60	43.4	
小5	9)	80	71.0	81.2
小5	10)	80	79.6	
小5	11)	70	79.6	
小5	12)	60	41.6	
小5	13)	65	71.9	46.7
小5	14)	70	61.0	90.7
小5	15)	75	86.5	65.6
小5	16)	60	52.2	
小5	17)	90	83.6	94.8
小5	18)	60	79.2	48.0
小5	19)	80	83.4	84.3
小5	20)	60	40.5	22.9

設定通過率	71.8		
平均通過率		68.7	
類似問題		75.0	69.6

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	85	95.8	87.6
小6	2)	70	76.6	47.4
小6	3)	70	67.7	
小6	4)	90	95.3	
小6	5)	80	77.3	38.3
小6	6)	70	66.0	
小6	7)	70	66.0	
小6	8)	70	67.0	
小6	9)	80	73.3	37.3
小6	10)	70	67.7	33.1
小6	11)	60	64.9	
小6	12)	70	78.2	
小6	13)	60	77.7	51.7
小6	14)	80	89.6	82.5
小6	15)	70	77.0	
小6	16)	60	60.8	42.9
小6	17)	60	77.2	26.5
小6	18)	60	31.6	32.7
小6	19)	70	40.9	71.9
小6	20)	60	53.0	54.5

設定通過率	70.3		
平均通過率		70.2	
類似問題		68.5	50.5

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	86.6	
中1	2)	70	70.2	48.7
中1	3)	80	72.2	
中1	4)	60	52.9	47.4
中1	5)	80	82.7	76.9
中1	6)	70	67.2	44.5
中1	7)	60	38.4	
中1	8)	70	64.3	69.6
中1	9)	80	82.4	
中1	10)	80	92.2	
中1	11)	80	93.6	
中1	12)	70	79.4	
中1	13)	60	49.6	47.6
中1	14)	70	54.4	
中1	15)	70	73.5	
中1	16)	60	48.9	
中1	17)	70	55.8	
中1	18)	60	63.9	19.3
中1	19)	60	58.6	51.5
中1	20)	65	67.0	

設定通過率	70.3		
平均通過率		67.7	
類似問題		63.7	50.7

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	90	83.5	
中2	2)	70	63.9	41.7
中2	3)	75	68.6	
中2	4)	80	76.0	78.2
中2	5)	70	46.8	
中2	6)	70	61.3	62.8
中2	7)	60	35.8	57.8
中2	8)	80	73.8	70.4
中2	9)	70	39.3	
中2	10)	70	31.1	
中2	11)	70	61.2	59.8
中2	12)	70	68.5	52.6
中2	13)	60	50.8	25.8
中2	14)	75	86.7	
中2	15)	70	41.0	42.7
中2	16)	60	50.8	
中2	17)	60	52.4	
中2	18)	70	75.6	
中2	19)	70	70.1	65.6
中2	20)	60	57.7	14.4

設定通過率	70.0		
平均通過率		59.7	
類似問題		60.0	52.0

【理科】

設　定：設定通過率
通過率：全県平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	70	68.3	
小4	2)	70	43.8	
小4	3)	65	51.7	
小4	4)	70	72.4	
小4	5)	80	87.6	79.6
小4	6)	60	50.7	
小4	7)	80	83.5	78.5
小4	8)	85	85.4	78.9
小4	9)	70	79.7	59.8
小4	10)	70	49.6	
小4	11)	60	52.0	
小4	12)	85	83.2	82.6

設定通過率	72.1		
平均通過率		67.3	
類似問題		83.9	75.9

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	85	81.7	81.3
小5	2)	80	95.2	
小5	3)	75	73.3	
小5	4)	60	28.5	
小5	5)	80	85.7	78.4
小5	6)	65	74.6	57.6
小5	7)	80	79.8	80.9
小5	8)	65	78.5	32.4
小5	9)	75	87.2	
小5	10)	75	79.3	
小5	11)	75	85.9	
小5	12)	75	78.1	74.4
小5	13)	80	84.5	
小5	14)	80	89.9	
小5	15)	90	91.1	90.0
小5	16)	75	79.7	
小5	17)	70	78.0	
小5	18)	70	82.1	
小5	19)	70	68.0	66.7
小5	20)	65	58.9	

設定通過率	74.5		
平均通過率		77.9	
類似問題		79.7	70.2

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	84.7	78.0
小6	2)	75	86.4	62.4
小6	3)	60	61.3	43.4
小6	4)	80	86.1	
小6	5)	85	65.0	
小6	6)	70	63.6	
小6	7)	65	88.7	
小6	8)	75	73.4	66.2
小6	9)	70	76.9	64.3
小6	10)	75	84.3	
小6	11)	70	77.6	
小6	12)	85	90.9	
小6	13)	85	88.5	87.6
小6	14)	70	79.9	
小6	15)	70	63.5	
小6	16)	85	95.9	
小6	17)	70	70.8	
小6	18)	75	93.8	74.6
小6	19)	70	68.0	
小6	20)	85	95.4	

設定通過率	75.0		
平均通過率		79.7	
類似問題		80.7	68.1

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	90.1	68.5
中1	2)	70	78.5	
中1	3)	70	77.1	62.2
中1	4)	80	88.4	
中1	5)	70	68.7	
中1	6)	80	60.2	
中1	7)	60	29.2	
中1	8)	60	44.8	36.6
中1	9)	70	61.5	81.4
中1	10)	60	65.8	63.9
中1	11)	80	76.9	
中1	12)	80	87.8	
中1	13)	70	66.5	
中1	14)	60	73.5	52.5
中1	15)	80	60.2	
中1	16)	85	93.1	
中1	17)	70	82.0	
中1	18)	70	76.7	
中1	19)	60	55.7	29.5
中1	20)	60	27.5	

設定通過率	71.3		
平均通過率		68.2	
類似問題		66.9	56.4

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	80	41.2	
中2	2)	70	30.5	
中2	3)	80	73.0	76.7
中2	4)	60	52.6	21.7
中2	5)	60	26.4	
中2	6)	60	51.9	
中2	7)	60	16.9	
中2	8)	70	65.9	62.6
中2	9)	70	61.5	
中2	10)	60	58.4	13.6
中2	11)	70	25.5	
中2	12)	70	60.5	
中2	13)	90	90.0	86.4
中2	14)	75	69.7	70.1
中2	15)	60	41.6	56.1
中2	16)	85	86.8	82.5
中2	17)	70	70.8	
中2	18)	70	79.2	
中2	19)	90	94.9	
中2	20)	60	65.7	

設定通過率	70.5		
平均通過率		58.1	
類似問題		67.3	58.7

【英語】

設　定：設定通過率
通過率：全県平均通過率
類　似：過去に出題された類似問題の通過率

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	80	75.8	
中1	2)	75	78.3	
中1	3)	80	66.6	79.1
中1	4)	85	68.2	86.6
中1	5)	70	70.5	66.0
中1	6)	80	83.7	75.5
中1	7)	80	90.8	
中1	8)	75	83.5	
中1	9)	60	70.9	50.7
中1	10)	75	83.8	
中1	11)	75	71.0	74.5
中1	12)	80	82.6	
中1	13)	80	90.1	
中1	14)			
中1	15)	65	66.3	60.5
中1	16)	70	73.3	
中1	17)	70	64.6	
中1	18)	65	89.2	59.6
中1	19)	70	67.5	
中1	20)	60	52.3	39.1

設定通過率	73.4		
平均通過率		75.1	
類似問題		71.0	65.7

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	85	80.8	
中2	2)	70	45.2	66.3
中2	3)	80	84.0	77.8
中2	4)	70	58.2	68.3
中2	5)	70	76.9	
中2	6)	80	86.7	
中2	7)	70	80.5	52.0
中2	8)	65	59.9	
中2	9)	70	73.2	
中2	10)	70	79.3	
中2	11)	70	76.5	
中2	12)	70	89.6	58.3
中2	13)	70	54.0	69.8
中2	14)	70	74.8	63.2
中2	15)	65	52.6	
中2	16)	60	44.8	47.2
中2	17)	60	60.7	51.5
中2	18)	75	85.5	
中2	19)	75	84.7	
中2	20)	70	67.7	

設定通過率	70.8		
平均通過率		70.7	
類似問題		65.8	61.6

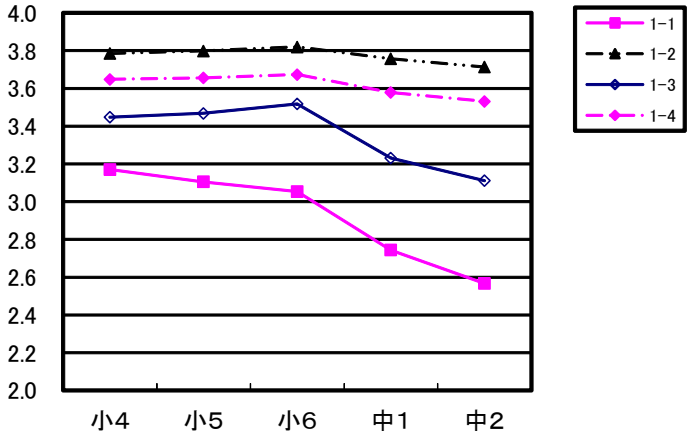
(2)　学習の意欲等に関する質問紙調査結果

①　学習全般についての結果概要（４点換算による県平均）

あてはまる…４点　　どちらかといえばあてはまる…３点
どちらかといえばあてはまらない…２点　あてはまらない…１点

質 問 項 目

１－１　勉強が好きだ
１－２　勉強は大切だ
１－３　学校の勉強がよく分かる
１－４　ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい

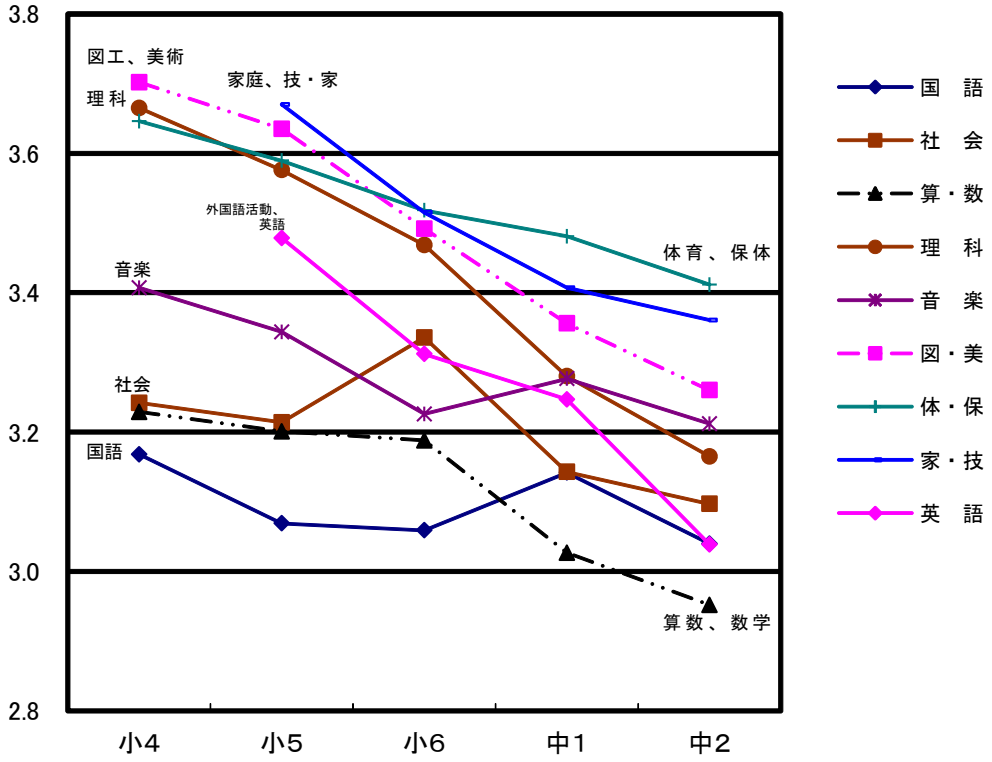


②　各教科等の学習に対する意識についての結果概要（４点換算による県平均）

あてはまる…４点　　どちらかといえばあてはまる…３点
どちらかといえばあてはまらない…２点　あてはまらない…１点

質 問 項 目

（例）国語の勉強は好きだ　　※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。



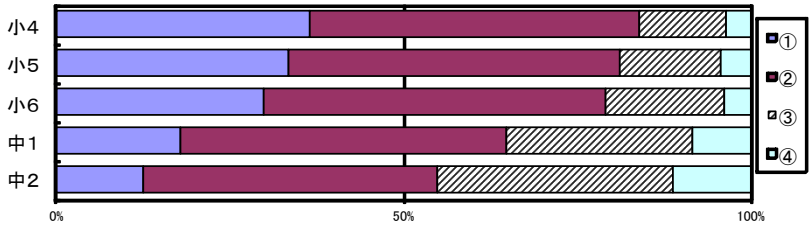
③　学習全般について

［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

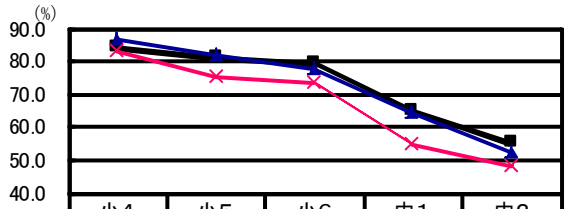
［１－１］　勉強が好きだ

①あてはまる　②どちらかといえばあてはまる　③どちらかといえばあてはまらない　④あてはまらない

	①	②	③	④
小4	36.5	47.5	12.5	3.5
小5	33.6	47.5	14.7	4.2
小6	30.0	49.2	16.9	3.9
中1	17.9	46.9	26.8	8.4
中2	12.7	42.4	33.9	11.1



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



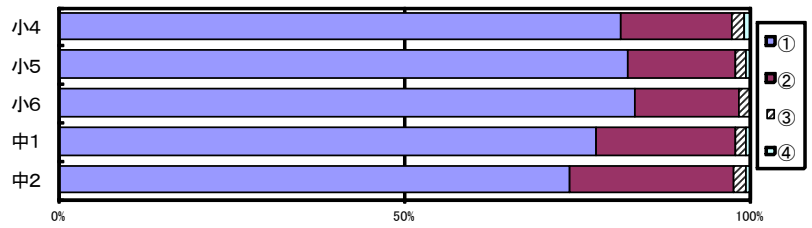
	小4	小5	小6	中1	中2
H29	84.0	81.1	79.2	64.8	55.1
H28	86.4	82.1	77.8	64.6	52.4
H27	82.9	75.5	73.5	54.9	48.4

肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られるものの、小学校第６学年及び中学校では、この３年間で最も高い数値を示しており、改善の傾向が見られる。

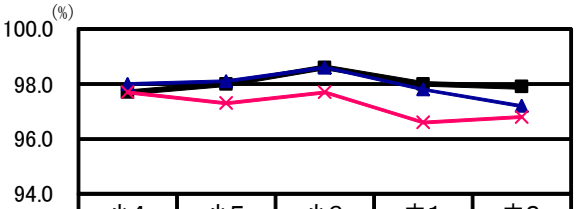
［１－２］　勉強は大切だ

①あてはまる　②どちらかといえばあてはまる　③どちらかといえばあてはまらない　④あてはまらない

	①	②	③	④
小4	81.6	16.1	1.8	0.6
小5	82.4	15.6	1.5	0.5
小6	83.6	15.0	1.2	0.2
中1	78.0	20.0	1.7	0.3
中2	74.0	23.9	1.6	0.5



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



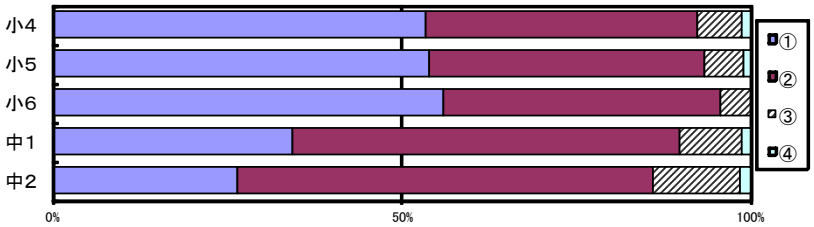
	小4	小5	小6	中1	中2
H29	97.7	98.0	98.6	98.0	97.9
H28	98.0	98.1	98.6	97.8	97.2
H27	97.7	97.3	97.7	96.6	96.8

肯定的な回答の割合が、全ての学年で97％以上であり、昨年度と同様、全体的に高い状況にある。特に、小学校での肯定的な回答の割合は、学年が上がるに従って増加しており、学習することの重要性に対する意識が高まっていることがうかがえる。

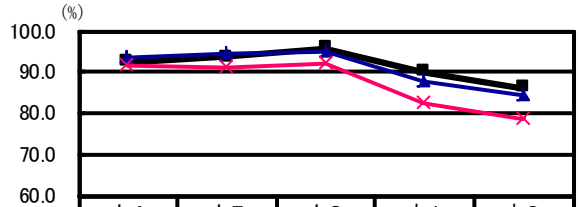
［１－３］　学校の勉強がよくわかる

①あてはまる　②どちらかといえばあてはまる　③どちらかといえばあてはまらない　④あてはまらない

	①	②	③	④
小4	53.5	38.9	6.5	1.1
小5	54.0	39.6	5.6	0.8
小6	56.2	39.6	4.0	0.2
中1	34.4	55.5	8.9	1.2
中2	26.6	59.5	12.4	1.5



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



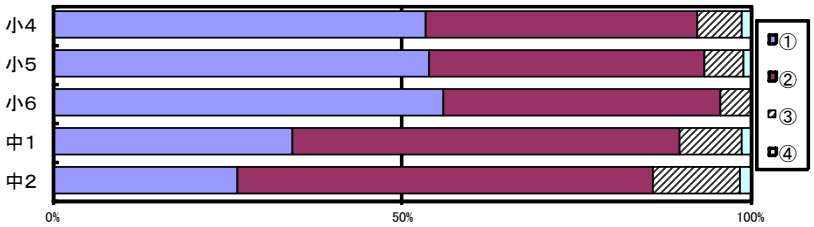
	小4	小5	小6	中1	中2
H29	92.4	93.6	95.8	89.9	86.1
H28	93.4	94.4	95.1	87.9	84.4
H27	91.6	91.2	92.1	82.2	78.4

小学校では92％以上、中学校では86％以上が肯定的な回答をしている。特に、小学校では学年が上がるに従ってその割合が高くなっている。また、小学校第６学年及び中学校では、この３年間で最も高い数値を示しており、改善の傾向が見られる。

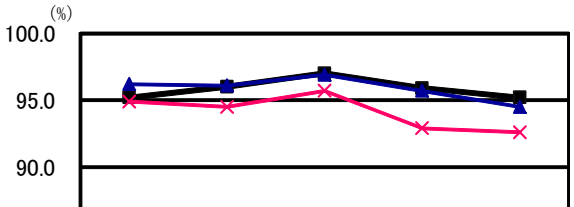
［１－４］　ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい

①あてはまる　②どちらかといえばあてはまる　③どちらかといえばあてはまらない　④あてはまらない

	①	②	③	④
小4	53.5	38.9	6.5	1.1
小5	54.0	39.6	5.6	0.8
小6	56.2	39.6	4.0	0.2
中1	34.4	55.5	8.9	1.2
中2	26.6	59.5	12.4	1.5



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
H29	95.2	96.0	97.0	95.9	95.2
H28	96.2	96.1	96.9	95.7	94.5
H27	94.9	94.5	95.7	92.9	92.6

肯定的な回答の割合が、全ての学年で95％を超えている。また、小学校第６学年及び中学校においては、この３年間で最も高い数値を示している。

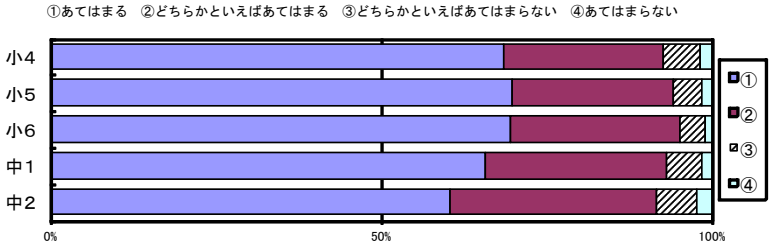
多くの児童生徒が目的意識を明確にもって勉強している様子がうかがえる。

④　生活全般について

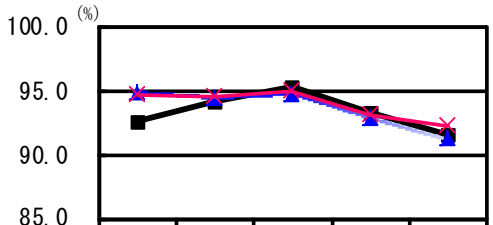
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［２－１］学校が楽しい

	①	②	③	④
小４	68.6	24.0	5.6	1.8
小５	69.9	24.3	4.2	1.5
小６	69.6	25.7	3.8	0.9
中１	65.8	27.5	5.3	1.5
中２	60.6	31.0	6.3	2.1



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

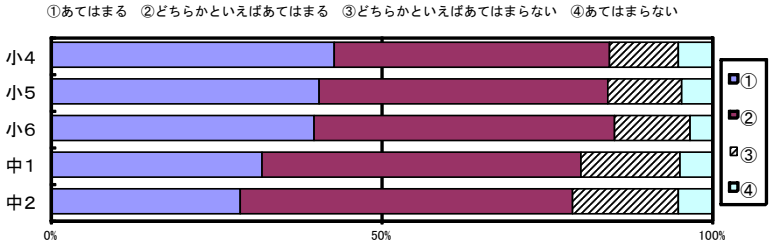


	小４	小５	小６	中１	中２
H29	92.6	94.2	95.3	93.3	91.6
H28	94.9	94.4	94.7	92.9	91.2
H27	94.7	94.6	95.0	93.2	92.3
H29全国調査	小6…秋田県90.6(全国86.3)　中3…秋田県85.5(全国80.9)				

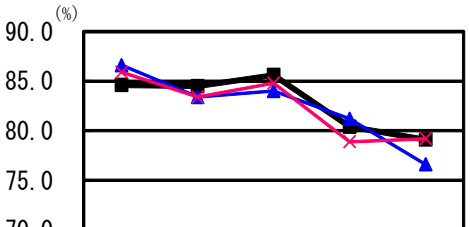
全ての学年で、91％以上が肯定的な回答をしており、小学校第６学年及び中学校第１学年においては、この３年間で最も高い数値を示している。また、小学校第６学年では、４月の全国学力・学習状況調査の肯定的な回答の割合より4.7ポイント高くなっている。

［２－２］　自分にはよいところがあると思う

	①	②	③	④
小４	43.1	41.5	10.5	4.9
小５	40.7	43.8	11.1	4.4
小６	40.0	45.6	11.2	3.3
中１	32.0	48.4	15.0	4.6
中２	28.7	50.4	15.9	4.9



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



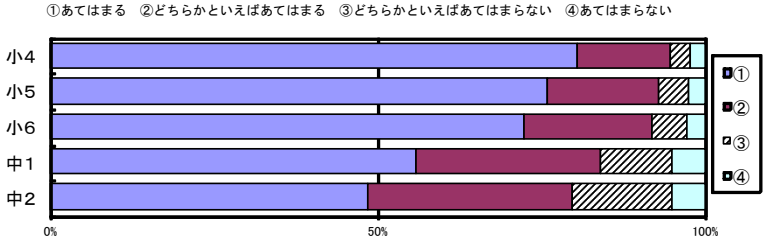
	小４	小５	小６	中１	中２
H29	84.6	84.5	85.6	80.4	79.1
H28	86.6	83.4	84.0	81.2	76.6
H27	85.9	83.4	84.8	78.9	79.2
H29全国調査	小6…秋田県86.1(全国77.9)　中3…秋田県79.8(全国70.7)				

小学校では84％以上、中学校では79％以上が肯定的な回答をしている。

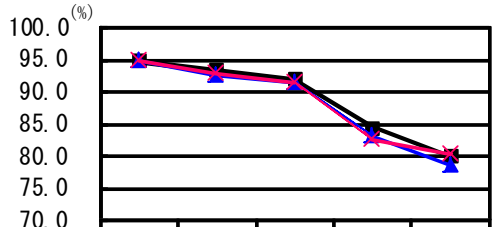
各学校において、学校生活の様々な活動や他者との関わりなどを通して、自己肯定感を高める働き掛けを行っていることがうかがえる。

［２－３］　将来の夢や目標をもっている

	①	②	③	④
小４	80.8	14.1	3.2	1.9
小５	76.3	17.1	4.4	2.3
小６	72.6	19.5	5.5	2.4
中１	56.0	28.4	10.7	4.9
中２	48.6	31.4	15.2	4.8



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

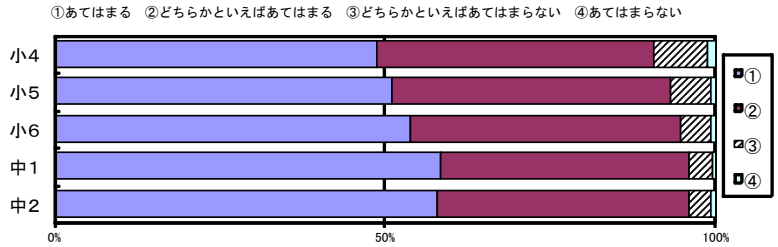


	小４	小５	小６	中１	中２
H29	94.9	93.4	92.1	84.4	80.0
H28	95.1	92.8	91.5	83.2	78.7
H27	95.0	93.0	91.4	82.7	80.5
H29全国調査	小6…秋田県92.0(全国85.9)中3…秋田県79.2(全国70.				

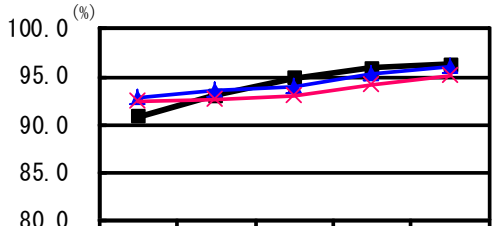
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って低くなっている状況は依然として見られるものの、小学校では92％以上、中学校では80％以上が肯定的な回答をしている。

［２－４］　学校のきまりを守っている

	①	②	③	④
小４	48.8	42.1	7.9	1.2
小５	51.1	42.0	6.1	0.7
小６	54.1	40.8	4.7	0.5
中１	58.4	37.5	3.6	0.4
中２	58.2	38.1	3.2	0.6



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



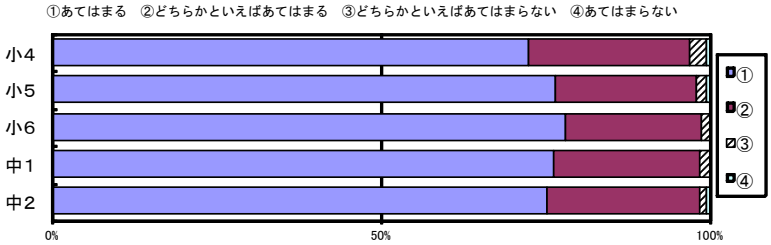
	小４	小５	小６	中１	中２
H29	90.9	93.1	94.9	95.9	96.3
H28	92.9	93.6	94.0	95.4	96.0
H27	92.5	92.6	93.0	94.2	95.2
H29全国調査	小6…秋田県95.8(全国92.6)中3…秋田県97.3(全国95.2)				

学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が高くなっており、全ての学年で90％を超えている。小学校第６学年、中学校第１学年及び第２学年においては、この３年間で最も高い数値を示している。

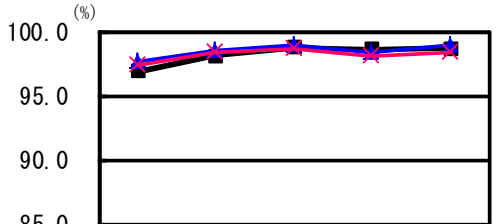
学校生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組がなされていることがうかがえる。

［２－５］　友達との約束を守っている

	①	②	③	④
小４	72.5	24.5	2.6	0.4
小５	76.6	21.6	1.4	0.4
小６	78.1	20.8	0.9	0.2
中１	76.3	22.4	1.1	0.2
中２	75.5	23.3	1.0	0.3



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



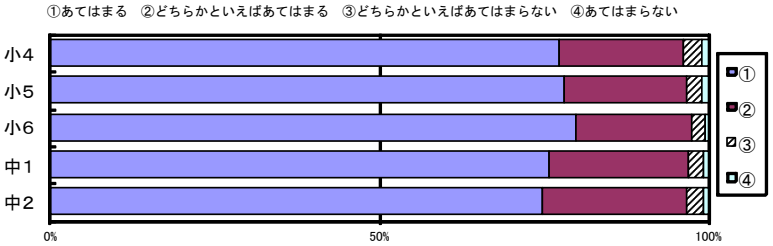
	小４	小５	小６	中１	中２
H29	97.0	98.2	98.9	98.7	98.8
H28	97.8	98.6	99.0	98.5	99.0
H27	97.5	98.5	98.8	98.2	98.5
H29全国調査	小6…秋田県98.7(全国97.2)中3…秋田県98.8(全国97.4)				

肯定的な回答の割合が、全ての学年で100％に近く、そのうち「あてはまる」と回答している割合は、小学校では72％以上、中学校では75％以上である。

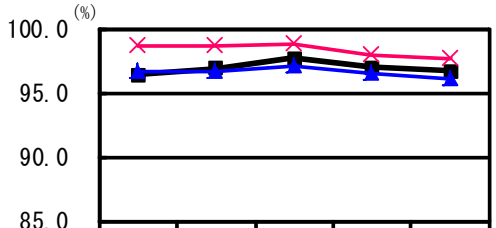
児童生徒は、友達との約束を守って生活することで、良好な人間関係を築こうとしている様子がうかがえる。

［２－６］　人の役に立つ人間になりたいと思う

	①	②	③	④
小４	77.5	19.0	2.7	0.8
小５	78.4	18.6	2.3	0.7
小６	80.2	17.6	2.0	0.3
中１	76.0	21.1	2.4	0.5
中２	74.9	21.9	2.6	0.6



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



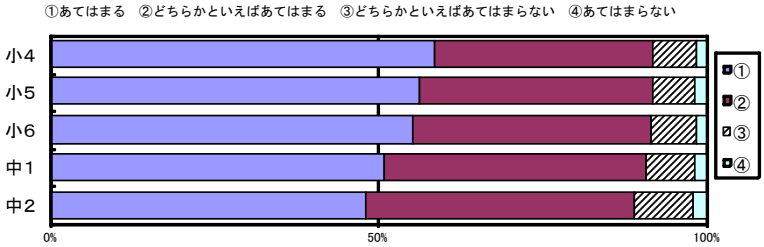
	小４	小５	小６	中１	中２
H29	96.5	97.0	97.8	97.1	96.8
H28	96.8	96.8	97.2	96.6	96.2
H27	98.7	98.8	98.9	98.1	97.8
H29全国調査	小6…秋田県96.2(全国92.5)中3…秋田県96.0(全国91.9)				

全ての学年で、肯定的な回答の割合が96％を超えている。肯定的な回答のうち、「あてはまる」と回答している割合は、小学校では77％以上、中学校では74％以上である。

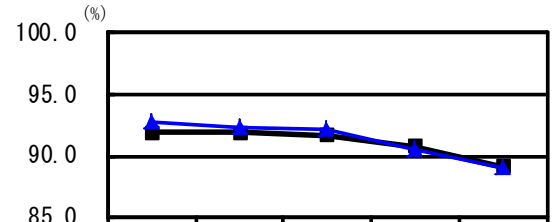
各学校において、キャリア教育や道徳教育等を通して、児童生徒の自己有用感を高める働き掛けを行っていることがうかがえる。

［２－７］　地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う

	①	②	③	④
小４	58.6	33.3	6.6	1.5
小５	56.5	35.4	6.4	1.7
小６	55.4	36.3	7.0	1.3
中１	51.0	39.8	7.6	1.6
中２	48.2	41.0	8.9	1.9



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
H29	91.9	91.9	91.7	90.8	89.2
H28	92.7	92.3	92.2	90.6	89.0

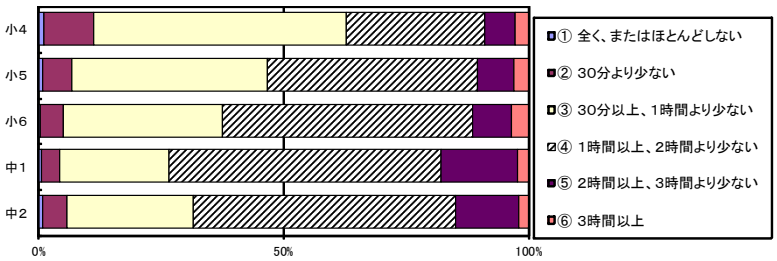
昨年度調査で新たに加えられた質問である。肯定的な回答の割合は、小学校では91％以上、中学校では89％以上であり、高い数値を示している。

各学校のふるさと教育及び地域に根ざしたキャリア教育の取組が、児童生徒の地域に貢献しようとする意識の高まりにつながっていることがうかがえる。

⑤　家庭学習について

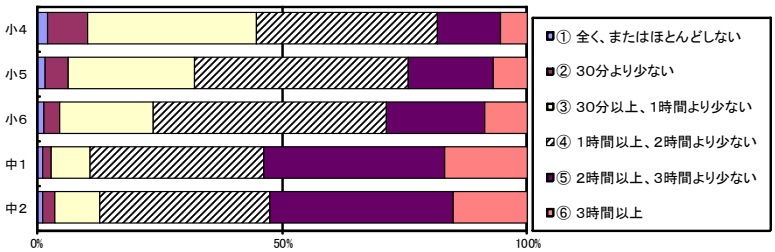
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



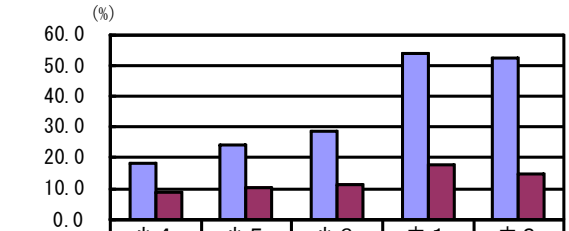
	①	②	③	④	⑤	⑥
小４	1.3	10.2	51.4	28.3	6.1	2.6
小５	1.0	6.0	39.8	42.9	7.4	2.9
小６	0.7	4.7	32.3	51.0	8.0	3.3
中１	0.8	3.8	22.2	55.4	15.6	2.2
中２	1.2	4.9	25.7	53.5	12.8	1.9

土曜日や日曜日の勉強時間



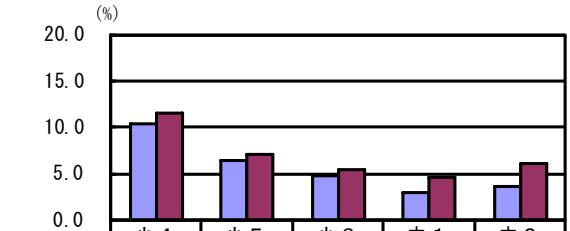
	①	②	③	④	⑤	⑥
小４	2.2	8.2	34.4	37.2	12.8	5.3
小５	1.6	4.8	25.7	43.8	17.5	6.6
小６	1.3	3.4	18.9	47.9	20.0	8.5
中１	1.0	1.9	7.8	35.6	37.1	16.7
中２	1.1	2.5	9.2	34.6	37.6	14.9

２時間以上の割合



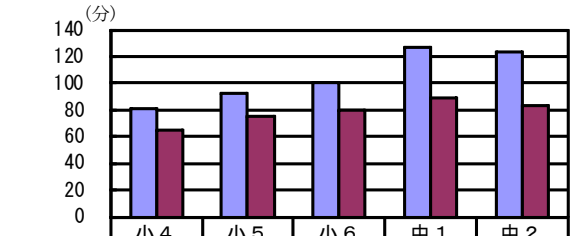
	小４	小５	小６	中１	中２
本県休日	18.1	24.1	28.5	53.8	52.5
本県平日	8.7	10.3	11.3	17.8	14.7

全くしない又は30分未満の割合



	小４	小５	小６	中１	中２
本県休日	10.4	6.4	4.7	2.9	3.6
本県平日	11.5	7.0	5.4	4.6	6.1

家庭学習の平均時間



	小４	小５	小６	中１	中２
本県休日	80.5	91.8	100.0	126.6	123.3
本県平日	64.7	74.6	80.1	88.4	83.6

小・中学校とも、平日より休日の勉強時間が長くなっている。特に中学校では、休日に２時間以上勉強している生徒が半数を超えている。

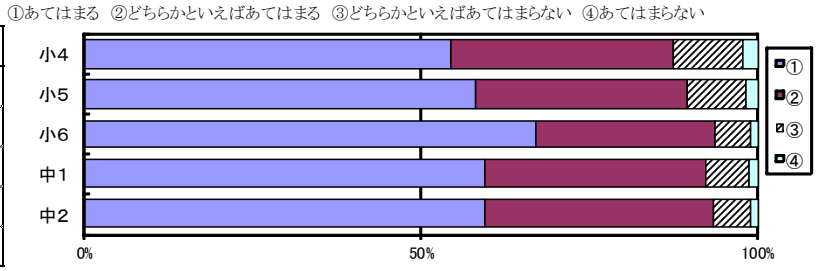
また、小学校第５・６学年では、家庭学習の平均時間が平日、休日とも昨年度より長くなっている。

⑥　授業について

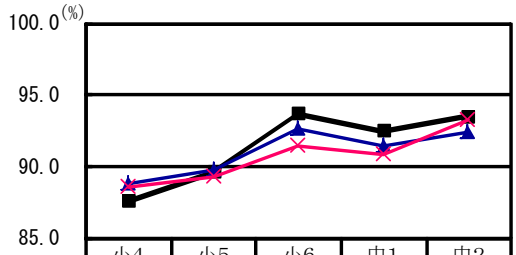
［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

［４－１］　ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う

	①	②	③	④
小４	54.4	33.2	10.2	2.2
小５	58.1	31.5	8.7	1.7
小６	67.2	26.5	5.4	0.9
中１	59.7	32.8	6.3	1.3
中２	59.6	33.9	5.5	1.0



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



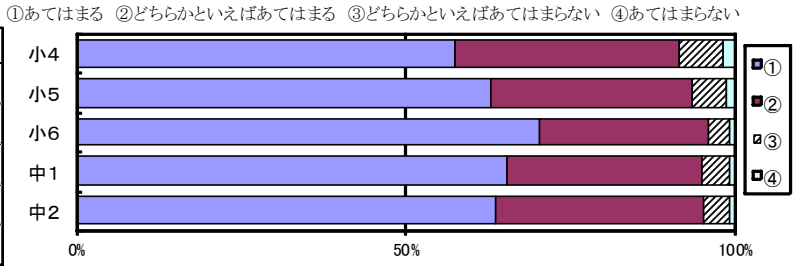
	小4	小5	小6	中1	中2
H29	87.6	89.6	93.7	92.5	93.5
H28	88.8	89.8	92.6	91.4	92.4
H27	88.6	89.3	91.4	90.8	93.2
H29全国調査	小6…秋田県92.7(全国84.7)中3…秋田県94.2(全国84.4)				

肯定的な回答の割合が、小学校では87％以上、中学校では92％以上であり、中学校においては、この３年間で最も高くなっている

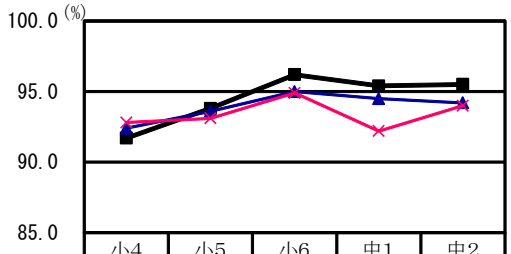
各学校においては、児童生徒が自分の考えを発表する機会を授業に積極的に位置付けていることがうかがえる。

［４－２］　ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている

	①	②	③	④
小４	57.7	34.0	6.8	1.4
小５	63.2	30.6	5.3	0.9
小６	70.6	25.6	3.4	0.4
中１	65.7	29.7	4.1	0.5
中２	63.9	31.6	4.0	0.5



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



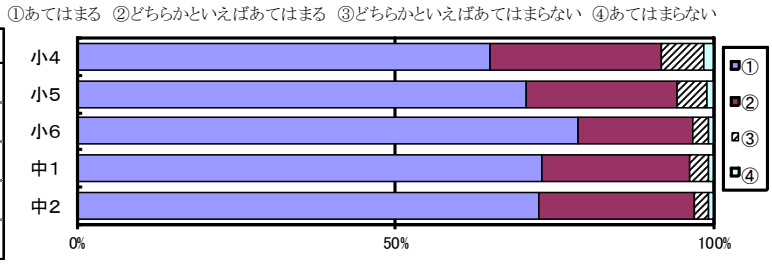
	小4	小5	小6	中1	中2
H29	91.7	93.8	96.2	95.4	95.5
H28	92.4	93.6	95.0	94.5	94.2
H27	92.8	93.1	94.9	92.2	94.0
H29全国調査	小6…秋田県93.2(全国84.5)中3…秋田県94.3(全国81.8)				

肯定的な回答の割合が、全ての学年で91％以上であり、中学校においては、この３年間で最も高くなっている。また、小・中学校とも、学年が上がるに従って、割合が高くなっている。

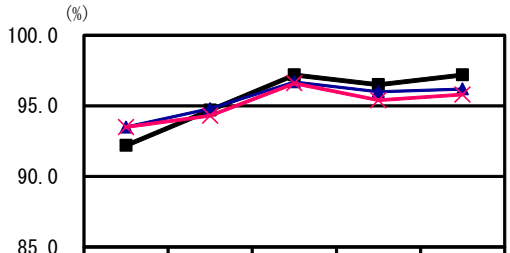
各学校において、児童生徒による話合いの場が確実に設定され、児童生徒が主体的に課題解決に取り組む授業が展開されていることがうかがえる。

［４－３］　ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小４	65.4	26.8	6.6	1.3
小５	70.9	23.8	4.6	0.8
小６	79.2	18.0	2.5	0.4
中１	73.5	23.0	3.1	0.4
中２	72.9	24.3	2.3	0.4



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



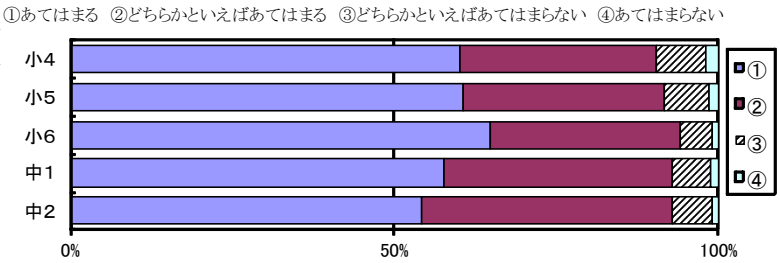
	小4	小5	小6	中1	中2
H29	92.2	94.7	97.2	96.5	97.2
H28	93.5	94.8	96.7	96.0	96.2
H27	93.5	94.3	96.6	95.4	95.8
H29全国調査	小6…秋田県96.1(全国88.2) 中3…秋田県98.0(全国87.8)				

肯定的な回答の割合が、小学校第６学年及び中学校では、この３年間で最も高くなっている。

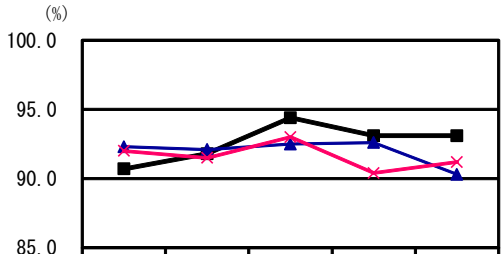
各学校においては、導入の手立てを工夫するなどして、児童生徒が学習に見通しをもち、授業が展開されていることがうかがえる。

［４－４］　ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う

	①	②	③	④
小４	60.3	30.4	7.6	1.8
小５	60.8	31.0	7.0	1.2
小６	65.1	29.3	4.9	0.7
中１	57.8	35.3	6.0	0.9
中２	54.4	38.7	6.2	0.7



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
H29	90.7	91.8	94.4	93.1	93.1
H28	92.3	92.1	92.5	92.6	90.3
H27	92.0	91.5	93.0	90.4	91.2
H29全国調査	小6…秋田県90.4(全国76.2) 中3…秋田県88.0(全国66.1)				

肯定的な回答の割合が、全ての学年で90％以上であり、中学校ではこの３年間での伸びが大きい。

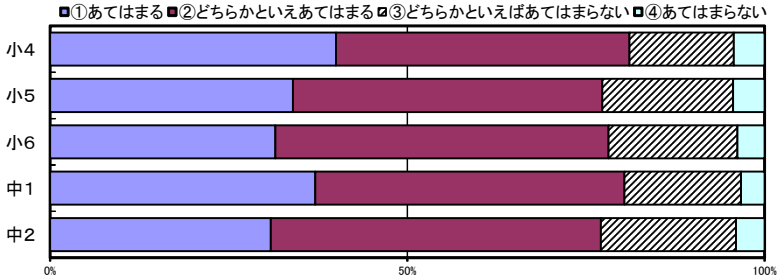
各学校においては、振り返りを大切にし、児童生徒が確かな学びを実感できる授業が展開されていることがうかがえる。

⑦　各教科等の学習に対する意識について

［グラフ等の見方］
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
折 れ 線 グ ラ フ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

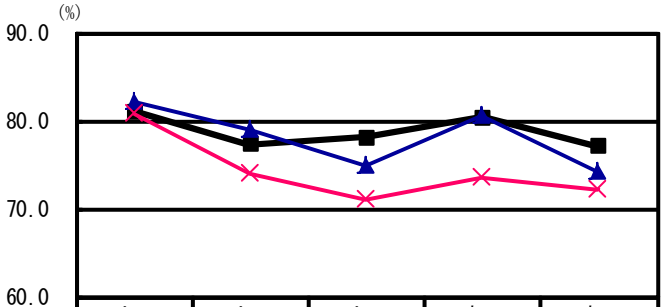
	①	②	③	④
小４	40.0	41.1	14.6	4.3
小５	34.0	43.3	18.3	4.4
小６	31.5	46.6	18.0	3.8
中１	37.1	43.3	16.3	3.3
中２	30.9	46.2	18.9	4.0



［理由］　　%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	22.6%	21.0%	18.2%	24.4%	23.0%
	② 分かりやすい	16.5%	13.3%	10.7%	14.1%	12.9%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	9.4%	13.1%	18.4%	14.9%	15.7%
	④ 生活の中で役立つ	8.6%	8.8%	10.7%	8.3%	7.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	13.6%	11.4%	10.8%	9.2%	7.6%
	⑥ 得意	6.3%	5.5%	5.2%	5.8%	5.7%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.3%	4.3%	4.8%	4.9%	6.3%
	⑧ 分かりにくい	3.9%	4.1%	2.9%	2.7%	4.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどう	1.7%	1.8%	2.0%	1.5%	1.7%
	⑫ 不得意	8.7%	11.1%	11.0%	9.0%	9.0%
	⑬ その他・不明	5.1%	5.4%	5.2%	4.7%	6.3%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移

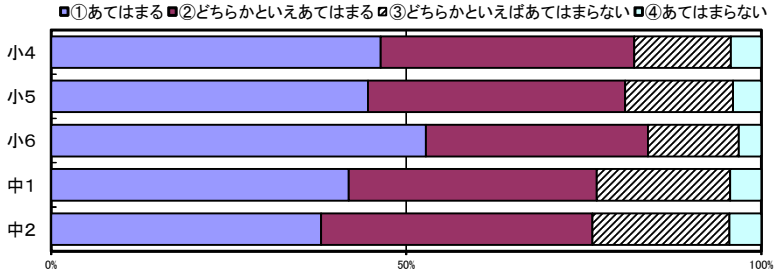


	小４	小５	小６	中１	中２
H29	81.1	77.3	78.1	80.4	77.1
H28	82.2	79.0	75.0	80.6	74.1
H27	80.9	74.0	71.0	73.5	72.2

小・中学校ともに、肯定的な回答の割合が高くなってきており、小学校第６学年及び中学校第１学年での伸びが大きい。肯定的な回答の理由として、全学年を通じて、「内容に興味があっておもしろい」の割合が最も高くなっている。また、「将来、社会に出たときに役立つ」を理由として挙げた児童生徒の割合が、小・中学校とも、学年が上がるに従って高くなる傾向が見られる。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	46.4	35.7	13.6	4.3
小５	44.6	36.2	15.2	4.0
小６	52.8	31.3	12.8	3.2
中１	41.9	34.9	18.8	4.4
中２	38.0	38.2	19.3	4.5

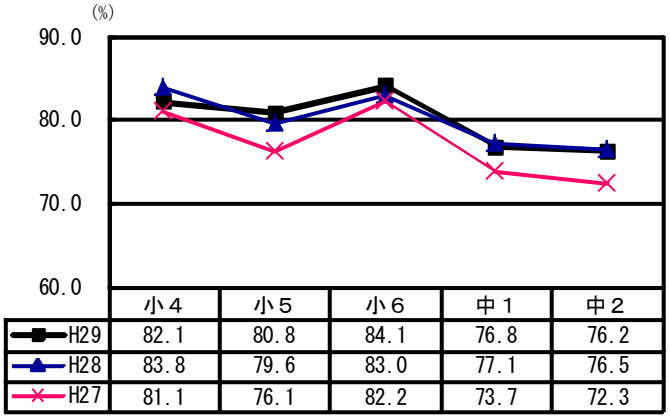


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	15.4%	19.9%	41.5%	33.3%	35.2%
	② 分かりやすい	9.8%	9.8%	8.1%	10.9%	10.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	34.1%	30.1%	14.5%	13.8%	11.8%
	④ 生活の中で役立つ	9.1%	6.3%	2.7%	2.7%	2.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.1%	7.6%	8.1%	8.4%	6.5%
	⑥ 得意	4.0%	4.9%	6.6%	4.3%	5.2%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.5%	3.8%	3.1%	4.5%	4.8%
	⑧ 分かりにくい	4.6%	4.2%	3.2%	4.7%	5.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.2%	0.6%	0.8%	1.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.2%	0.4%	0.6%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどう	1.4%	1.3%	0.8%	0.8%	0.9%
	⑫ 不得意	6.9%	8.3%	7.2%	10.9%	10.4%
	⑬ その他・不明	3.4%	3.4%	3.2%	4.2%	5.0%

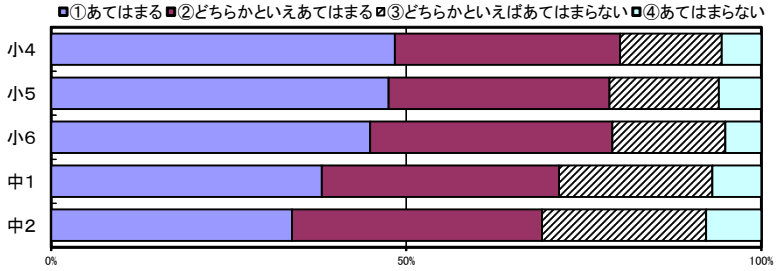
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では80%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小学校第４・５学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高く、小学校第６学年及び中学校第１・２学年では、「内容に興味があっておもしろい」の割合が高くなっている。また、中学校では、「分かりやすい」の割合も比較的高い。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	48.4	31.7	14.3	5.6
小５	47.5	31.1	15.4	6.0
小６	44.9	34.1	15.9	5.1
中１	38.1	33.4	21.6	6.9
中２	33.9	35.2	23.1	7.8

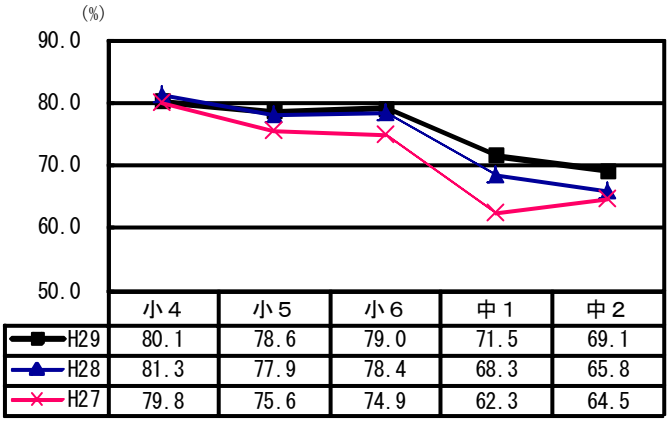


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	10.0%	11.6%	9.8%	10.1%	10.9%
	② 分かりやすい	11.3%	11.5%	9.7%	10.1%	10.5%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.8%	12.7%	17.6%	15.5%	12.1%
	④ 生活の中で役立つ	13.8%	11.7%	12.3%	8.9%	6.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	18.4%	18.1%	17.7%	16.8%	17.9%
	⑥ 得意	12.5%	11.0%	9.8%	7.9%	7.9%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.5%	1.9%	2.0%	2.6%	3.2%
	⑧ 分かりにくい	6.0%	5.0%	4.0%	6.1%	5.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.1%	0.1%	0.3%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.5%
	⑪ 考えるのがめんどう	3.0%	3.2%	3.3%	3.0%	3.2%
	⑫ 不得意	8.2%	10.2%	10.8%	15.5%	17.0%
	⑬ その他・不明	3.3%	2.9%	2.9%	3.1%	3.8%

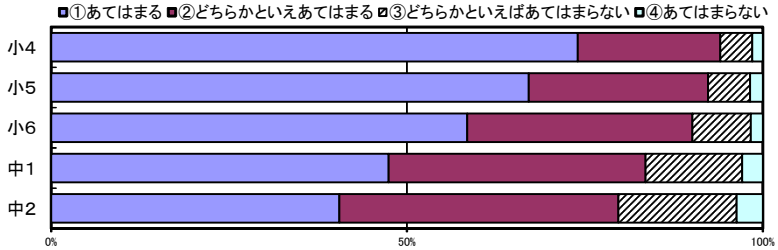
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、小学校から中学校へと学年が上がるに従って減少しているが、小学校第５学年から中学校第２学年においては、この３年間で最も高くなっている。また、肯定的な回答の理由として、「考えるのが楽しい」の割合が全ての学年で最も高くなっている。一方、第６学年から「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っており、学年が上がるに従って「不得意」と「得意」の割合の差が広がる傾向が見られる。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	74.0	20.0	4.5	1.5
小５	67.1	25.2	5.9	1.8
小６	58.5	31.7	8.2	1.7
中１	47.4	36.1	13.6	2.9
中２	40.5	39.2	16.6	3.7

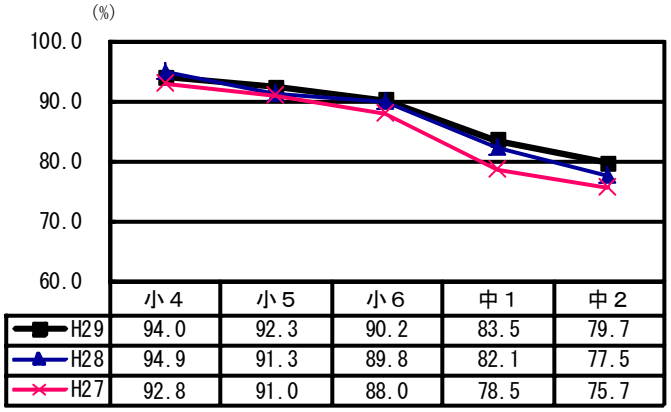


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	33.4%	37.7%	38.3%	36.9%	35.4%
	② 分かりやすい	10.4%	11.0%	10.0%	9.8%	10.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.8%	3.7%	5.0%	4.0%	4.3%
	④ 生活の中で役立つ	8.9%	6.2%	6.6%	6.0%	6.4%
	⑤ 考えるのが楽しい	20.7%	20.1%	18.6%	16.6%	13.7%
	⑥ 得意	12.4%	10.2%	8.5%	6.6%	5.7%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.2%	1.7%	2.4%	2.4%	3.8%
	⑧ 分かりにくい	1.4%	1.4%	1.8%	4.0%	4.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.5%	0.6%	1.4%	1.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.2%	0.3%	0.5%	0.5%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.6%	0.8%	0.7%	1.0%	1.0%
	⑫ 不得意	2.2%	2.6%	3.4%	6.6%	8.4%
	⑬ その他・不明	3.7%	3.9%	3.6%	4.3%	4.8%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移

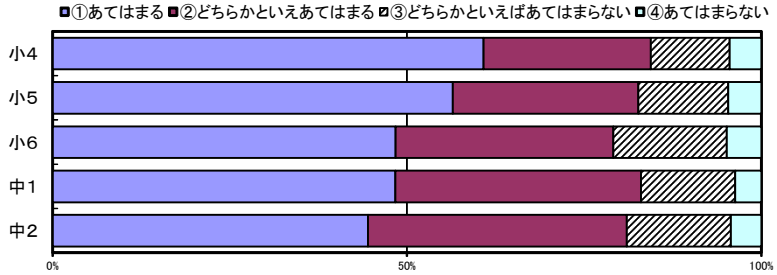


	小４	小５	小６	中１	中２
H29	94.0	92.3	90.2	83.5	79.7
H28	94.9	91.3	89.8	82.1	77.5
H27	92.8	91.0	88.0	78.5	75.7

小学校では90%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしており、小学校第５学年から中学校第２学年においては、この３年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が最も高くなっている。また、昨年度と比較して「考えるのが楽しい」と回答している割合が、ほぼ全ての学年において高くなっている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	60.8	23.6	11.1	4.5
小５	56.5	26.2	12.7	4.7
小６	48.4	30.7	16.0	4.9
中１	48.4	34.7	13.3	3.7
中２	44.5	36.5	14.7	4.3

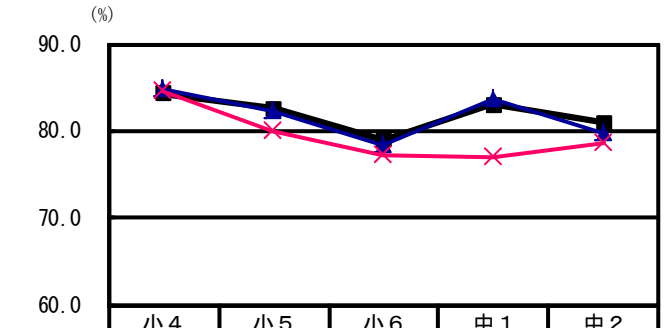


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	22.5%	28.3%	27.6%	37.2%	39.8%
	② 分かりやすい	12.9%	11.3%	9.6%	9.7%	7.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.0%	2.1%	2.2%	1.7%	1.4%
	④ 生活の中で役立つ	3.3%	2.7%	2.5%	2.1%	2.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.0%	6.3%	6.0%	7.6%	6.9%
	⑥ 得意	26.2%	22.3%	19.9%	13.8%	12.0%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	2.8%	3.0%	3.8%	4.6%	5.4%
	⑧ 分かりにくい	2.4%	2.3%	2.1%	0.9%	1.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	1.0%	1.5%	2.0%	2.4%	2.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.9%	0.8%	0.9%	1.0%	1.3%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.5%	0.3%	0.3%	0.2%	0.5%
	⑫ 不得意	6.8%	8.6%	11.0%	6.8%	6.7%
	⑬ その他・不明	11.7%	10.7%	12.1%	12.1%	13.1%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移

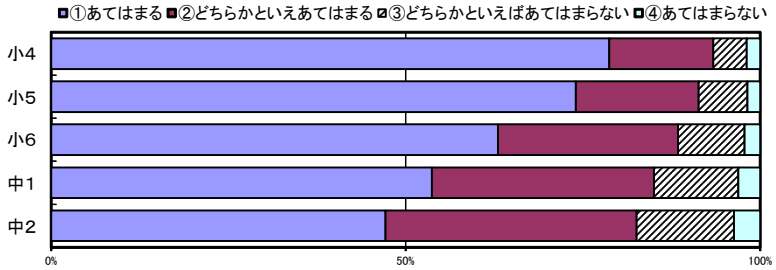


	小４	小５	小６	中１	中２
H29	84.4	82.7	79.1	83.1	81.0
H28	85.0	82.3	78.4	83.7	79.8
H27	84.7	80.0	77.2	77.1	78.7

小学校では79%以上、中学校では81%以上が肯定的な回答をしており、学年が上がってもその割合が高い数値を示している。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなる傾向が見られる。また、特に小学校では、「得意」の割合も高くなっている。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	78.7	14.7	4.7	1.9
小５	74.0	17.3	6.9	1.8
小６	63.0	25.4	9.4	2.2
中１	53.7	31.3	11.9	3.1
中２	47.1	35.4	13.7	3.7

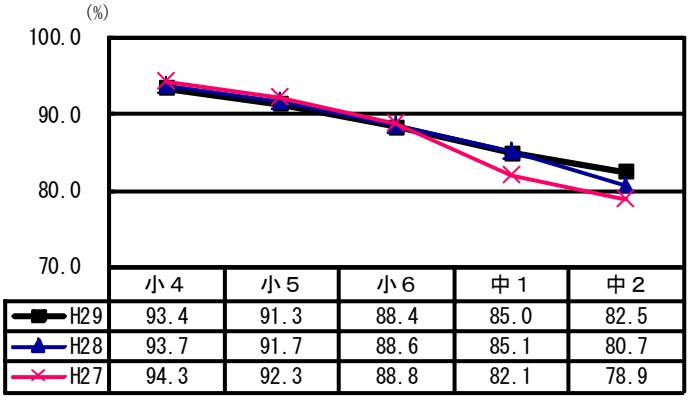


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	25.8%	33.5%	32.0%	36.3%	37.1%
	② 分かりやすい	5.1%	4.1%	4.0%	6.2%	4.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.4%	2.2%	2.0%	1.8%	1.5%
	④ 生活の中で役立つ	4.0%	3.3%	3.4%	2.6%	2.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	24.1%	22.8%	24.8%	19.0%	19.1%
	⑥ 得意	26.2%	20.6%	16.4%	12.2%	10.1%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	0.8%	1.1%	1.7%	3.1%	4.0%
	⑧ 分かりにくい	0.4%	0.5%	0.3%	0.6%	0.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.5%	1.1%	1.8%	2.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.4%	1.0%	1.4%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.5%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%
	⑫ 不得意	3.8%	5.1%	6.9%	7.2%	7.6%
	⑬ その他・不明	6.2%	5.4%	6.2%	7.7%	8.9%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移

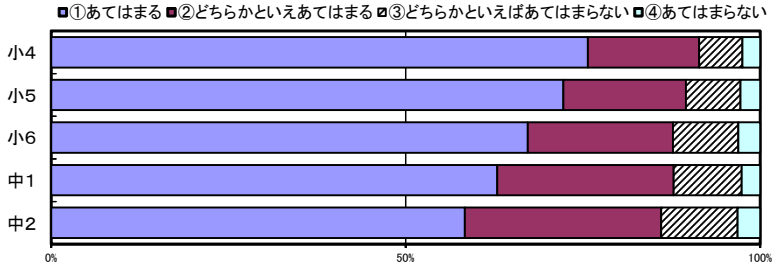


	小４	小５	小６	中１	中２
H29	93.4	91.3	88.4	85.0	82.5
H28	93.7	91.7	88.6	85.1	80.7
H27	94.3	92.3	88.8	82.1	78.9

学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が低くなっているが、小学校では88%以上、中学校では82%以上が肯定的な回答をしており、全体的に高い数値を示している。特に、中学校では、肯定的な回答のうち「あてはまる」と回答した割合が昨年度に比べて高くなっている。肯定的な回答の理由としては、「内容に興味があっておもしろい」「考えるのが楽しい」「得意」の割合が高くなっている。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小４	75.7	15.7	6.1	2.5
小５	72.3	17.3	7.7	2.8
小６	67.2	20.5	9.2	3.1
中１	62.9	24.9	9.6	2.6
中２	58.4	27.7	10.8	3.2

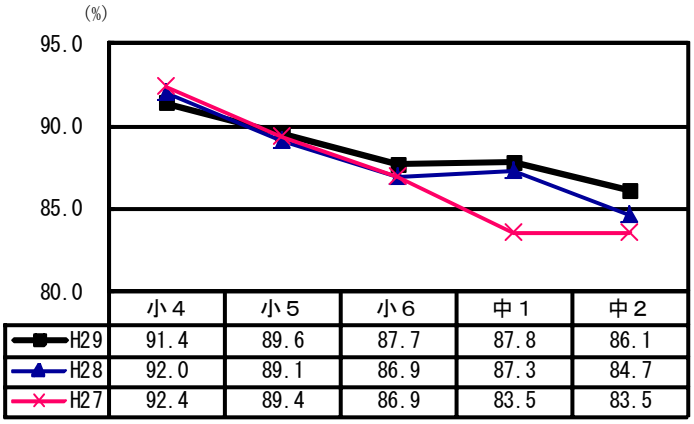


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小４	小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	21.5%	27.2%	28.6%	32.7%	33.8%
	② 分かりやすい	5.0%	4.7%	3.8%	5.1%	3.5%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.3%	4.7%	3.6%	4.7%	3.8%
	④ 生活の中で役立つ	7.9%	5.5%	5.1%	5.7%	5.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	2.0%	2.0%	1.9%	2.4%	2.9%
	⑥ 得意	39.9%	35.2%	34.0%	28.4%	26.3%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	0.8%	0.8%	0.7%	1.3%	1.7%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.3%	0.1%	0.3%	0.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.5%	0.7%	0.5%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑫ 不得意	6.2%	8.2%	9.8%	8.8%	10.3%
	⑬ その他・不明	11.5%	10.5%	11.3%	9.5%	11.1%

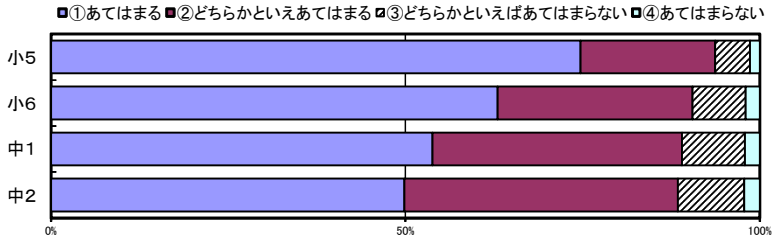
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は全ての学年で86%以上であり、小学校第５学年から中学校第２学年において、この３年間で最も高くなっている。また、学年進行に伴う肯定的な回答の割合の減少は、他の教科に比べて非常に小さい。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。そのほか、「得意」と回答する割合も高くなっている。

【家庭、技術・家庭】質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小５	74.7	19.0	4.9	1.4
小６	63.0	27.5	7.5	2.0
中１	53.8	35.2	8.9	2.1
中２	49.9	38.6	9.4	2.2

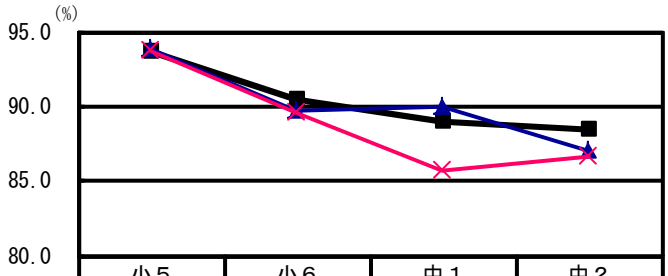


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	20.1%	16.8%	25.6%	27.9%
	② 分かりやすい	4.7%	3.9%	4.7%	4.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	17.5%	20.0%	15.8%	16.4%
	④ 生活の中で役立つ	30.8%	33.4%	23.1%	22.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	3.1%	2.5%	7.4%	6.6%
	⑥ 得意	14.8%	11.1%	8.9%	7.4%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.2%	1.8%	3.2%	4.1%
	⑧ 分かりにくい	1.0%	1.0%	1.3%	1.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.0%	0.2%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.2%	0.3%	0.7%	0.8%
	⑫ 不得意	3.3%	5.6%	4.5%	4.0%
	⑬ その他・不明	3.1%	3.5%	4.3%	4.8%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移

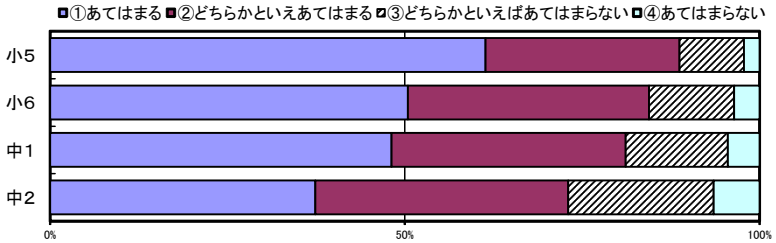


	小５	小６	中１	中２
H29	93.7	90.5	89.0	88.5
H28	93.8	89.7	90.0	87.0
H27	93.7	89.6	85.7	86.6

肯定的な回答の割合は全ての学年で88%以上で、全教科の中で最も高くなっており、学年進行に伴う肯定的な回答の割合の減少も非常に小さい。肯定的な回答の理由として、小学校では「生活の中で役立つ」、中学校では「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【英語（小学校外国語活動、中学校外国語）】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小５	61.3	27.3	9.1	2.2
小６	50.4	34.0	12.0	3.6
中１	48.1	33.0	14.4	4.5
中２	37.4	35.7	20.5	6.5

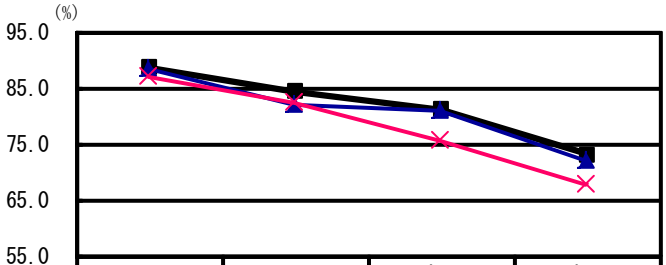


［理由］

%は全児童生徒に対する割合

		小５	小６	中１	中２
回答した理由「あてはまる」等と	① 内容に興味があっておもしろい	19.9%	17.1%	15.8%	14.9%
	② 分かりやすい	8.9%	6.9%	8.5%	7.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	31.6%	36.3%	31.9%	29.7%
	④ 生活の中で役立つ	6.1%	5.8%	5.4%	4.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	9.9%	7.5%	5.9%	5.2%
	⑥ 得意	8.3%	6.8%	10.5%	7.9%
回答した理由「あてはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.5%	2.4%	2.3%	3.2%
	⑧ 分かりにくい	3.8%	4.7%	4.4%	6.8%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.1%	0.5%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.4%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどう	0.5%	0.6%	1.0%	1.3%
	⑫ 不得意	4.5%	6.7%	9.4%	13.3%
	⑬ その他・不明	4.6%	4.7%	4.1%	4.9%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



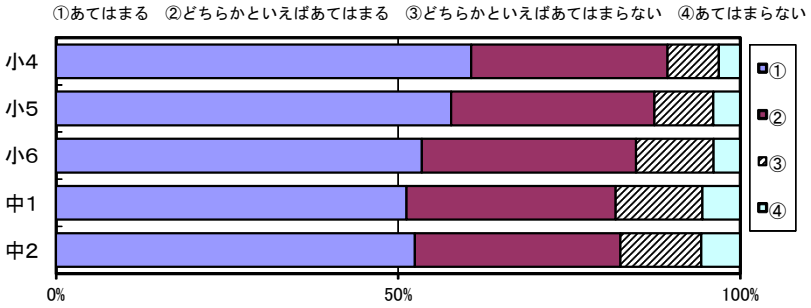
	小５	小６	中１	中２
H29	88.6	84.4	81.1	73.1
H28	88.3	82.0	81.0	71.8
H27	86.8	82.4	75.4	67.8

肯定的は回答の割合が、この３年間で最も高くなっており、とりわけ中学校第２学年での数値の伸びが大きい。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高くなっている。さらに、「得意」を理由に挙げた割合も、ほぼ全ての学年で昨年度よりも高くなっている。

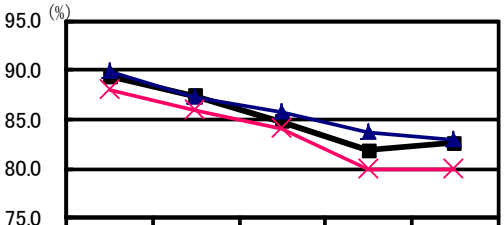
⑧　読書について

［読書は好きだ］

	①	②	③	④
小4	60.7	28.7	7.5	3.1
小5	57.7	29.7	8.6	3.9
小6	53.5	31.3	11.3	3.9
中1	51.3	30.6	12.7	5.5
中2	52.5	30.1	11.8	5.7



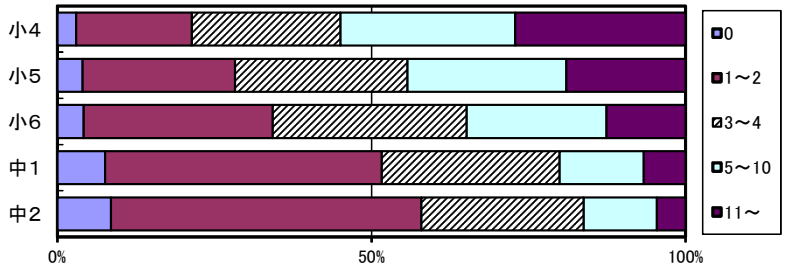
「あてはまる」「どちらかというとあてはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
H29	89.4	87.4	84.8	81.9	82.6
H28	89.9	87.2	85.7	83.7	83.0
H27	88.0	86.0	84.0	79.9	79.9
H29全国調査	小6…秋田県81.3（全国74.3）　中3…秋田県80.2（全国69.9）				

［１か月に何冊くらい本を読むか（教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く）］

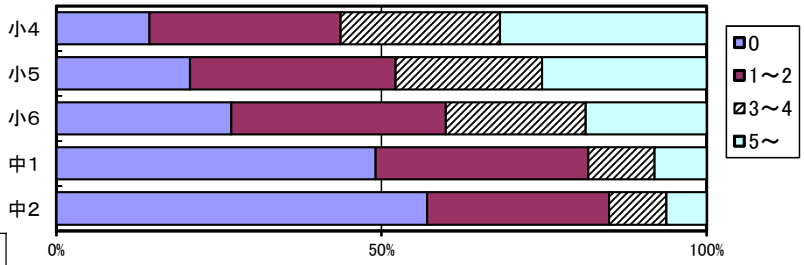
	0	1～2	3～4	5～10	11～
小4	3.0	18.4	23.6	27.8	27.1
小5	4.0	24.3	27.5	25.3	19.0
小6	4.2	30.1	30.9	22.3	12.6
中1	7.6	44.1	28.3	13.4	6.7
中2	8.5	49.4	25.8	11.6	4.6



［１か月に何回くらい図書館を利用するか］

	0	1～2	3～4	5～
小4	14.3	29.4	24.5	31.8
小5	20.5	31.6	22.5	25.3
小6	26.9	33.0	21.5	18.6
中1	49.1	32.7	10.2	8.0
中2	57.0	28.0	8.8	6.2

H29全国調査　小6…秋田県41.7（全国38.6）
月1回以上　　中3…秋田県18.4（全国19.4）



全ての学年において、児童生徒の81％以上が読書が好きだと回答しており、１か月に１冊以上の本を読む児童生徒の割合は、全ての学年で91％以上である。また、図書館等の利用については、４月の全国学力・学習状況調査と比較すると、小・中学校とも利用する割合に増加の傾向が見られる。

平成２９年度
秋田県学習状況調査

４　結果と考察

(1) 国　語

(2) 社　会

(3) 算数、数学

(4) 理　科

(5) 英　語

4　結果と考察　(1) 国語

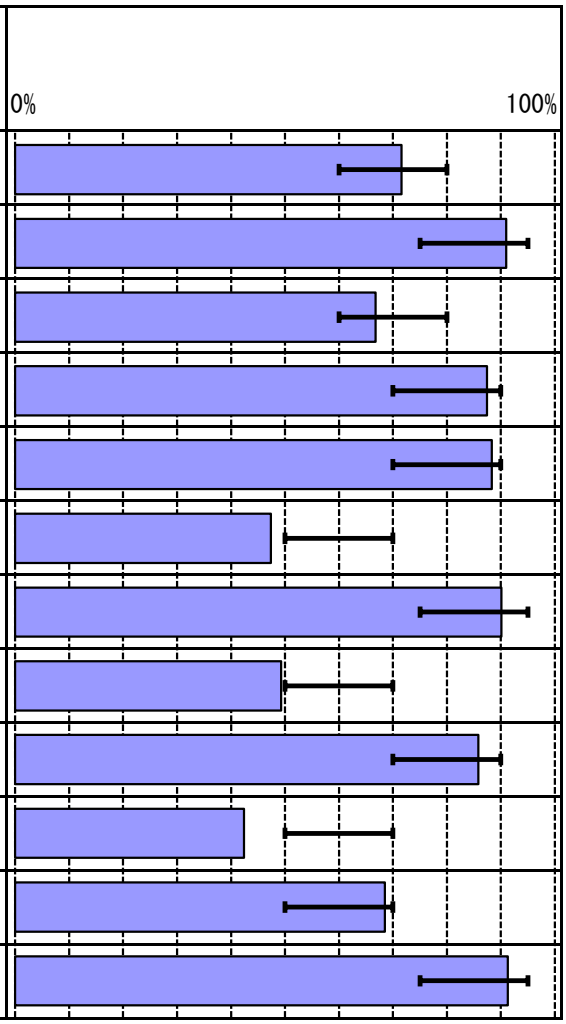
平成２９年度小学校学習状況調査　第４学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 書く能力	観点 読む能力	観点 言語についての知識・理解・技能
第４学年	書くこと	ア(3･4年)	・大切にしているものを取り上げ，書くことを決めている。	12)	○		
		ウ(3･4年)	・大切にしている理由が読む人に伝わるように文章を書いている。		○		
	読むこと	ウ(3･4年)	・登場人物の行動や気持ちの変化に即しながら，人物相互の関係を踏まえ，登場人物の気持ちを想像して読んでいる。	7)		○	
				8)		○	
				9)		○	
				10)		○	
				11)		○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ｲ)(3･4年)	・第４学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			○
				2)			○
			・第３学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく書いている。	3)			○
		(1)イ(ｷ)(3･4年)	・修飾語と被修飾語の関係を理解している。	4)			○
		(1)ア(ｲ)(3･4年)	・慣用句の意味を理解した上で使っている。	5)			○
		(1)ウ(ｱ)(3･4年)	・日常使われている簡単な単語について，ローマ字で正しく書いている。	6)			○

小学校　４年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 73.3%

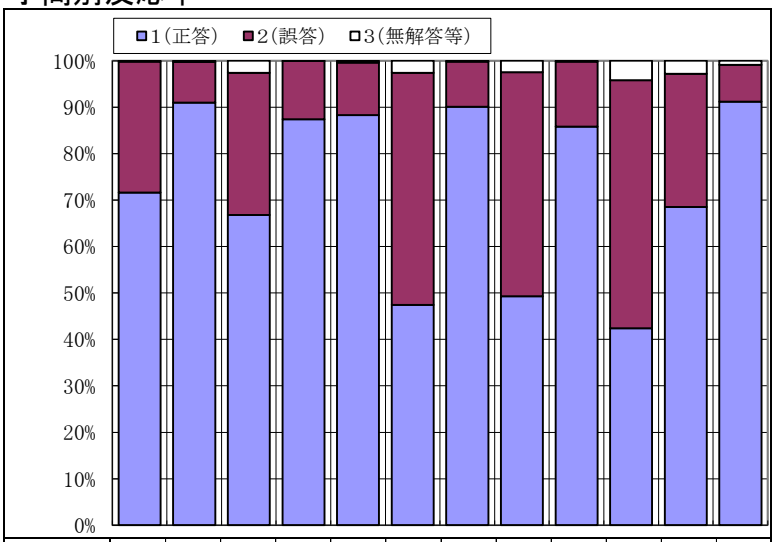
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（いさましく）	71.6	70.0
（2	漢字を読む（けしき）	91.0	85.0
（3	漢字を書く（研究）	66.8	70.0
（4	修飾・被修飾の関係	87.4	80.0
（5	慣用句	88.3	80.0
（6	ローマ字を書く（ｋｉｐｐｕ）	47.4	60.0
（7	叙述に基づいた内容の理解	90.1	85.0
（8	登場人物の心情の理解	49.3	60.0
（9	登場人物の心情の理解	85.8	80.0
（１０	登場人物の心情の理解	42.4	60.0
（１１	登場人物の心情の理解	68.5	60.0
（１２	大切にしているものと理由を文章にして書く〔作文〕	91.3	85.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12
1 （正答）	71.6	91.0	66.8	87.4	88.3	47.4	90.1	49.3	85.8	42.4	68.5	91.3
2 （誤答）	28.2	8.7	30.6	12.5	11.3	50.0	9.7	48.2	14.0	53.4	28.7	7.9
3 （無解答等）	0.2	0.3	2.6	0.1	0.4	2.6	0.2	2.5	0.2	4.2	2.8	0.9

小問別通過率度数分布表（202校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	平均通過率
100%	12	39	14	31	50	1	46	3	26	2	7	58	
90%～100%	19	85	14	62	71	8	71	3	45	4	8	78	2
80%～90%	45	64	32	76	54	15	66	5	95	3	43	41	41
70%～80%	45	10	38	25	22	19	16	25	27	9	63	19	108
60%～70%	35	3	44	3	4	32	2	30	8	21	41	4	46
50%～60%	26		35	3	1	25		39	1	33	20		4
40%～50%	10		12	1		27		39		46	6		1
30%～40%	7		11			35		28		48	9	1	
20%～30%	2		1			26		16		25	3		
10%～20%	1		1			8		9		5			
0%～10%		1		1		6	1	5		6	2	1	

小学校４年　国語　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別			計
	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10％ より高い	0	0	0	0
±10％ の範囲内	1	3	5	9
－10％ より低い	0	2	1	3
計	1	5	6	１２

２　考察

(1) 全体について

12問中９問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「書くこと」では、紹介する対象を明確にし、理由が分かるように文章を書くことに指導の成果が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾・被修飾の関係や慣用句の指導において成果が見られる。

(3) 課題

①場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の言動や会話、様子に関する叙述と登場人物の気持ちの変化を関連させて読むことに課題が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、ローマ字表記に関して課題が見られる。

３　今後の指導

場面の移り変わりとともに変化する登場人物の気持ちについて、叙述を基に想像して読むことに関する指導の充実を図る。

・登場人物の心情を読み取る際には、まず、叙述を基に、それぞれの登場人物の性格や境遇、状況を捉えられるようにする。
・変化する気持ちについて地の文や行動、会話などから関連的に捉えていく際には、自分の経験と照らし合わせて具体的に考えられるようにする。
・登場人物の心情について考えたことを交流する場面を設定し、叙述をどのように解釈したかを検討するなど、考えを広げ、深められるような学習活動を工夫する。

［参考　通し番号 10)］

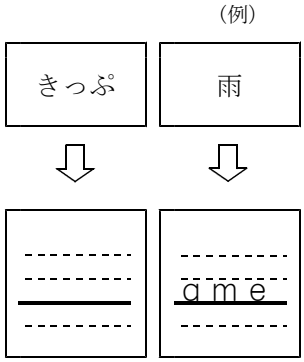
３　女の子のために、「おにた」が食べ物を手に入れようと、寒い中、さがし回ったことが想像できる表現を見つけ、十一字でぬき出して書きなさい。

ローマ字表記を使用する機会の充実を図る。

・ローマ字表記を使って仮名五十音と対応させた指導をするとともに、拗音、促音、撥音などについても、音声と関連付けながら規則性に気付くことができるように指導する。
・学習のまとめとして作成する新聞やリーフレット等にローマ字を使用させるなど、ローマ字にふれる機会を増やし、その都度、重ねて指導することが大切である。

［参考　通し番号 6)］

５　次の言葉を、例にならってローマ字で書きなさい。



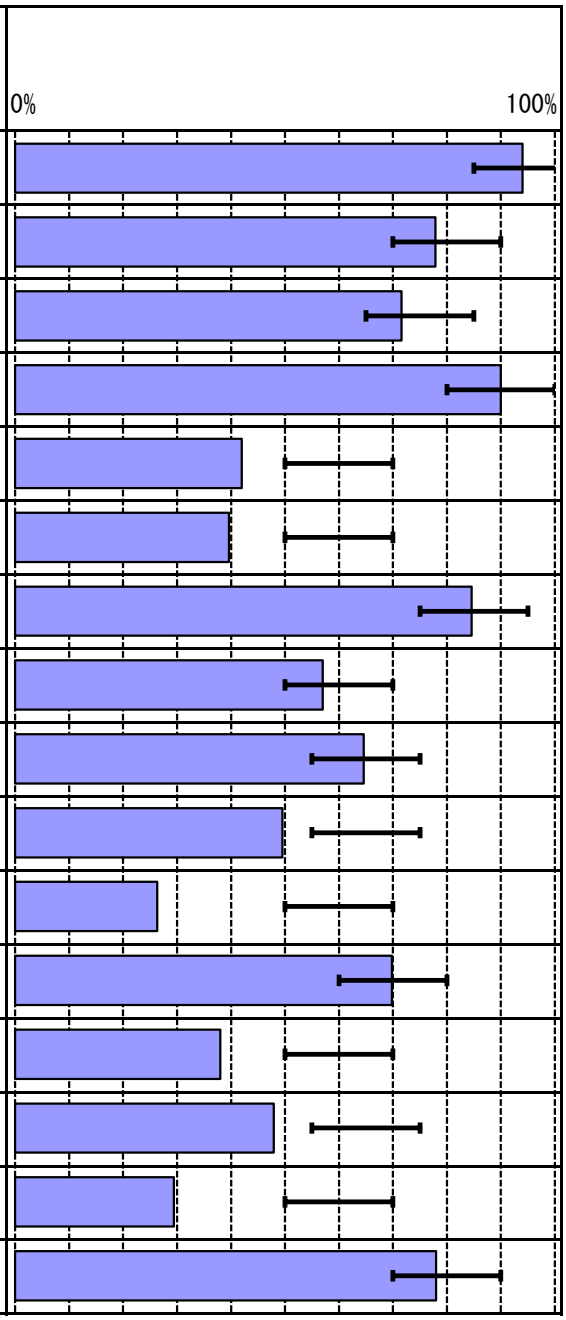
平成２９年度小学校学習状況調査　第５学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 話す能力聞く能力	観点 書く能力	観点 読む能力	観点 言語についての知識・理解・技能
第５学年	話すこと聞くこと	エ(5･6年)	・話し手の意図を捉え，自分の意見と比べて考えをまとめている。	10)	○			
		ア(5･6年)	・伝えたい事柄についての知識や情報を関係付けて話す内容をまとめている。	11)	○			
	書くこと	エ(5･6年)	・短歌に表現された様々な言葉を関連付けて，自分なりに解釈したことを具体的に書いている。	16)		○		
	読むこと	ウ(5･6年)	・新聞記事の内容を的確に押さえた上で，要旨を捉えている。	12)			○	
		イ(5･6年)	・二つの新聞記事を比べて読み，論調の違いを捉えている。	13)			○	
		イ(3･4年)	・記事の中心となる語や文を捉えて段落相互の関係を理解している。	14)			○	
		オ(5･6年)	・記事の中の重要語句と記事が伝えている内容との関連について自分の考えをまとめている。	15)			○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ｱ)(5･6年)	・第５学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
			・第４学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく書いている。	3)				○
				4)				○
		(1)イ(ｴ)(5･6年)	・語句の構成について理解している。	5)				○
		(1)イ(ｷ)(3･4年)	・修飾語と被修飾語の関係を理解している。	6)				○
		(1)イ(エ)(5･6年)	・和語・漢語・外来語などの区別について理解している。	7)				○
		(1)ウ(ｱ)(3･4年)	・日常使われている簡単な単語について，ローマ字で正しく書いている。	8)				○
		(1)ア(ｲ)(3･4年)	・慣用句の意味を理解した上で使っている。	9)				○

小学校　５年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 60.1%

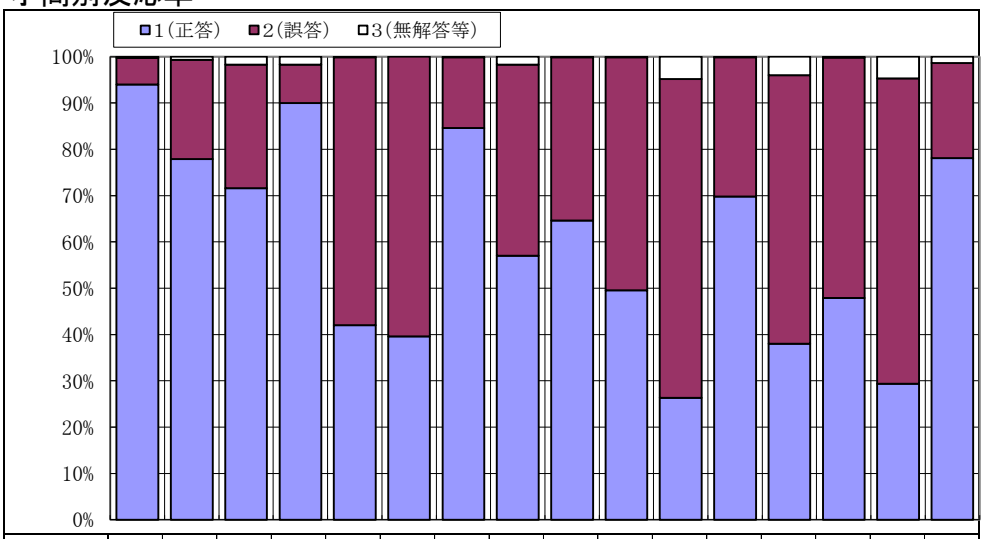
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	漢字を読む（あむ）	94.0	95.0
（2	漢字を読む（かこう）	77.9	80.0
（3	漢字を書く（周囲）	71.6	75.0
（4	漢字を書く（積もる）	90.0	90.0
（5	熟語の構成	42.0	60.0
（6	修飾・被修飾の関係	39.6	60.0
（7	漢語・和語・外来語	84.6	85.0
（8	ローマ字を書く（ｋｉｐｐｕ）	57.0	60.0
（9	慣用的な表現についての理解	64.6	65.0
（１０	自分の意見と比べて聞く	49.5	65.0
（１１	知識や情報を関連付けて話す	26.3	60.0
（１２	文章の要旨を捉える	69.8	70.0
（１３	二つの文章を比べて内容の違いを捉える	38.0	60.0
（１４	段落相互の関係についての理解	47.9	65.0
（１５	読んで考えたことを広げ深める	29.4	60.0
（１６	二つ以上の叙述を関連付けて解釈を書く〔作文〕	78.0	80.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16
1 （正答）	94.0	77.9	71.6	90.0	42.0	39.6	84.6	57.0	64.6	49.5	26.3	69.8	38.0	47.9	29.4	78.0
2 （誤答）	5.7	21.4	26.7	8.3	57.8	60.4	15.3	41.3	35.3	50.3	68.9	30.1	58.0	51.9	65.9	20.5
3 （無解答等）	0.3	0.7	1.7	1.7	0.1	0.0	0.1	1.7	0.1	0.1	4.8	0.1	4.0	0.2	4.7	1.4

小問別通過率度数分布表（200校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	平均通過率
100%	51	14	14	38	5	3	16	5	10	2	5	10	3	2	1	31	
90%～100%	110	20	16	75		1	40	13	8	1		1	1		1	39	
80%～90%	33	67	44	68	2	7	90	21	32	7	2	26	2	3	2	45	5
70%～80%	6	49	42	14	6	11	43	29	40	6	3	63	5	6	5	34	18
60%～70%		35	47	4	20	20	7	38	46	21	8	68	16	26	7	26	87
50%～60%		11	21	1	27	17	3	33	33	66	17	26	21	59	14	13	81
40%～50%		2	13		44	32	1	21	16	54	15	4	35	60	23	6	8
30%～40%		2	1		56	61		20	9	35	31	2	45	34	46	4	1
20%～30%			1		28	31		12	6	6	36		45	8	41	1	
10%～20%					6	11		7		1	56		23	2	37		
0%～10%			1		6	6		1		1	27		4		23	1	

小学校５年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10%より高い	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	0	1	1	7	9
－10%より低い	2	0	3	2	7
計	2	1	4	9	１６

2　考察

(1) 全体について

①16問中７問が設定通過率の「－10%より低い」状況である。全体の通過率は60.1であり、学習内容の定着にやや課題が見られる。

(2) 成果

①「書くこと」では、優れた叙述について、根拠を明確に示しながら自分の考えをまとめて書くことについて指導の成果が見られる。

②「読むこと」では、文章の要旨や段落相互の関係を捉えることについて、指導が改善されつつある。

③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢語・和語・外来語の語彙を増やし、意味を正確に理解することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「話すこと・聞くこと」では、伝えたい事柄に関する知識や情報を関係付けて話す内容をまとめることに課題が見られる。

②「読むこと」では、文章中の重要語句と記事が伝えている内容との関連について、自分の考えをまとめることに課題が見られる。

3　今後の指導

「話すこと・聞くこと」では、事柄の中心と各部分との関係を捉えて話を構成する指導の充実を図る。

・伝えたいことの中心に照らして必要な材料を取捨選択する活動や、集めた材料を分類したり関係付けたりしながら、伝えたいことの中心を要約する活動を取り入れる。

・伝えたいことの中心と各部分で述べていることとの関係を、子ども自身が捉え直すことができるような評価活動を取り入れる。

「参考　通し番号11)」

2　三人で話し合ったことをもとに、「はじめ」だけを変えて、スピーチの内容がつながるようにするには、どのような内容にその内容を書きなさい。

「読むこと」では、重要語句と書き手の表現意図との関係を捉えて解釈する指導の充実を図る。

・漢語と和語、平仮名と片仮名などの表記の違いや類義語などに着目させ、場面や状況に応じた使い方の正誤・適否・美醜などを判断したり、表現の取捨選択に関する書き手の意図を考えさせたりする場や機会を、様々な単元の学習過程に積極的に位置付ける。

「参考　通し番号15)」

4　坂田さんは、A社では「象徴的存在」、B社では「風物詩」と、アユに対する表現がちがうことに気付きました。そこで、辞書を活用しながら、それぞれの記事の中でアユがもつ意味を、次のようにまとめました。解答らんのA社の内容を参考にして、B社の内容を書きなさい。

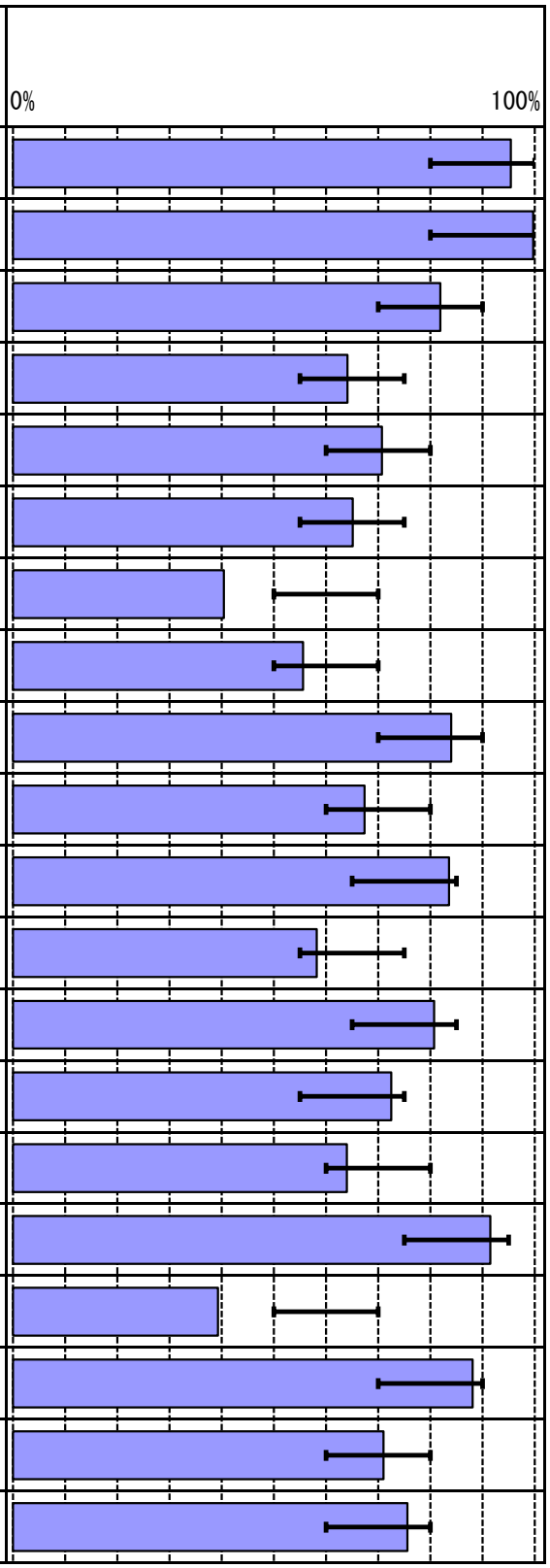
平成２９年度小学校学習状況調査　第６学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 話す聞く能力	観点 書く能力	観点 読む能力	観点 言語・知識・理解・技能
第６学年	話すこと聞くこと	オ(5･6年)	・互いの立場や意図をはっきりさせて，話合いの方向を示している。	12)	○			
	書くこと	ウ(5･6年)	・目的や意図に応じて，グラフから情報を取り出し，事実と感想，意見などを区別し，説明する文章を書いている。	20)		○		
	読むこと	エ(5･6年)	・登場人物の相互関係や心情，場面についての描写を捉えている。	13)			○	
				14)			○	
				15)			○	
				16)			○	
				17)			○	
				18)			○	
		オ(5･6年)	・文章を読んで感想を交流することで，自分の考えをまとめている。	19)			○	
	言語の特質に関する事項	(1)ウ(ｱ)(5･6年)	・第６学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
			・第５学年までに配当されている漢字を，文や文章の中で正しく書いている。	3)				○
				4)				○
			・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	5)				○
		(1)ア(ｲ)(3･4年)	・慣用句の意味を理解した上で使っている。	6)				○
		(1)イ(ｷ)(5･6年)	・修飾と被修飾の関係を理解している。	7)				○
		(1)イ(ｷ)(5･6年)	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。	8)				○
		(1)ア(ｱ)(3･4年)	・季節を表す言葉に着目しながら，俳句の情景を捉えている。	9)				○
				10)				○
		(1)イ(ｴ)(5･6年)	・語句の構成について理解している。	11)				○

小学校　６年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 72.4%

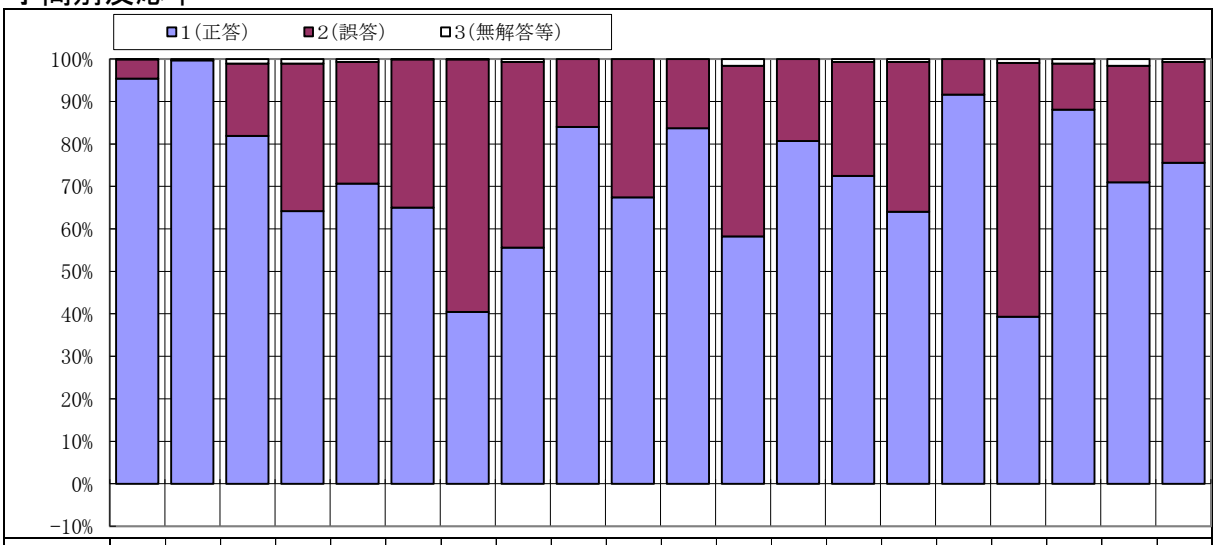
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	漢字を読む（しゅっきん）	95.4	90.0
（2	漢字を読む（うつす）	99.7	90.0
（3	漢字を書く（率いる）	81.9	80.0
（4	漢字を書く（複雑）	64.1	65.0
（5	正しい送り仮名で漢字を書く（確かめる）	70.7	70.0
（6	慣用句	65.1	65.0
（7	修飾・被修飾の関係	40.4	60.0
（8	文の構成	55.6	60.0
（9	短歌の鑑賞	84.0	80.0
（１０	季語の意味の理解	67.4	70.0
（１１	熟語の構成	83.6	75.0
（１２	効果的なスピーチ	58.2	65.0
（１３	文脈に即して語句の意味を捉える	80.7	75.0
（１４	内容の理解	72.5	65.0
（１５	内容の理解	64.0	70.0
（１６	登場人物の心情の理解	91.5	85.0
（１７	内容の理解	39.3	60.0
（１８	登場人物の人物像の理解	88.1	80.0
（１９	登場人物の心情の理解	71.0	70.0
（２０	グラフの分析を基に考えを書く〔作文〕	75.6	70.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	95.4	99.7	81.9	64.1	70.7	65.1	40.4	55.6	84.0	67.4	83.6	58.2	80.7	72.5	64.0	91.5	39.3	88.1	71.0	75.6
2 （誤答）	4.5	0.3	17.0	34.7	28.6	34.9	59.4	43.7	16.0	32.6	16.3	40.2	19.3	26.8	35.2	8.4	59.8	10.8	27.4	23.7
3 （無解答等）	0.1	0.0	1.1	1.1	0.7	0.1	0.1	0.7	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.7	0.7	0.0	0.9	1.1	1.6	0.7

小問別通過率度数分布表（202校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	71	180	32	6	11	6	3	12	17	8	26	8	15	7	5	45	3	36	5	17	
90%～100%	105	22	41	14	15	1		4	41	10	33	7	25	4	11	95	2	70	4	27	2
80%～90%	24		57	26	44	16	2	22	89	21	87	15	73	53	40	52	2	75	38	44	29
70%～80%	1		43	37	45	46	3	30	43	50	42	28	59	67	29	8	10	17	61	53	112
60%～70%			21	45	43	68	6	35	7	61	11	47	18	41	38	2	14	3	63	32	55
50%～60%			7	38	29	49	28	24	2	34	2	44	7	23	43		24		23	18	3
40%～50%			1	17	11	9	48	32		12		20	4	3	20		33		7	6	
30%～40%				10	3	6	66	24	1	4		23	1	3	10		50		1	2	
20%～30%				7			39	14	1			7			4		43			2	1
10%～20%				1			4	2				1			1		17				
0%～10%	1			1	1	1	3	3	1	2	1	2		1	1		4	1		1	

小学校６年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10%より高い	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	1	1	6	１０	１８
－10%より低い	0	0	1	1	2
計	1	1	7	１１	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中18問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着の状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「書くこと」では、目的や意図に応じて、表やグラフから情報を取り出し、事実と感想、意見などを区別して書くことについて、指導の成果が見られる。

②「読むこと」では、登場人物に関する様々な叙述に基づき自分の考えをまとめることについて、指導の成果が見られる。

③「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、慣用句や熟語の構成に関して指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「読むこと」では、登場人物相互の関係に基づき、行動や情景などの描写を関連付けながら読み取ることに課題が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾・被修飾の関係や主述の関係についての理解に課題が見られる。

3　今後の指導

「読むこと」では、登場人物相互の関係に基づき、心情や場面の描写を読み取る力を伸ばす指導の充実を図る。

・文章を読む際に、一部分ではなく前後の文脈に着目させながら、種々の叙述の関連性を捉えさせることにより、場面の描写を読み取れるよう指導を工夫する。
・登場人物の相互の関係を捉えた上で、言動や情景等の叙述から心情について考えるなど、叙述を基にして文章を解釈する学習活動を工夫する。
・行動や情景等から読み取ったことを交流し合う場を設定することで、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導では、各領域の学習と関連させ、語句や文及び文の構成に関する理解の定着を図る。

・語句の係り受けに着目して作者の表現の工夫を捉えたり、主述の関係に着目して作文を推敲したりするなど、言葉の特徴やきまりに関する事項を、各領域の学習場面においても、語句や文及び文の構成に関する事項を関連付けながら学ぶことができるよう、学習活動を工夫する。

7)　次のA、Bの文の――部は、それぞれどの言葉をくわしくしていますか。正しい組み合わせを、あとのア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

A　「ドッ、ドッ、ドーン」と、空をつきやぶるように、花火があがった。
B　ドッ、ドッ、ドーンと空をつきやぶるように、花火があがった。

ウ　A　花火が　B　あがった
イ　A　あがった　B　つきやぶる
エ　A　空を　B　つきやぶる
ア　A　あがった　B　花火が

17)　そう言われて――について、トゥーチカが言われた内容を次のようにまとめます。□に入るふさわしい内容を書きなさい。

□はずで、とどいたばかりだから品質は落ちていないということ。

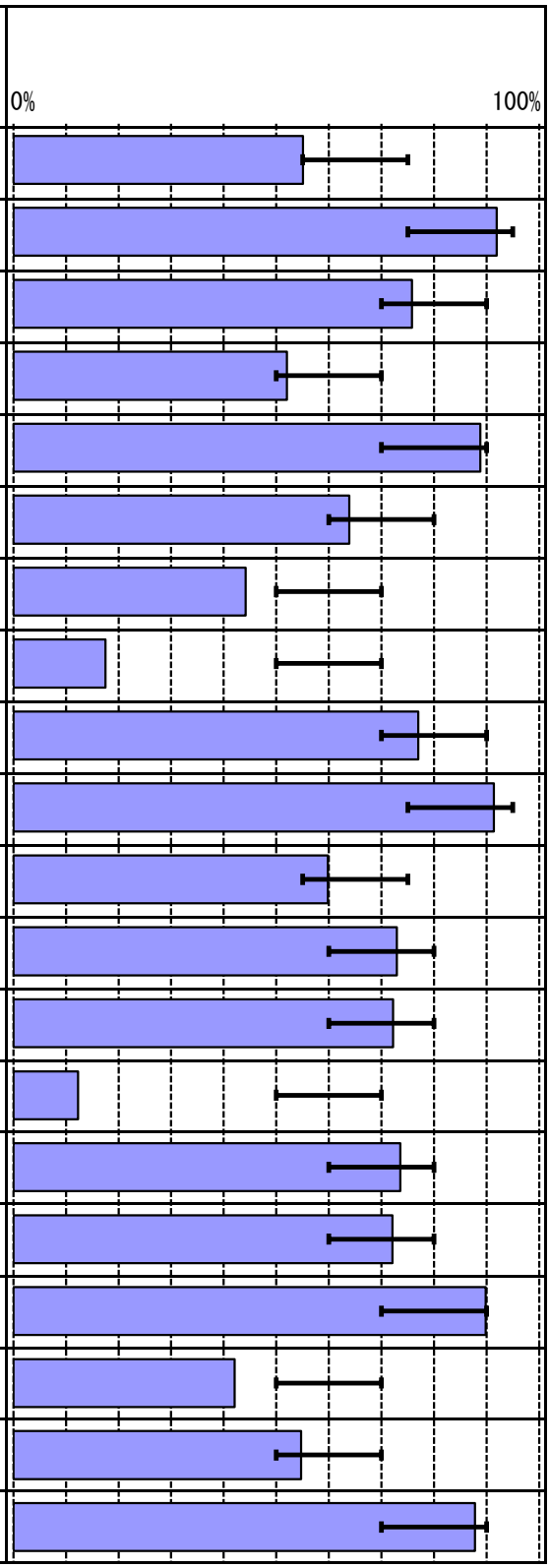
平成２９年度中学校学習状況調査　第１学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点			
					聞く能力 話す能力	書く能力	読む能力	言語の知識・理解・技能
第１学年	聞くこと 話すこと	イ（中１）	・事実と意見との関係に注意して話を構成することについて理解している。	12)	○			
		ウ（中１）	・話す速度や音量，間の取り方，相手に分かりやすい語の選択，相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すことを理解している。	13)	○			
	書くこと	ウ（中１）	・伝えたい事柄について，自分の考えを根拠を明確にして書いている。	20)		○		
	読むこと	ア（中１）	・文脈の中における語句の意味を的確に捉え，理解している。	15)			○	
		イ（中１）	・文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け，目的や必要に応じて要旨をとらえている。	16)			○	
				17)			○	
		イ（中１）	・段落ごとに内容を読み分け，相互の関係を正しく押さえて要約している。	14)			○	
				18)			○	
		エ（中１）	・文章の構成や展開，表現の特徴について，自分の考えをもっている。	19)			○	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ア)(中1)	・小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度の漢字を正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
		(1)ウ(ア)(小5・6)	・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3)				○
				4)				○
		(1)ウ(イ)(中1)	・文脈に即して漢字を適切に使っている。	5)				○
		(1)イ(ウ)(中1)	・事象や行為等を表す多様な語句について理解している。	6)				○
		(1)イ(エ)(小5・6)	・熟語の構成について理解している。	7)				○
		(1)イ(キ)(小5・6)	・修飾語・被修飾の関係を正しく理解している。	8)				○
		(1)イ(ウ)(中1)	・慣用句について理解している。	9)				○
		(1)ア(ア)(中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	10)				○
		(1)イ(オ)(中1)	・比喩の用法について理解している。	11)				○

中学校　１年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 64.7%

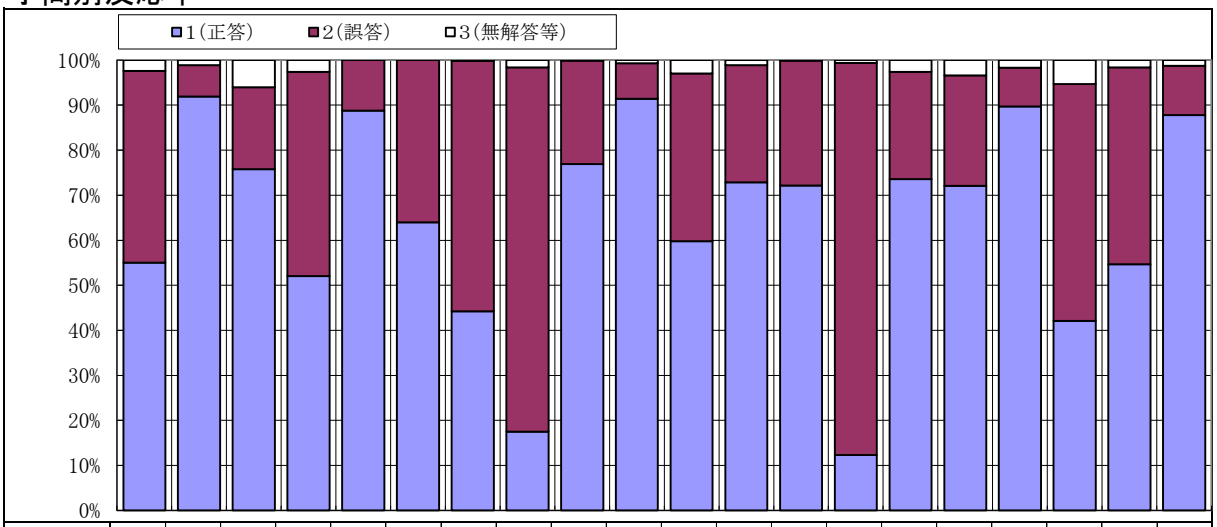
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	漢字を読む（とんや）	55.1	65.0
（2	漢字を読む（おがむ）	91.9	85.0
（3	漢字を書く（敬う）	75.8	80.0
（4	漢字を書く（対象）	52.0	60.0
（5	同音異義語	88.8	80.0
（6	文脈に適した語句	63.9	70.0
（7	熟語の構成	44.2	60.0
（8	修飾・被修飾の関係	17.5	60.0
（9	慣用句の意味の理解	77.0	80.0
（１０	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す	91.4	85.0
（１１	表現技法（比喩）についての理解	59.8	65.0
（１２	スピーチの構成についての理解	72.9	70.0
（１３	相手が理解しやすい話し方についての理解	72.2	70.0
（１４	段落相互の関係を捉える	12.3	60.0
（１５	文脈に即して語句の意味を捉える	73.6	70.0
（１６	中心的な部分と付加的な部分の読み分け、要旨を捉える	72.1	70.0
（１７	中心的な部分と付加的な部分の読み分け、要旨を捉える	89.8	80.0
（１８	目的や必要に応じた要約	42.1	60.0
（１９	文章の構成や展開、表現の特徴の理解	54.7	60.0
（２０	根拠を明らかにして考えを書く〔作文〕	87.8	80.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	55.1	91.9	75.8	52.0	88.8	63.9	44.2	17.5	77.0	91.4	59.8	72.9	72.2	12.3	73.6	72.1	89.8	42.1	54.7	87.8
2 （誤答）	42.6	7.0	18.2	45.3	11.2	36.0	55.6	80.9	23.0	7.9	37.2	26.0	27.8	87.2	23.8	24.5	8.6	52.6	43.7	10.9
3 （無解答等）	2.4	1.1	6.0	2.6	0.0	0.0	0.2	1.6	0.1	0.7	3.0	1.1	0.1	0.6	2.6	3.4	1.7	5.3	1.6	1.3

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%		15	4	2	9	1			2	24	1	3	1		1	1	12	1		15	
90%～100%	4	69	12	1	43				4	54	12	12	2		2	4	53	2		52	
80%～90%	4	29	34	5	53	5	1	1	39	28	11	33	17		24	18	48	8	2	30	1
70%～80%	13	4	35	11	11	21	2		45	7	14	45	51		55	52	4	13	7	12	14
60%～70%	20		22	21		43	12	1	23	2	22	11	35		29	25		14	18	2	82
50%～60%	35	1	7	26	2	34	25		5	3	20	6	11		6	10	1	19	47	6	20
40%～50%	26		4	21		10	34	3			20	2	1		1	6		13	36		1
30%～40%	14			26		2	27	13			11	4				1		3	8		
20%～30%	1			4		1	12	25			4	2		11				8			
10%～20%	1					1	2	42			2			54		1		9			
0%～10%				1			3	33			1			53				28		1	

中学校１年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10％より高い	0	0	0	0	0
±10％の範囲内	2	1	4	9	１６
－10％より低い	0	0	2	2	4
計	2	1	6	１１	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中16問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着はおおむね良好である。

(2) 成果

①「書くこと」では、自分の考えについて、資料を基に根拠を明確にして書くことに関して指導の成果が見られる。

②「読むこと」では、文脈の中における語句の意味を的確に捉えたり、中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要旨を捉えたりすることに指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「読むこと」では、説明的文章における各段落の内容を読み分け、相互の関係を正しく捉えることに課題が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾語と被修飾語の関係を理解することに課題が見られる。

3　今後の指導

説明的文章の指導において各段落の内容を読み分け、文章の内容の理解につなげる指導の充実を図る。

・指示語や接続語等に着目し、段落のつながりを意識させることで、大まかな文章構成を捉えられるようにする。

・段落ごとの内容を要約したことを基に、文章構造を図式化する学習活動を取り入れるなど、段落相互の関係をより具体的に捉えられるように指導を工夫する。

語句の役割や語句相互の関係に着目して、文の構成について捉え、正確な理解を促す指導の充実を図る。

・構造が複雑な文の組立てについての指導では、まず主語と述語を捉えることで、大まかに文の構成や伝えたい内容にについて捉えられるようにする。

・主語と述語をそれぞれ修飾している言葉と、それ以外の言葉を区別したり、語順を入れ替えて文を整えたりする活動を取り入れるなど、文の構成について正確な理解を促す指導を工夫する。

［参考　通し番号14］

1　次の文は、1～12のどの段落の後に入りますか。当てはまる段落の番号を書きなさい。

現在進められている火星探検は、これらの目的に最も役立つのである。

（6段落）　さらにいうなら、単なる故障の修理ではすまないような宇宙船「地球号」の大事故に備えて、もう一つの宇宙船を建造しておく必要がある。（略）いってみればもう一つの地球といっていいくらいの、巨大な宇宙船である。

（7段落）　火星は、あらゆる惑星の中で地球に最もよく似た惑星である。（以下略）

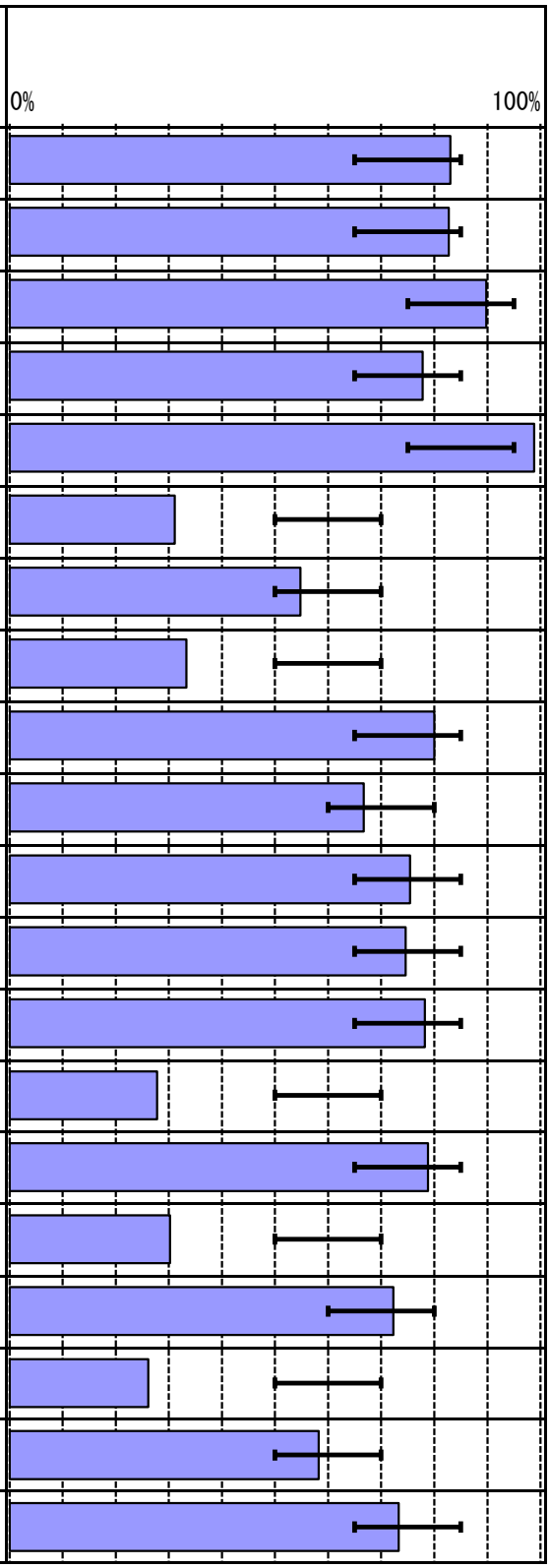
平成２９年度中学校学習状況調査　第２学年　国語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点			
					聞く・話す能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・理解・技能
第２学年	聞くこと・話すこと	エ（中２）	・話の中心的な部分と付加的な部分などを聞き分け，根拠となる事実を捉えている。	1)	○			
		エ（中２）	・論理的な展開などに注意して聞き取り，自分の考えをまとめている。	2)	○			
		オ（中２）	・論理的な展開などに注意して聞き取り，目的に沿った話合いの進め方を理解している。	3)	○			
	書くこと	ウ（中２）	・目的や意図に応じてグラフから情報を読み取り，考えたことを説明する文章を書いている。	20)		○		
	読むこと	イ（中２）	・描写の効果，登場人物の言動の意味などを考え，内容を理解している。	14)			○	
				15)			○	
				18)			○	
				19)			○	
		ウ（中２）	・表現の意図や効果を考え，自分の考えをまとめている。	16)			○	
		エ（中１）	・文章の構成や展開，表現の特徴について自分の考えをもっている。	17)			○	
	言語文化と国語の特質に関する事項	(1)ウ(ア)(中2)	・第１学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を正しく読んでいる。	4)				○
				5)				○
		(1)ウ(イ)(中1)	・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6)				○
				7)				○
		(1)イ(イ)(中2)	・四字熟語を理解している。	8)				○
			・同音異義語を理解している。	9)				○
			・熟語の構成を理解している。	10)				○
		(1)イ(エ)(中1)	・指示語を理解している。	11)				○
		(中2)	・単語の類別及び活用について理解している。	12)				○
		(1)ア(ア)(中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	13)				○

中学校２年　国語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 64.6%

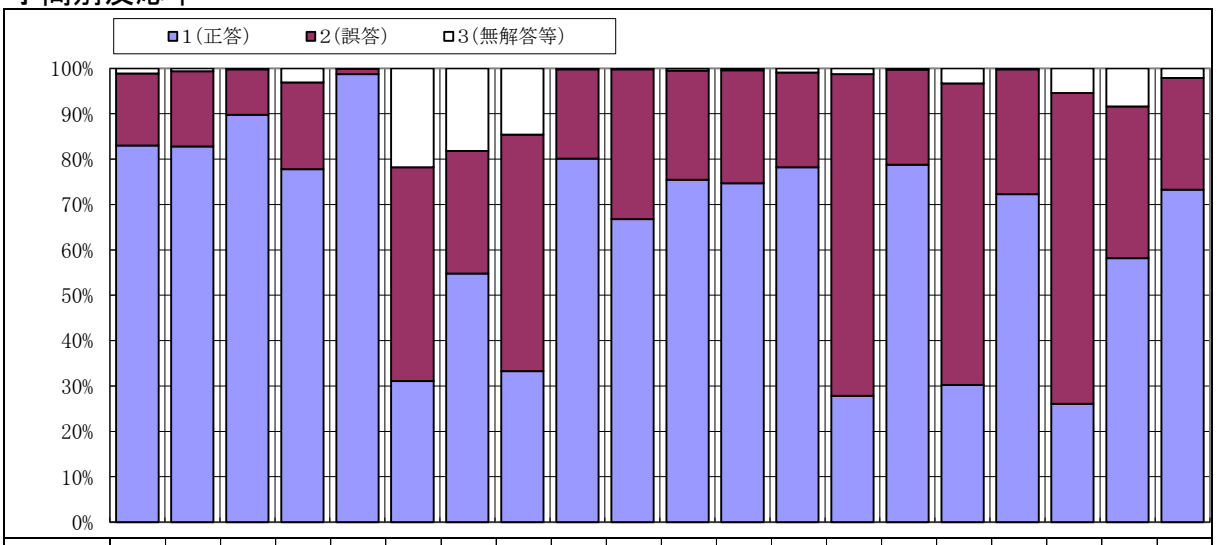
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	話の要点を聞き取る	83.0	75.0
（2	話の要点を聞き取る	82.7	75.0
（3	話の構成や展開に注意して聞き取る	89.8	85.0
（4	漢字を読む（きろ）	77.8	75.0
（5	漢字を読む（あやしい）	98.8	85.0
（6	漢字を書く（把握）	31.1	60.0
（7	漢字を書く（巡る）	54.8	60.0
（8	四字熟語	33.3	60.0
（9	同音異義語	80.0	75.0
（１０	熟語の構成	66.7	70.0
（１１	指示する語句の理解	75.4	75.0
（１２	活用する自立語の理解	74.6	75.0
（１３	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す	78.2	75.0
（１４	登場人物の言動の理解	27.8	60.0
（１５	文章の内容を捉える	78.8	75.0
（１６	文章における語句の意味を捉える	30.2	60.0
（１７	表現の特徴を捉える	72.3	70.0
（１８	表現の効果を捉える	26.1	60.0
（１９	主人公の心情の変化を捉える	58.2	60.0
（２０	根拠を明らかにして考えを書く〔作文〕	73.3	75.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　国語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	83.0	82.7	89.8	77.8	98.8	31.1	54.8	33.3	80.0	66.7	75.4	74.6	78.2	27.8	78.8	30.2	72.3	26.1	58.2	73.3
2 （誤答）	15.9	16.6	10.0	19.1	1.2	47.1	27.0	52.1	19.7	33.0	24.0	24.9	20.9	70.8	20.9	66.5	27.5	68.5	33.4	24.6
3 （無解答等）	1.1	0.6	0.2	3.1	0.1	21.8	18.2	14.6	0.2	0.2	0.5	0.4	0.9	1.3	0.3	3.3	0.2	5.4	8.4	2.1

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	7	18	8	4	71		2	1			12	4	6		3		3		2	5	
90%～100%	30	32	54	27	45		2	4	10	2	19	6	19		11	1	5			28	
80%～90%	46	29	47	25			4	7	49	11	17	24	37	1	42		18		14	23	1
70%～80%	17	20	7	20	1	1	11	8	44	29	31	38	30		47	2	45		21	16	25
60%～70%	10	10		20		4	23	4	10	42	21	35	17	1	13	4	38		29	19	69
50%～60%	4	3	2	14	1	14	38	6	3	19	14	7	6	6	1	7	6	3	20	13	19
40%～50%	2	3		4		11	30	7	1	11	3	1	1	12		11	2	8	12	8	2
30%～40%				2		20	4	9	1	3		2		29		27		23	9	3	1
20%～30%		1		1		35	3	20						39		31		57	6	1	
10%～20%						28		22						22		27		21	3		1
0%～10%	2	2		1		5	1	30		1	1	1	2	8	1	8	1	6	2	2	

中学校２年　国語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
＋10%より高い	0	0	0	1	1
±10%の範囲内	3	1	3	7	１４
－10%より低い	0	0	3	2	5
計	3	1	6	１０	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中15問が設定率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「話すこと・聞くこと」では、話の中心的な部分と付加的な部分などを聞き分けたり、論理的な展開について聞き取って自分の考えをまとめたりすることについて、指導の成果が見られる。

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、同音異義語や歴史的仮名遣いについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①「読むこと」では、文学的文章における語句の意味を捉える問題において、場面状況や話の展開を理解した上で自分の考えをまとめることに課題が見られる。

②古文における読み取りでは、文章全体の大まかな内容を捉えた上で、登場人物が話した部分を読み取ることに課題が見られる。

3　今後の指導

作者の表現の仕方の目的や意図について考えを深める指導の充実を図る。

・文学的な文章を読む際に、場面設定、登場人物の人物像などについて整理する活動を行い、文章の全体像を捉えられるようにする。
・登場人物の言動の意味を考えるなど、視点を定めて学習活動を進める中で、グループ等で叙述に関する解釈を交流することを通して、作者の表現の仕方の目的や意図について考えさせるなど、考えが広がったり深まったりするよう指導を工夫する。

「参考　通し番号16)」
1　主流の文章における意味を、文章中の言葉を用いて十字以上十五字以内で説明しなさい。

古文を読む際は、朗読することを通して、登場人物や作者の思いについて理解を深めるよう指導の充実を図る。

・現代語訳や語注などを手掛かりに内容を捉えた上で、場面や状況等が伝わるように朗読する学習活動を通して、古文特有の表現の仕方について理解が深まるよう指導を工夫する。
・登場人物の言葉や行動と、作者のものの見方や考え方が表現されているところを区別させ、その関連について考えさせるなど、理解が確かなものになるよう指導を工夫する。

「参考　通し番号14)」
2　右の文章中には、「　」を付けられる部分があります。その「　」の部分の初めと終わりを五字ずつ書き抜きなさい。

4　結果と考察　(2) 社会

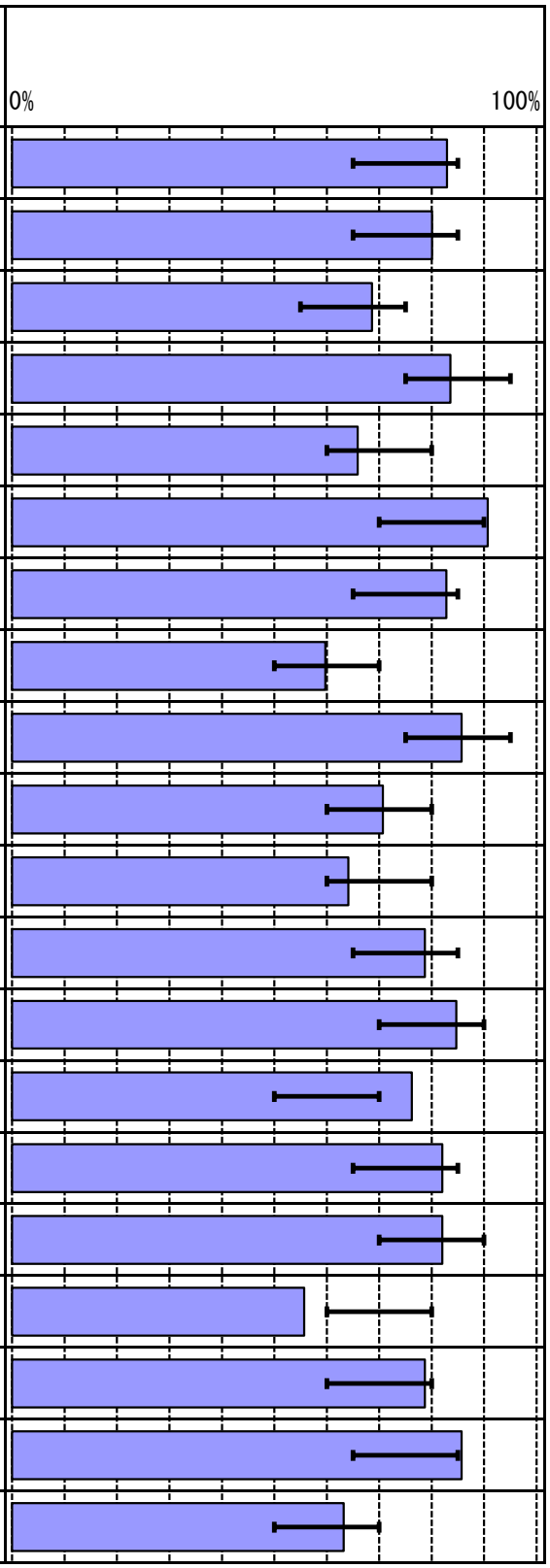
平成２９年度小学校学習状況調査　第５学年　社会　評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観点 思考判断表現	技能	知識理解
第5学年	(1)ア	・地図帳を活用して，県の位置について必要な情報を集め，読み取っている。	(1		○	
	(1)ア	・地図帳を活用して，半島の位置について必要な情報を集め，読み取っている。	(2		○	
第3・4学年	(1)ア	・主な地図記号を活用して，地図を読み取っている。	(3		○	
	(1)ア	・方位に関する基礎的な知識を活用して，地図を読み取っている。	(4		○	
	(1)ア	・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して，地図を読み取っている。	(5		○	
	(6)ア	・自分の住む市町村の位置を理解している。	(6			○
	(6)イ	・秋田県の位置や地形の概要を理解している。	(7			○
	(2)アイ	・複数の資料を関連付けて，学習問題を考え表現している。	(8	○		
	(5)ウ	・地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。	(9			○
	(4)ア	・交通事故の発生件数，事故原因の資料を読み取っている。	(10		○	
	(4)ア	・課題を解決するために必要な情報を集めている。	(11		○	
第5学年	(1)イ	・自然条件から見て特色ある地域の産業について考え適切に表現している。	(12	○		
	(2)イ	・農業が自然環境と深いかかわりをもって営まれていることについて考え適切に表現している。	(13	○		
	(2)ウ	・米づくりの機械化について，資料を適切に読み取って長所と短所について考え適切に表現している。	(14	○		
	(2)ウ	・日本の農業の課題に対する取組について考え適切に表現している。	(15	○		
	(2)ウ	・水産物の生産の過程や輸送などに様々な費用がかかることを理解している。	(16			○
	(2)ウ	・生鮮食料品の価格について理解している。	(17			○
	(2)ウ	・水産資源の保護，育成について説明するための資料を集めている。	(18		○	
	(1)ア	・世界の広がりの中で，我が国の位置を理解している。	(19			○
	(1)ア	・我が国の領土と主な国の名称と位置を理解している。	(20			○

小学校　５年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　76.2%

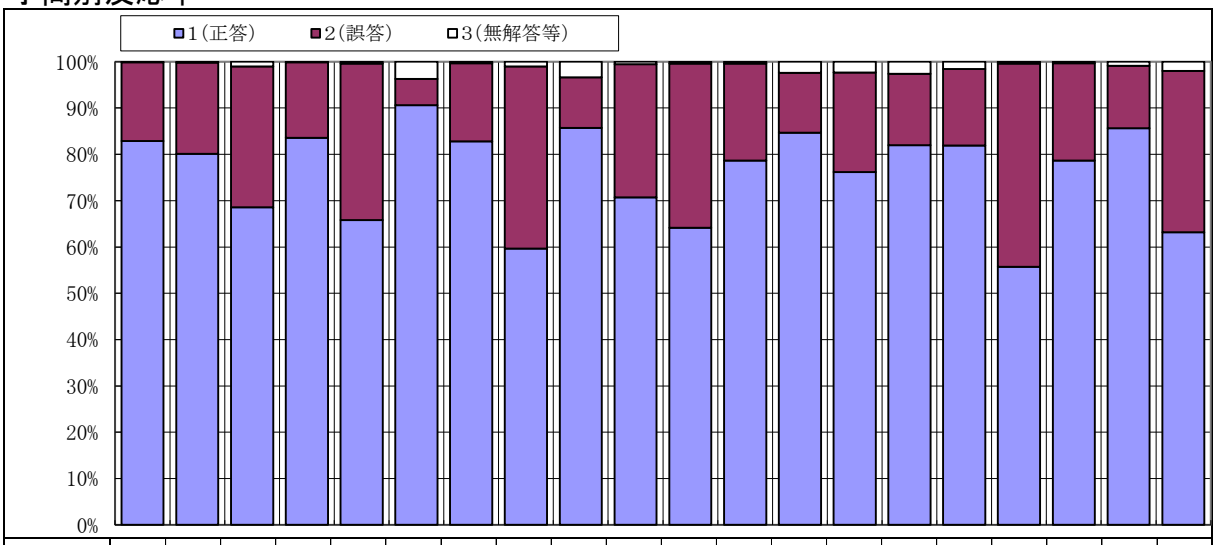
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	地図帳の読み取り	82.9	75.0
（2	地図帳の読み取り	80.1	75.0
（3	地図の読み取りと地図記号	68.6	65.0
（4	地図上での方位	83.6	85.0
（5	地図上の距離	65.9	70.0
（6	秋田県の市町村の位置	90.7	80.0
（7	秋田県の位置や地形の概要	82.8	75.0
（8	地域の販売の工夫	59.7	60.0
（9	地域の発展に尽くした先人	85.7	85.0
（１０	交通事故の資料の読み取り	70.7	70.0
（１１	交通事故の資料の収集	64.1	70.0
（１２	花づくりについての資料を活用した表現	78.7	75.0
（１３	気候の特色を生かした花づくり	84.7	80.0
（１４	米づくりにおける機械化の長所と短所	76.2	60.0
（１５	農業の課題への取組	82.0	75.0
（１６	水産物の生産や輸送にかかる費用	82.0	80.0
（１７	水産物の価格	55.7	70.0
（１８	水産資源の保護、育成	78.7	70.0
（１９	我が国の位置	85.7	75.0
（２０	我が国の領土	63.2	60.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	82.9	80.1	68.6	83.6	65.9	90.7	82.8	59.7	85.7	70.7	64.1	78.7	84.7	76.2	82.0	82.0	55.7	78.7	85.7	63.2
2 （誤答）	17.0	19.7	30.4	16.3	33.8	5.7	16.9	39.4	10.9	28.8	35.4	20.9	12.9	21.5	15.4	16.5	43.9	21.0	13.5	34.8
3 （無解答等）	0.1	0.2	1.0	0.1	0.4	3.7	0.3	1.0	3.4	0.5	0.4	0.4	2.4	2.3	2.6	1.6	0.4	0.3	0.9	2.0

小問別通過率度数分布表（200校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	29	16	24	24	12	67	16	24	61	12	5	18	38	22	21	31	6	15	44	8	
90%～100%	47	28	24	42	2	74	29	31	68	6	1	24	48	31	37	54	3	17	59	7	12
80%～90%	55	74	26	73	19	42	93	27	33	30	20	78	72	50	71	59	10	72	54	22	75
70%～80%	46	49	31	43	49	12	44	25	18	70	38	45	20	47	52	32	16	57	24	45	80
60%～70%	17	25	38	16	68	3	14	16	9	57	64	27	13	29	12	11	43	33	13	37	28
50%～60%	6	5	26	2	33	1	3	14	5	19	57	6	7	15	4	4	56	5	5	43	5
40%～50%		3	20		14	1	1	7	3	5	11	2	1	5	3	5	40		1	25	
30%～40%			7		3			18		1	3		1			1	23	1		10	
20%～30%			4					19	2					1		1	3			2	
10%～20%								9	1							1				1	
0%～10%								10			1					1					

小学校５年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	３・４年	
＋10％ より高い	1	0	2	1	1	1	3
±10％ の範囲内	4	8	4	3	5	8	１６
－10％ より低い	0	0	1	0	1	0	1
計	5	8	7	4	7	9	２０

2　考察

(1) 全体について

全体の通過率は76.2であった。20問中19問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①経年比較している10問中８問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導の改善が図られている。

②秋田県の市町村の位置や我が国の国土と世界の大陸との位置関係を地図や地球儀を活用しながら捉え、理解することについては、良好な状況である。

(3) 課題

①与えられた資料から必要な情報を読み取るだけではなく、生活や社会の状況を関連付けて新たな問いを見いだし、その解決に必要な資料を収集する学習を一層充実させる必要がある。

②生産の過程や輸送における費用や販売される際の価格など、具体的な事実を基に人々の努力や工夫を捉えさせる必要がある。

3　今後の指導

価格や費用など、具体的な事実に着目して人々の努力や工夫について考える学習活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号(12（13 を例として］

地形や気候などの自然環境や社会的条件を生かし、生産を高める工夫や努力していることを、価格と関連付けて捉えさせる。

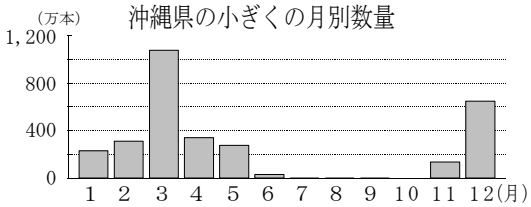
○具体例

①　東京都の市場で取り引きされる沖縄県の小ぎくの月別数量（資料１）を提示し、気付いたことを発表させる。(特に３月と12月の出荷数量が多いことに着目させる)

②　なぜ、３月と12月に取り引きされる数量が多いのか予想させる。

③　年中行事を示した資料や資料２などを提示し、３月、12月に小ぎくを必要とする彼岸や正月があること、３月、12月の取引価格が高いことなどを読み取らせ、３月、12月に特に出荷数量が多い理由を考えさせる。

資料１　東京都の市場で取り引きされる沖縄県の小ぎくの月別数量



資料２　東京都の市場で取り引きされる小ぎく１本当たりの月別平均価格

月	1	2	3	4	5	6
平均価格(円)	24	25	31	23	28	38
月	7	8	9	10	11	12
平均価格(円)	28	37	28	28	41	41

(資料１、２は「東京中央卸売市場統計」から作成)

※新学習指導要領では第３学年の内容(2)(ｲ)において「販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。」と示されており、「売り上げを高める」ということが明記されている。

平成２９年度小学校学習状況調査　第６学年　社会　評価規準と評価の観点

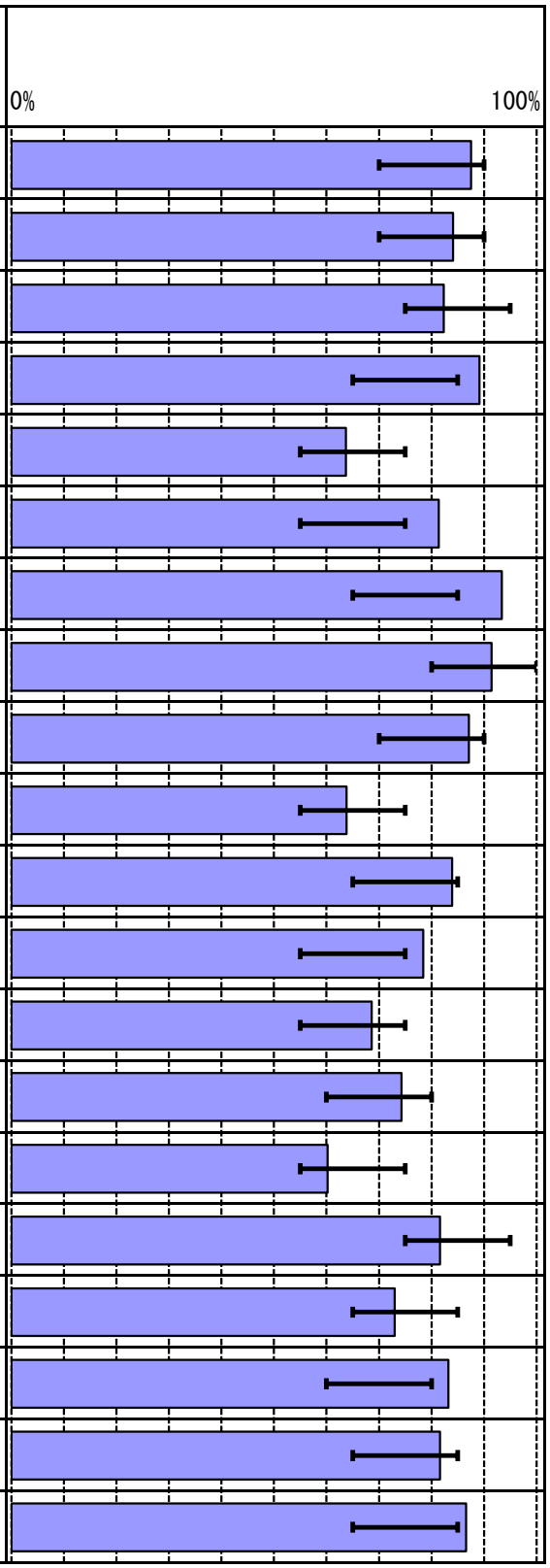
学年	内容	評価規準	通し番号	観点 思考判断表現	技能	知識理解
第５学年（第３・４学年の内容を含む）	(1)ア	・地図帳を活用して，県の位置について必要な情報を集め，読み取っている。	(1		○	
	(1)ア	・地図帳を活用して，半島の位置について必要な情報を集め，読み取っている。	(2		○	
	※(1)ア	・方位や地図記号に関する基礎的な知識を活用して，適切に地図を読み取っている。	(3		○	
	※(1)ア	・地図記号や地図上の道のりの求め方に関する知識・技能を活用して，適切に地図を読み取っている。	(4		○	
	(4)ア	・災害の防止や対処について，放送局が果たしている役割を理解している。	(5			○
	※(4)ア	・地域社会における災害の防止や対処について，自分たちの行動と関連付けて考え適切に表現している。	(6	○		
	(3)イ	・我が国の種類別工業生産額の割合の変化の特色を，資料から読み取っている。	(7		○	
	(4)イ	・情報化した社会の様子と国民生活のかかわりについて考察し，表現している。	(8	○		
	(1)ア	・世界の広がりの中で，我が国の位置を理解している。	(9			○
	(1)ア	・我が国の領土と主な国の名称と位置を理解している。	(10			○
第６学年	(1)ア	・縄文時代の狩猟・採集の生活について考え適切に表現している。	(11	○		
	(1)ア	・米づくりが始まったころの人々の生活ついて考え適切に表現している。	(12	○		
	※(6)ア	・都道府県の名称と位置を理解している。	(13			○
	(1)ウ	・歴史上の主な人物の主な業績が分かっている。	(14			○
	(1)ウ	・中世の政治が武士によって進められるようになったことを考え適切に表現している。	(15	○		
	(1)オ	・４人の人物の基礎的な知識を活用して戦国の世が一つにまとまっていく過程を捉え，適切に表現している。	(16	○		
	(1)オ	・織田信長の業績について分かっている。	(17			○
	(1)オ	・参勤交代についての基礎的な知識をもとに大名の力がおさえられた理由を考え適切に表現している。	(18	○		
	(1)カ	・複数の資料を関連付けて，学習課題を考え適切に表現している。	(19	○		
	(1)カ	・江戸時代に新しい学問が起こったことが分かっている。	(20			○

※は〔第３学年及び第４学年〕の範囲である。

小学校　６年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 79.8%

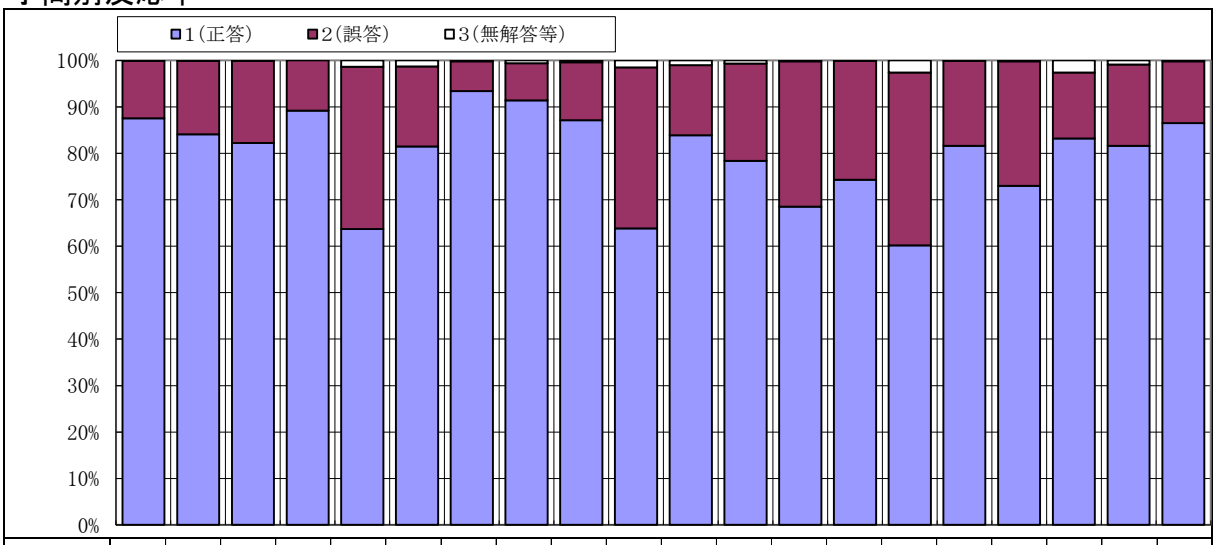
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	地図帳の読み取り	87.5	80.0
（2	地図帳の読み取り	84.1	80.0
（3	方位、地図記号の活用	82.3	85.0
（4	地図上の道のり	89.1	75.0
（5	災害時の放送局の役割	63.7	65.0
（6	災害防止のためにできること	81.4	65.0
（7	我が国の工業の特色	93.4	75.0
（8	インターネットと個人情報	91.4	90.0
（9	我が国の位置	87.1	80.0
（１０	我が国の領土	63.8	65.0
（１１	縄文時代の生活	83.9	75.0
（１２	弥生時代と米づくり	78.4	65.0
（１３	歴史上の出来事に関する都道府県の名称と位置	68.6	65.0
（１４	中世の出来事に関わった人物	74.3	70.0
（１５	鎌倉幕府の政治	60.2	65.0
（１６	戦国の世の統一と武士による政治の安定	81.6	85.0
（１７	天下統一と武将	73.0	75.0
（１８	参勤交代の影響	83.2	70.0
（１９	伊能忠敬の業績	81.6	75.0
（２０	江戸時代の文化の特徴	86.6	75.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	87.5	84.1	82.3	89.1	63.7	81.4	93.4	91.4	87.1	63.8	83.9	78.4	68.6	74.3	60.2	81.6	73.0	83.2	81.6	86.6
2 （誤答）	12.4	15.8	17.7	10.8	34.9	17.2	6.4	8.0	12.5	34.7	15.1	20.9	31.3	25.6	37.2	18.3	26.8	14.2	17.5	13.3
3 （無解答等）	0.1	0.1	0.1	0.0	1.4	1.3	0.2	0.6	0.4	1.5	1.0	0.7	0.2	0.1	2.6	0.1	0.2	2.6	0.9	0.2

小問別通過率度数分布表（202校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	38	23	29	39	1	35	57	61	53	5	36	25	9	16	4	24	8	41	36	28	
90%～100%	59	38	42	77	14	51	104	91	66	7	47	39	9	13	11	41	8	50	43	57	16
80%～90%	74	87	62	71	38	35	33	34	50	21	64	62	34	49	21	64	52	56	57	85	106
70%～80%	21	39	49	10	33	28	5	10	17	35	41	32	60	59	34	47	67	35	35	22	68
60%～70%	6	10	17	4	45	29	1	2	11	69	11	27	54	48	42	15	40	11	14	7	10
50%～60%	3	3	3	1	31	18	2	1	3	28	1	9	23	15	47	6	21	6	7	2	
40%～50%					12	3		1	1	21	1	4	10	1	24	3	6	1	5		1
30%～40%		1			18	1		1		4			3		11	1			1		1
20%～30%					4					9		2			6				1		
10%～20%					2	1				1								1	1		
0%～10%	1	1			4	1		1	1	2	1	2		1	2	1		1	2	1	

小学校６年　社会　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考･判断･表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	歴史的内容	
＋10％ より高い	3	2	1	0	3	3	6
±10％ の範囲内	5	3	6	4	3	7	１４
－10％ より低い	0	0	0	0	0	0	0
計	8	5	7	4	6	１０	２０

２　考察

(1) 全体について

全体の通過率は79.8であった。全ての問題が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」で、学習内容の定着状況は良好である。経年比較している設問の７問中５問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導がなされている。

(2) 成果

①習得した知識を活用し、複数の資料から読み取った情報を関連付けて考察することについては良好な状況である。

②資料から必要な情報を収集し、それらを活用して自分の解釈などを加えて表現することについて指導の成果が見られる。

(3) 課題

①我が国の領土と近隣諸国の名称と位置を理解することに課題が見られる。

②歴史上の主な人物の働きを通して世の中の動きを理解することに課題が見られる。

３　今後の指導

歴史上の主な人物の働きについて、地図や年表などの資料で調べ、国家・社会の発展に与えた影響と関連付けて考える学習活動の充実を図る。

○ポイント［通し番号（17 を例として］

織田信長が短期間に勢力を拡大した理由について、長篠の戦いや安土城下での自由な商業の様子を調べ、読み取ったことを関連付けて考えさせる。

○具体例

単元の学習問題　信長、秀吉、家康は、どのようにして戦国の世を統一していったのだろうか。

資料１　信長の勢力図

資料２　年表

年	主な出来事
1534	尾張国の大名の子に生まれる
1560	桶狭間の戦い
1562	徳川家康と連合する
1573	室町幕府をほろぼす
1575	長篠の戦い
1576	安土城を築く
1580	一向一揆に勝利する
1582	本能寺で明智光秀にうたれる

・２０年ほどの短い期間に勢力を拡大している。

予想

・鉄砲を持っていたからではないか。

学習問題　なぜ信長は短期間で勢力を拡大したのだろうか。

資料３　長篠合戦屏風絵

・大量の鉄砲を効果的に使っている

資料４　安土の城下町の様子

・自由な商業を認める
→豊富な資金

まとめ

信長は、豊富な資金をもとに大量の武器をそろえ、それらを効果的に使って有力な大名を倒したから。

①　導入で資料１、２を提示し、「勢力の広がり」と「期間」に着目して読み取らせる。
②　児童が読み取った内容を基に疑問や予想を引き出し、学習問題を設定する。
③　資料３、４から、信長が大量の鉄砲を効果的に活用したこと、城下町での自由な商業活動を認めたことを読み取らせ、それらの関連を考えさせる。
④　導入で提示した資料を再度活用するなどし、学習問題に対するまとめを各自で再構成させる。

平成２９年度中学校学習状況調査　第１学年　社会　評価規準と評価の観点

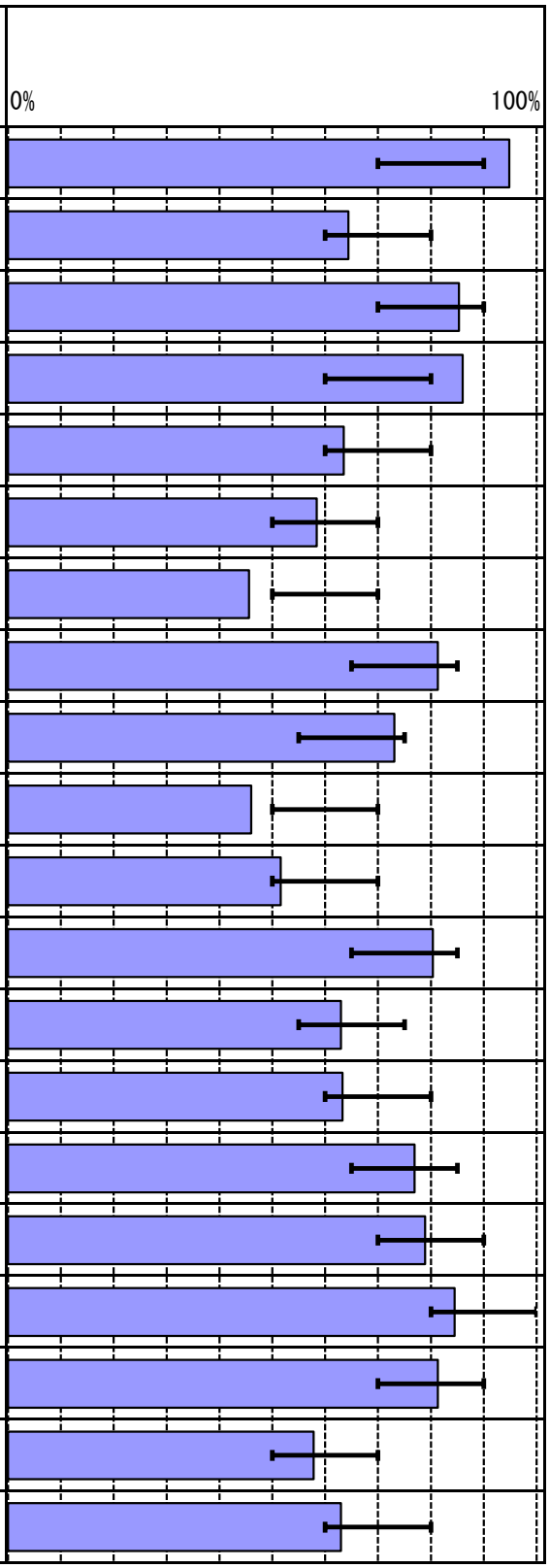
学年・分野	内容	評価規準	通し番号	観点		
				思考判断表現	技能	知識理解
小学校第６学年	(1)ク	・我が国の国力の充実や国際的地位の向上に貢献した先人の働きを理解し，その知識を身に付けている。	(1			○
	(1)ク	・条約改正に貢献した先人の働きを理解し，その知識を身に付けている。	(2			○
	(1)ケ	・オリンピックの開催を通して我が国が国際社会において重要な役割果たしてきたことを理解し，その知識を身に付けている。	(3			○
	(1)ケ※	・都道府県の名称と位置を理解している。	(4			○
	(2)ア	・国民生活には，地方公共団体や国の政治の働きが反映していることについて，資料から的確に読み取っている。	(5		○	
	(2)イ	・国民としての権利及び義務と日常生活との結び付きについて考察し，適切に表現している。	(6	○		
	(2)イ	・選挙の意味について考察し，適切に表現している。	(7	○		
	(3)イ	・我が国の国際協力の現状を知るために必要な資料を，適切に選択している。	(8		○	
中学校地理的分野	(1)ア	・大陸の名称と位置関係を理解し，その知識を身に付けている。	(9			○
	(1)イ	・熱帯に暮らす人々の生活の工夫について，自然条件と関連付けて考察し，適切に表現している。	(10	○		
	(1)ア	・地球儀から有用な情報を選択して，日本の位置を的確に読み取っている。	(11		○	
	(1)ウ	・アフリカ州の特色について，統計資料を的確に読み取り疑問や予想を簡潔にまとめている。	(12		○	
	(1)ウ	・アフリカ州の主な国の特色について，統計資料を的確に読み取り，必要な情報を収集している。	(13		○	
	(1)ウ	・アフリカの脆弱な経済基盤とその理由について，グラフを的確に読み取り，必要な情報を収集している。	(14		○	
中学校歴史的分野	(2)ア	・世界の古代文明のおこりについて理解し，その知識を身に付けている。	(15			○
	(2)ア	・世界の古代文明に共通する特色を，地図から的確に読み取っている。	(16		○	
	(1)ウ	・歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し，その知識を身に付けている。	(17			○
	(2)ア	・各時代の特色を比較することにより，歴史の大きな流れを考察し，適切に表現している。	(18	○		
	(2)ウ	・古代の文化の特色の移り変わりを考察し，適切に表現している。	(19	○		
	(2)イ※	・政治の中心地について理解し，その知識を身に付けている。	(20			○

※は〔３，４学年〕２内容（６）アの４７都道府県の名称と位置に関する内容も含まれる。

中学校　１年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 69.8%

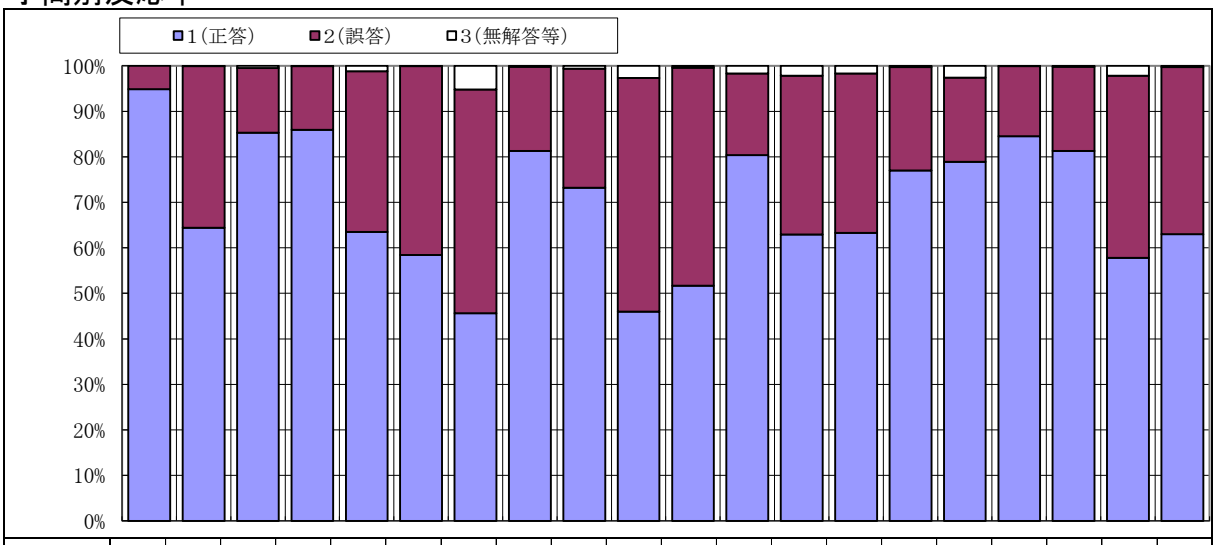
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	我が国の国際的地位の向上に貢献した人物	94.8	80.0
（2	条約改正に貢献した人物	64.4	70.0
（3	オリンピックの開催	85.3	80.0
（4	冬季オリンピックが開かれた県の位置	86.0	70.0
（5	地方公共団体の政治の働き	63.5	70.0
（6	国民の権利及び義務	58.4	60.0
（7	国民の権利（選挙権）	45.6	60.0
（8	我が国の国際協力に関する資料の活用	81.3	75.0
（9	大陸の分布と名称	73.1	65.0
（１０	熱帯に暮らす人々の生活の工夫	46.0	60.0
（１１	地球儀（模式図）の活用と日本の位置	51.6	60.0
（１２	世界の諸地域に関する資料の読み取り	80.4	75.0
（１３	世界の諸地域に関する資料の読み取り	63.0	65.0
（１４	世界の諸地域に関する資料の読み取り	63.3	70.0
（１５	古代文明のおこり	76.9	75.0
（１６	古代文明の特色	78.9	80.0
（１７	歴史の大まかな流れと各時代の遺物	84.5	90.0
（１８	歴史の大まかな流れと各時代の特色	81.3	80.0
（１９	古代の文化の移り変わり	57.8	60.0
（２０	政治の中心地	63.0	70.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	94.8	64.4	85.3	86.0	63.5	58.4	45.6	81.3	73.1	46.0	51.6	80.4	63.0	63.3	76.9	78.9	84.5	81.3	57.8	63.0
2 (誤答)	5.1	35.5	14.2	14.0	35.3	41.5	49.2	18.5	26.2	51.3	47.9	17.9	34.9	35.0	22.7	18.5	15.4	18.5	40.0	36.7
3 (無解答等)	0.0	0.1	0.5	0.1	1.2	0.1	5.2	0.2	0.6	2.7	0.4	1.7	2.2	1.7	0.3	2.6	0.1	0.2	2.2	0.3

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	32		13	10	3			6	4			8	1	1	4	4	9	2		3	
90%～100%	76	5	29	32	1			10	8	2		22	11	4	8	17	34	15	4	3	1
80%～90%	7	8	42	48	2	1	3	46	30	4	2	42	19	14	37	46	38	49	11	16	10
70%～80%	2	25	29	24	24	13	4	46	32	8	9	28	24	16	40	28	25	41	11	18	49
60%～70%		37	3	2	42	40	14	7	25	18	17	12	18	32	21	12	7	7	19	28	47
50%～60%	1	30	2	1	38	46	20	2	16	20	38	5	17	26	7	8	4	4	38	21	9
40%～50%		11			6	13	35		2	20	39		10	16	1	2			15	19	
30%～40%		2		1	1	3	28			16	10		5	6		1			14	6	2
20%～30%						1	7		1	13	3		3						3	2	
10%～20%							4			8			1						1		
0%～10%					1	1	3	1		9			8	2			1		2	2	

中学校１年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	0	0	2	2	0	0	2
±10％ の範囲内	3	7	6	5	5	6	１６
－10％ より低い	2	0	0	1	1	0	2
計	5	7	8	8	6	6	２０

2　考察

(1) 全体について

全体の通過率が69.8であり、昨年度を5.8ポイント上回った。経年比較している設問の10問中、昨年度の通過率を上回った設問が８問あった。思考・判断・表現では、通過率が設定通過率の「−10％より低い」設問が２問（新問）あった。

(2) 成果

①社会的事象の現状を把握するために必要な資料を適切に選択することや、地理的事象に関する統計資料を読み取り、疑問や予想を簡潔に表現することなどについて指導の成果が見られる。

②歴史的事象についての基礎的・基本的な知識や概念を習得し、各時代の特色を比較することにより、歴史の大きな流れを考察し表現することについて指導の改善が図られている。

(3) 課題

①生徒にとって生活経験と結び付けて捉えにくい選挙権を行使することの意味について考察し、表現する学習を工夫改善する必要がある。

②地図帳や地球儀、グラフや写真などの資料から必要な情報を読み取り、それらを整理して自分の解釈などを加えて再構成することに課題が見られる。

3　今後の指導

複数の資料から収集した情報を比較・関連付けたり、整理・分析したりしながら、自分の解釈等を加えて再構成する学習の充実を図る。

○ポイント［通し番号(10を例として］

複数の資料から読み取った情報を関連付けることで、どのような地理的な特色が見えてくるのかを推論する学習活動を積み重ね、地理的な見方・考え方を鍛える。

○具体例

気温と降水量を示したグラフや写真から読み取れる情報を関連付けて、ある地域の気候の特色を考察し、表現する。

①　生徒に見えていなかった社会的事象の側面を提示し、事実を確認しながら学習のねらいにつながる気付きや疑問、予想を引き出す。

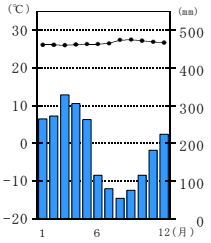
・図から、アマゾン川流域のある地点では、一年を通して気温が高く、雨季と乾季があることが分かる。
・写真から、高床式の住居が見られる。

熱帯の地域では、なぜ、高床式の住居が見られるのだろう。

②　追究の過程では、設定した時間内で必要な情報を読み取れる資料を提示し、社会的事象の意味や働きなどを解釈する時間を十分に確保する。

・高温多雨の熱帯の気候の特色から、暑さや湿気を避けるためである。
・雨季と乾季があることから、川の水位も変動する。水害から、住居や人々の暮らしを守るためである。

図　アマゾン川流域のある地点の気温と降水量



(「理科年表」平成28年から作成)

写真　アマゾン川流域に見られる住居

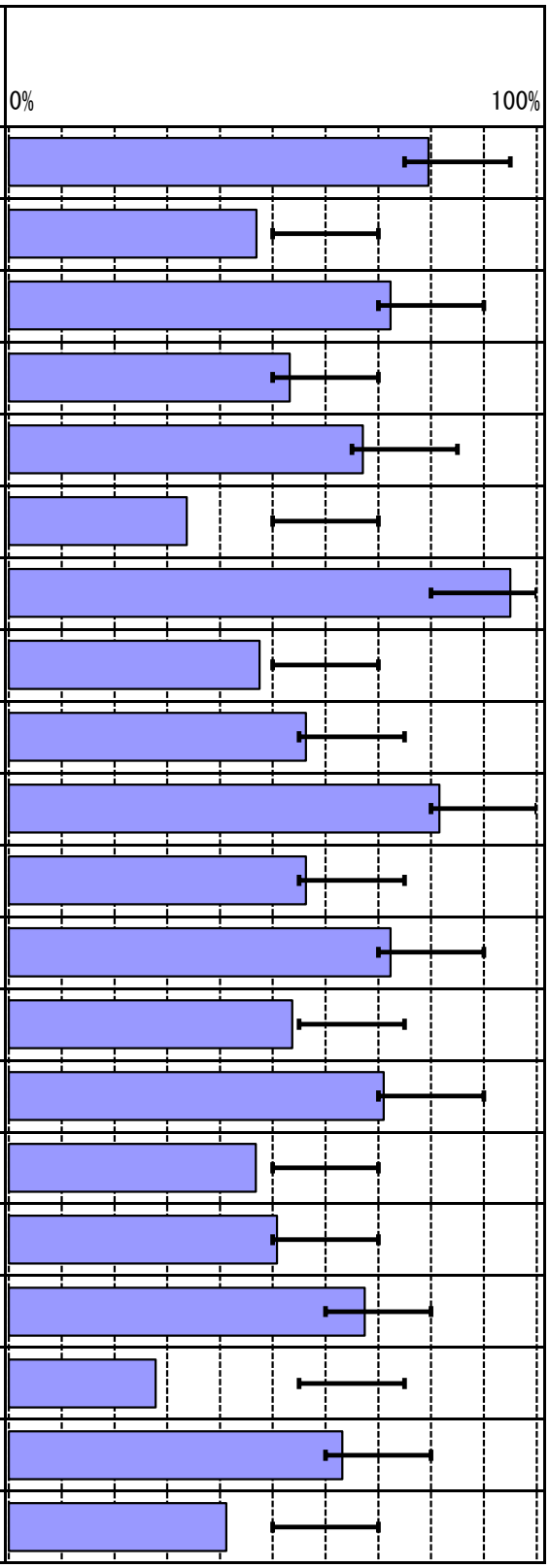
平成２９年度中学校学習状況調査　第２学年　社会　評価規準と評価の観点

分野	内容	評価規準	通し番号	観点		
				思考判断表現	技能	知識理解
地理的分野	(1)ア	・地球儀上での六大陸や三大洋の位置関係を理解し，その知識を身に付けている。	(1			○
	(1)イ	・資料から自然環境の特色と住居の特色を，的確に読み取っている。	(2		○	
	(1)イ	・世界の主な宗教の分布について理解し，その知識を身に付けている。	(3			○
	(1)ア	・地球儀から有用な情報を選択して，日本の位置を的確に読み取っている。	(4		○	
	(1)ウ	・世界の各州の面積や人口の特色を理解し，その知識を身に付けている。	(5			○
	(1)ウ	・世界の各州の地域的特色を，諸条件と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。	(6			○
	(1)エ	・アメリカ合衆国の農業の特色を，資料から的確に読み取っている。	(7		○	
	(1)エ	・アメリカ合衆国の農業の特色について，資料を基に考察し，適切に表現している。	(8	○		
	(2)ア	・七地方区分の各地方に位置する都道府県の名称と県庁所在地名を理解し，その知識を身に付けている。	(9			○
	(2)ア	・日本の領土の位置と範囲を理解し，その知識を身に付けている。	(10			○
	(2)イ	・日本の工業の特色を，複数の資料を関連付けて考察し，適切に表現している。	(11	○		
	(2)イ	・稲作に適する自然的条件を，資料から読み取れることを関連付けて考察し，適切に表現している。	(12	○		
歴史的分野	(1)ア	・歴史上の人物や，時代区分についての基本的な内容を理解し，その知識を身に付けている。	(13			○
	(2)ウ	・古代の文化の特色の移り変わりを考察し，適切に表現している。	(14	○		
	(1)ウ	・他の時代との相違点に着目し，古代の政治が展開する過程を大きく捉え，適切に表現している。	(15	○		
	(3)ア	・東アジア世界との関わりを，古代と中世を比較して理解し，その知識を身に付けている。	(16			○
	(3)イ	・中世の社会の変化について，農村と都市の様子を関連付けて考察し，適切に表現している。	(17	○		
	(4)イ	・キリスト教徒の増加と鎖国政策との関連について理解し，その知識を身に付けている。	(18			○
	(4)イ	・江戸幕府による大名や農民を統制する政策について理解し，その知識を身に付けている。	(19			○
	(4)ウ	・江戸時代の教育の普及と文化の広がりとの関連について，資料から的確に読み取っている。	(20		○	

中学校　２年　社会　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 59.1%

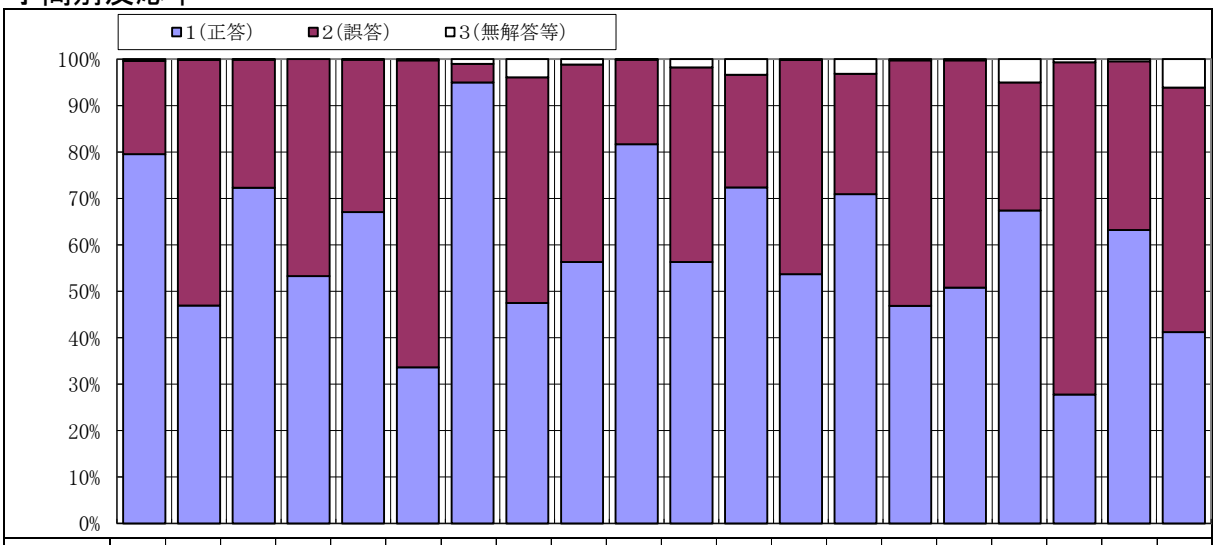
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	大陸の位置と名称	79.5	85.0
（2	世界の人々の生活と環境	46.9	60.0
（3	世界の主な宗教の分布	72.3	80.0
（4	地球儀（模式図）の活用と日本の位置	53.2	60.0
（5	各州の地域的特色	67.1	75.0
（6	各州の地域的特色	33.7	60.0
（7	世界の様々な地域の調査（資料活用）	95.0	90.0
（8	世界の様々な地域の調査（考察）	47.5	60.0
（9	日本の地方区分，県庁所在地	56.3	65.0
（１０	日本の領土の位置と範囲	81.6	90.0
（１１	日本の工業の特色	56.3	65.0
（１２	日本の農業の特色	72.3	80.0
（１３	歴史上の人物と時代区分	53.7	65.0
（１４	古代の文化の移り変わり	71.0	80.0
（１５	我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色	46.8	60.0
（１６	古代と中世の比較	50.8	60.0
（１７	中世の農村と都市の変化	67.4	70.0
（１８	鎖国政策	27.8	65.0
（１９	江戸幕府による大名や農民の統制	63.2	70.0
（２０	江戸時代の教育の普及と文化の広がり	41.2	60.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　社会

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	79.5	46.9	72.3	53.2	67.1	33.7	95.0	47.5	56.3	81.6	56.3	72.3	53.7	71.0	46.8	50.8	67.4	27.8	63.2	41.2
2 （誤答）	20.1	52.8	27.6	46.7	32.9	66.1	4.0	48.6	42.5	18.2	41.9	24.2	46.1	25.9	52.8	48.9	27.6	71.5	36.3	52.7
3 （無解答等）	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.3	1.0	3.9	1.2	0.1	1.8	3.4	0.2	3.2	0.3	0.3	5.0	0.7	0.5	6.1

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	11		3		1	1	37	1		11	1	6	1	6			4		3	1	
90%～100%	18		4		1		63	1		35	2	18	1	11	1		14		3	1	
80%～90%	35	4	30	5	12		15	4	9	33	8	36	5	26		3	28		4	5	1
70%～80%	38	5	37	9	25	1	1	3	16	17	10	22	15	30	5	7	20	1	18	7	11
60%～70%	13	11	32	17	56	1		18	26	13	25	16	22	25	15	19	20	1	44	6	51
50%～60%	3	26	8	38	20	8	2	30	30	7	34	8	33	11	33	36	15	2	26	11	42
40%～50%		43	3	30	2	15		29	16	2	23	5	22	3	34	30	8	10	14	24	11
30%～40%		25	1	15		40		20	13		9		12	4	19	17	4	20	4	32	1
20%～30%		2		3	1	35		8	5		2	4	7	1	11	5	2	55	1	20	1
10%～20%						13		2	1		1	1						25		8	
0%～10%		2		1		4		2	2		3	2		1		1	3	4	1	3	

中学校２年　社会　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			内容別		計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	4	2	7	9	4	１３
－10％ より低い	2	2	3	3	4	7
計	6	4	１０	１２	8	２０

2　考察

(1) 全体について

全体の平均通過率が59.1であり、昨年度を0.9ポイント上回った。類似問題12問中、昨年度の通過率を10ポイント以上上回った設問が７問あり、前年度の結果を踏まえた指導がなされている。一方、新問８問中４問が平均通過率が50以下だった。各設問で求められている力を分析した上で、それらを着実に育成できるよう、指導の改善を図る必要がある。

(2) 成果

①六大陸や三大洋の位置関係、日本の領土の位置と範囲などを、地球儀や地図を活用しながら捉え、理解することについては、おおむね良好な状況である。

②古代の文化の特色の移り変わりや中世の社会の変化などについて、資料を活用して多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現することに関して指導の成果が見られる。

(3) 課題

①州規模の地域的特色や、世界の人々の生活と環境について、資料から読み取った客観的事実を結び付けて考察させる必要がある。

②歴史上の人物や時代区分についての基本的な内容を、小学校での歴史学習の成果を活用させながら、その時代の全体像を捉えさせた上で理解させる必要がある。

3　今後の指導

州規模の地域的特色を捉えさせるために、その州において広範に見られる特色ある地理的事象を取り上げ、資料から読み取った客観的事実を関連付けて考察する学習の充実を図る。

○ポイント［通し番号(6を例として］

州規模の地域的特色を示す具体的数値に着目させて適切な学習課題を設定し、複数の資料から読み取った客観的事実を関連付けて考察させる。

○具体例

表　世界の六つの州のＧＤＰの世界合計に対する割合と森林面積の増減について

項目／州	ＧＤＰ（国内総生産）の割合（%）	州別森林面積の増減（千ha）(2000年～2010年の年平均)
アジア	３３．３	２２３５
アフリカ	３．１	－３４１４
ヨーロッパ	２８．６	６７６
北アメリカ	２７．０	－１０
南アメリカ	５．７	－３９９７
オセアニア	２．３	－７００

（「世界の統計2015」，環境省ホームページより作成）

①表から南アメリカの森林が減少していることに気付かせ、学習課題を設定する。

なぜ南アフリカでは森林面積が大幅に減少したのだろうか。

②森林面積が大幅に減少した要因を予想する。
・森林を農地にしてＧＤＰを上げようとしたのではないか。

③予想を基に、森林面積が大幅に減少した要因を調べる。
・耕地面積、農産物の生産量、ＧＤＰの変化を調べる。

④調べたことを関連付けて、学習課題に対するまとめを各自で再構成する。
・南アメリカの森林面積が大幅に減少したのは、森林を耕地化し、農産物の生産量を増やすことで経済を発展させてきたから。

⑤学習を振り返り、次時への見通しをもつ。
・森林の耕地化が進んだ結果、どのような問題が生まれているのだろうか。

4　結果と考察　(3) 算数、数学

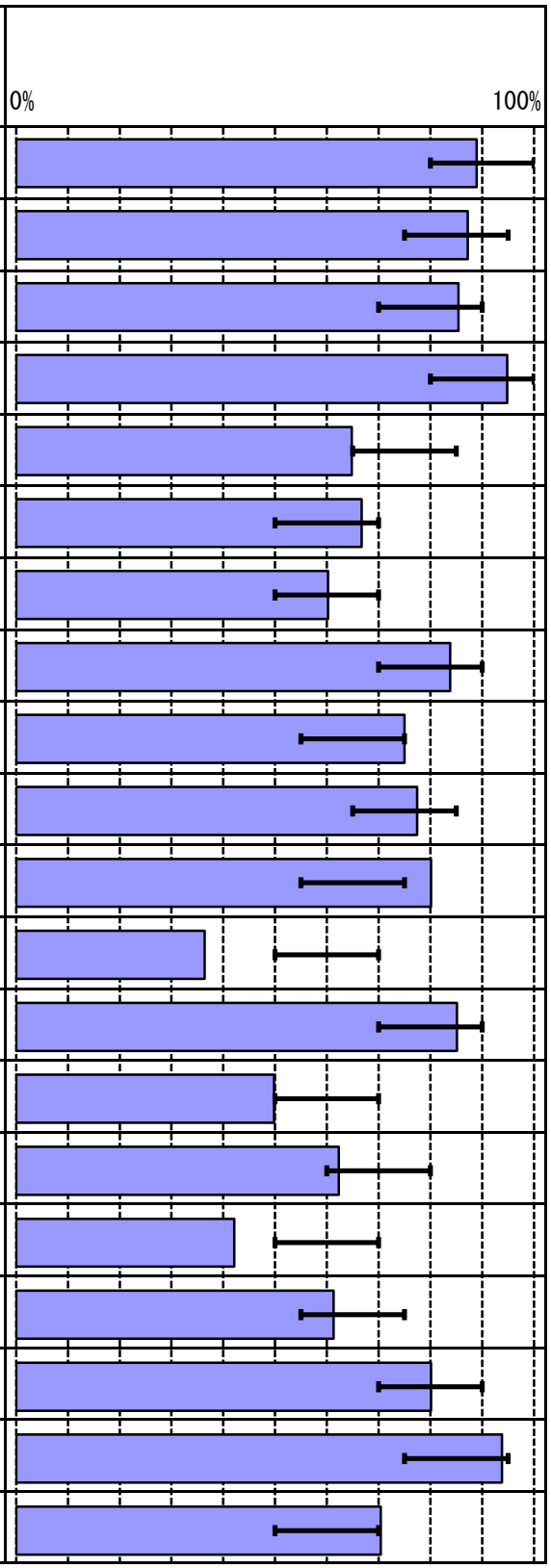
平成２９年度小学校学習状況調査　第４学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 考え方	観点 技能	観点 知識・理解
第３学年	A数と計算	(3)アイウ 乗法	・２位数×２位数の計算ができる。	(1		○	
			・乗法に関して成り立つ性質を基にして，計算の仕方を考えている。	(15	○		
		(5)アイ 小数の意味や表し方	・１／１０の位までの小数の減法で，(整数)－（小数）の場合の計算ができる。	(2		○	
		(6)アイ 分数の意味や表し方	・１より小さい大きさを単位分数の幾つ分かで捉え，分数を用いて表すことができる。	(13		○	
	B量と測定	(1)アイ 長さ，重さの単位と測定 (2)目的に応じての単位や計器の選択	・長さや重さ，かさの単位について理解している。	(7			○
			・重さの大きさについての豊かな感覚をもっている。	(5			○
			・重さの任意単位による比較について考えることができる。	(18	○		
	C図形	(1)アウ 二等辺三角形，正三角形などの図形	・二等辺三角形の作図の仕方を筋道立てて考え，説明することができる。	(16	○		
			・正三角形の意味や性質を基にして考え，説明することができる。	(12	○		
			・正方形の一辺の長さと，並べた円の関係から円の半径を求めることができる。	(9		○	
	D数量関係	(2)イ 数量の関係を表す式	・未知の数量を△を用いて表すことにより，数量の関係を式で表せることや，△にあてはまる数の求め方を理解している。	(17			○
第４学年	A数と計算	(1)ア 整数の表し方	・数直線上の大きな数を読み取ることができる。	(4		○	
			・０～７の数でつくる大きな数について，構成を基にして考えることができる。	(19	○		
		(2)アイウ 概数と四捨五入	・目的に応じて，それぞれの数を概数にして和を見積もる方法を理解している。	(11			○
			・「以上」「未満」を用いて表す数の範囲を理解している。	(14			○
		(3)アイウエ 整数の除法	・除法に関して成り立つ性質を理解している。	(10			○
			・除法における被除数，除数，商及び余りの関係を理解している。	(3			○
			・数量の関係を捉え，基準量を求めるために除法の式に表すことができる。	(8		○	
	D数量関係	(4)アイ 資料の分類整理	・式の中の数の意味を，二次元表と関連付けながら考え，説明することができる。	(6	○		
			・二つの折れ線グラフの目盛り等を読み取り，説明することができる。	(20	○		

小学校　４年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　72.2%

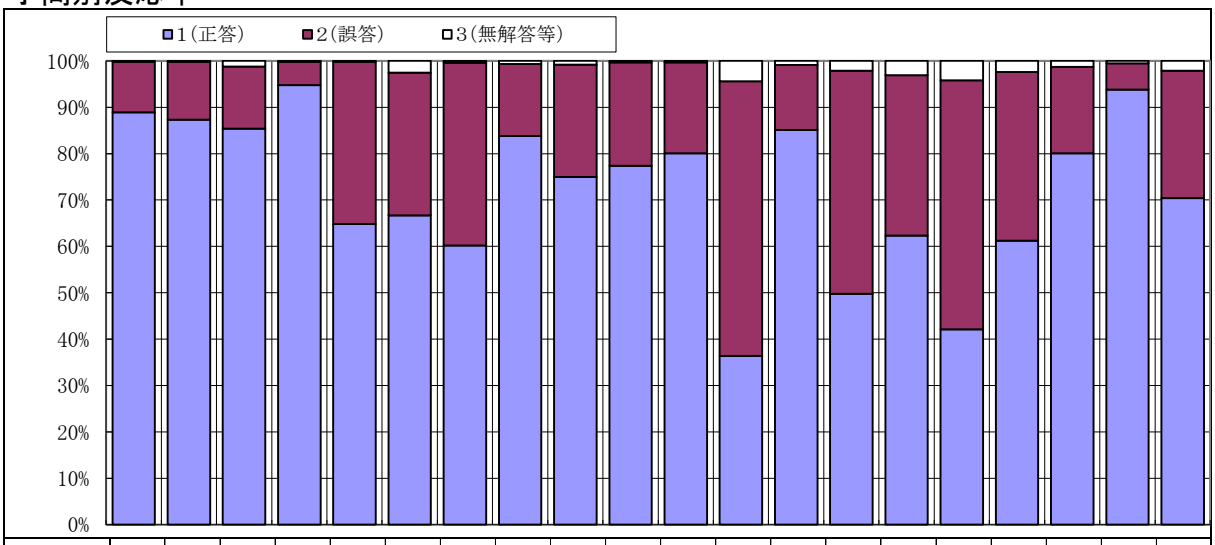
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（１	（２位数）×（２位数）の計算	88.9	90.0
（２	小数の減法	87.2	85.0
（３	除法における被除数，除数，商及び余りの関係	85.4	80.0
（４	大きな数の数直線上の読み取り	94.8	90.0
（５	重さについての量感覚	64.8	75.0
（６	資料の分類・整理	66.7	60.0
（７	量の単位換算	60.2	60.0
（８	基準量と比較量の関係	83.8	80.0
（９	円の性質	75.0	65.0
（１０	除法の性質	77.4	75.0
（１１	日常生活での和の見積り	80.1	65.0
（１２	正三角形の性質	36.4	60.0
（１３	分数の意味理解と表現	85.1	80.0
（１４	四捨五入する数の範囲	49.8	60.0
（１５	乗数の性質	62.3	70.0
（１６	円を活用した二等辺三角形の作図	42.1	60.0
（１７	△を用いた式	61.3	65.0
（１８	重さの任意単位による比較	80.1	80.0
（１９	大きな数の大小	93.8	85.0
（２０	目的に応じたグラフの読み取り	70.4	60.0



※├──┤は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	88.9	87.2	85.4	94.8	64.8	66.7	60.2	83.8	75.0	77.4	80.1	36.4	85.1	49.8	62.3	42.1	61.3	80.1	93.8	70.4
2 (誤答)	10.9	12.5	13.4	5.0	35.0	30.8	39.4	15.5	24.2	22.3	19.6	59.2	14.0	48.1	34.6	53.7	36.4	18.6	5.7	27.5
3 (無解答等)	0.2	0.2	1.2	0.2	0.2	2.5	0.4	0.7	0.8	0.3	0.3	4.4	0.9	2.1	3.1	4.2	2.4	1.3	0.5	2.1

小問別通過率度数分布表（202校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	44	45	43	72	14	6	6	39	14	16	19	2	48	4	9	1	6	19	77	14	
90%～100%	73	65	46	101	13	4	1	60	18	18	35	5	63	3	12	4	3	26	88	10	4
80%～90%	64	47	67	26	23	26	12	46	51	58	62	13	46	14	20	8	19	74	29	40	54
70%～80%	16	31	28	3	40	45	36	36	63	69	59	12	25	10	31	9	41	61	6	53	80
60%～70%	5	7	12		52	70	64	12	40	30	16	16	13	29	46	21	56	17	1	46	57
50%～60%		5	3		30	34	49	6	12	9	7	16	4	52	46	41	43	4		28	5
40%～50%		1	1		20	14	24	1	2	1	3	23	2	27	22	47	25	1		6	2
30%～40%		1			8		8	1	1		1	30	1	31	14	31	3			2	
20%～30%			1		1	2	1					21		23		23	4			1	
10%～20%					1							21		6		9					
0%～10%			1			1	1	1	1	1		43		3	2	8	2		1	2	

小学校４年　算数　調査結果の考察

１　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識･理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
＋１０％　より高い	1	0	1	1	0	0	1	2
±１０％　の範囲内	4	6	4	9	2	1	2	１４
－１０％　より低い	2	0	2	1	1	2	0	4
計	7	6	7	１１	3	3	3	２０

２　考察

(1) 全体について

①20問中16問が、設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点別に見ると「技能」は良好である。領域別に見ると「図形」に課題が見られる。

(2) 成果

①１より小さい大きさを単位分数の幾つ分かで捉え、分数を用いて表すことについて、昨年度と比べて通過率が大きく上昇し、改善が図られている。

②数の構成を基にして大きな数をつくることについて、一昨年度と比べて通過率が上昇し、改善が図られている。

(3) 課題

①日常生活に必要な基本的な量の大きさについての感覚を豊かにし、量感を培うことに課題が見られる。

②図形の構成要素に着目して、根拠を明らかにして説明することに課題が見られる。

３　今後の指導

日常生活で用いられる量を実際に測るなどして量感を培う活動の充実を図る。

［参考　通し番号(5 ］

次の**ア**～**ウ**の中で，重さが１kgにいちばん近いものをえらんで，その**記号**を ［　　］ の中に書きましょう。

ア　５だんのとびばこ　　**イ**　リコーダー　　**ウ**　空(から)のランドセル

・重さは、第１学年や第２学年で学習する長さやかさと違い、見かけの形や大きさでは捉えにくいため、材質の違う１kgの鉄やつみ木等を用いて、重さの予想が複数出される提示の仕方を工夫し、持ったり測定したりして実感的に捉えられるようにする場を設定する。

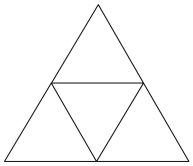
・砂糖の袋や水の入ったペットボトル等の身の回りにあるものを用いて、１kgの重さの感覚を身に付けたり、１kgの重さを基準に「重い」「軽い」を判断したり、測定して確かめたりして、量感を培う活動を取り入れる。

・１kgの重さの見当を付け、その分量の砂を袋に詰めるなどの活動を取り入れる。

図形の性質を用いて説明する活動の充実を図る。

［参考　通し番号(12 ］

同じ大きさの小さい正三角形の板４枚をすきまなくならべると，右のような大きい三角形ができました。できた形が，正三角形になる**わけ**を ［　　］ の中に書きましょう。



・図形の意味や性質を指導する際には、一つの図形だけではなく、他の図形と関連付けながら考える場を設定する。

・低学年における合同な図形を敷き詰める学習を想起させて、敷き詰めた図形の中に見いだした平行四辺形やひし形等について、その図形と判断した根拠を、図形を構成する要素に着目しながら説明し合う場を設定する。

・例えば、通し番号（12では、大きい三角形をつくるためには、図形の性質に基づいて小さい三角形をどのように敷き詰めたらよいのかを考える活動を取り入れることも大切である。

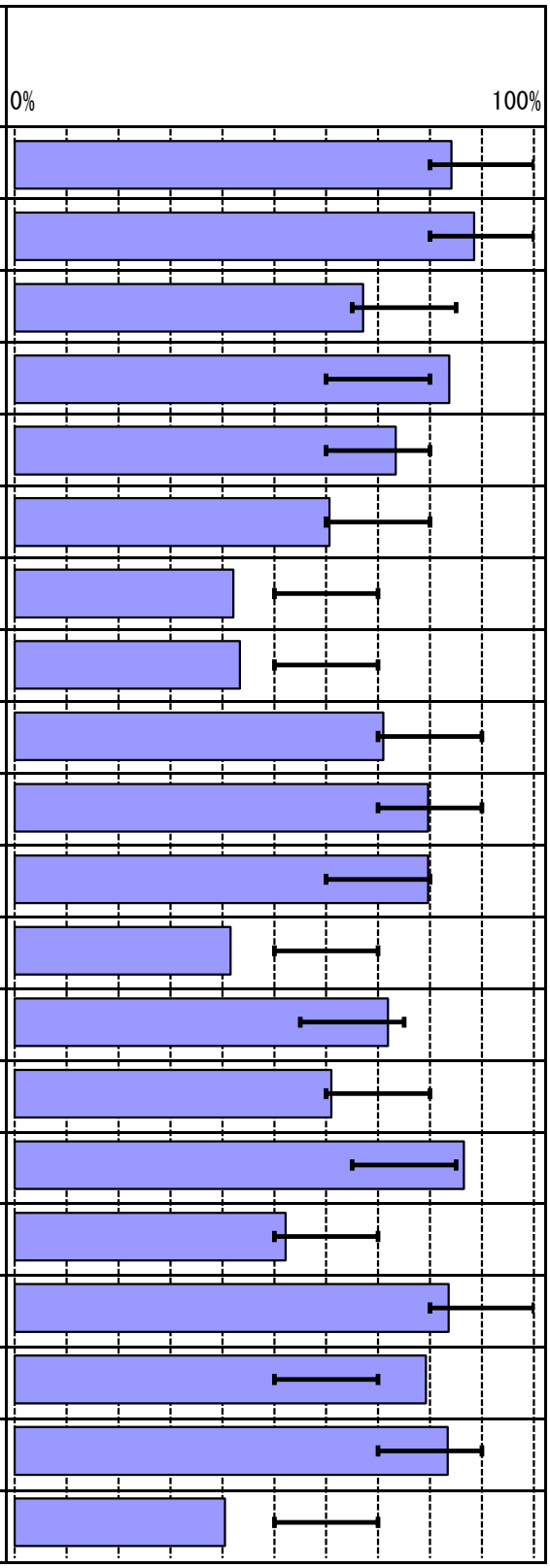
平成２９年度小学校学習状況調査　第５学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 考え方	観点 技能	観点 知識・理解
第3学年	A 数と計算	(6)アイウ 分数の意味や表し方	・分数の意味や分数の表し方を理解している。	(4			○
第４学年	A 数と計算	(6)イ 同分母分数の加法，減法	・（帯分数）－（帯分数）の計算ができる。	(1		○	
	B 量と測定	(1)ア 面積の単位と測定	・面積の単位について理解している。	(12			○
		(2)イ 角の大きさ	・直角を基準とした角の大きさを理解している。	(10			○
	C 図形	(1)アイ 平行四辺形，ひし形，台形	・ひし形の定義を基に，ひし形になることの理由を説明することができる。	(20	○		
		(2)アイ 立方体，直方体などの立体図形	・立方体の展開図から，平行な面を判断することができる。	(14	○		
			・直方体を見取図に表すことができる。	(15		○	
	D 数量関係	(1)ア 伴って変わる二つの数量	・具体的な事象について，表から伴って変わる二つの数量の変化を見いだし，数値を求めることができる。	(17		○	
		(2)ウ 数量の関係を表す式	・伴って変わる二つの数量の関係を表や図を基に考え，○や△を用いて表された正しい式を判断することができる。	(18	○		
		(3)ア 四則に関して成り立つ性質	・乗法で表された式を，（　）を用いた式にして，計算の工夫を考えることができる。	(9	○		
		(4)ア 資料の分類整理	・式の中の数の意味を，二次元表と関連付けながら考え，説明することができる。	(13	○		
第５学年	A 数と計算	(1)イ 整数の性質	・最大公約数を用いて，正方形の一辺の長さを求めることができる。	(8		○	
		(3)ア 整数の除法	・基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(6			○
		(3)アイ 小数の乗法，除法	・１／１００の位までの小数の乗法の計算ができる。	(2		○	
			・小数の除法について，商を一の位まで求め，あまりも求めることができる。	(3		○	
			・具体的な場面において小数の除法で求められる値の意味を理解している。	(7			○
		(4)エ 分数	・異分母の分数の大きさの比べ方を言葉や数を用いて説明することができる。	(5	○		
	B 量と測定	(2)イ 体積の単位と測定	・複合図形の体積の求め方を図と式を関連付けて考え，判断することができる。	(11	○		
	C 図形	(1)イ 平面図形の性質	・合同な三角形をかくために必要な条件を考えることができる。	(19	○		
	D 数量関係	(1)ア 伴って変わる二つの数量の関係	・簡単な場合について比例の関係を理解している。	(16			○

小学校　５年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　68.7%

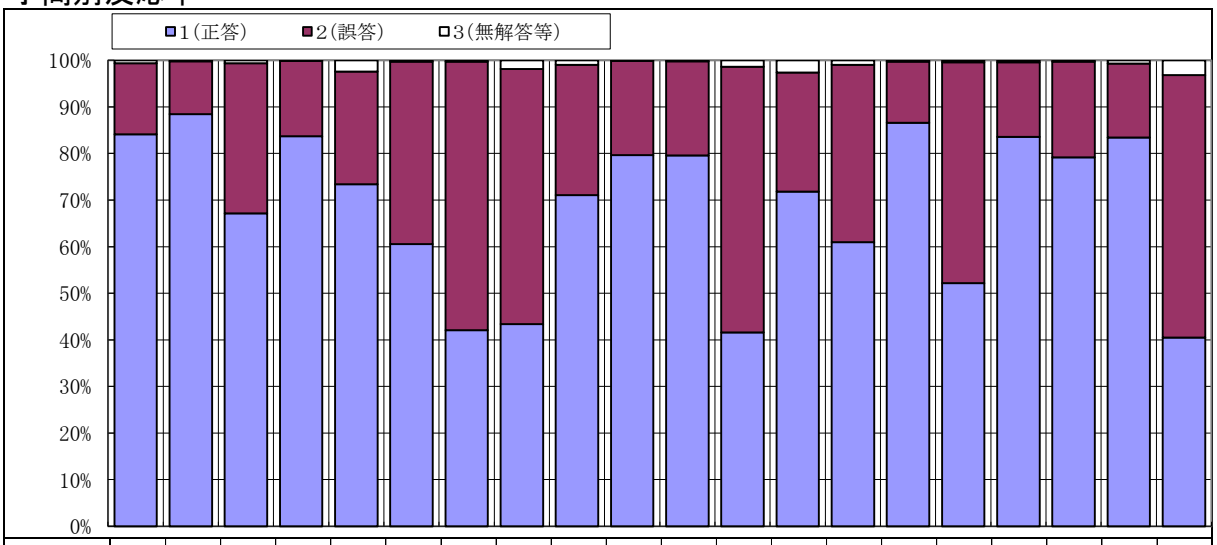
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	（帯分数）－（帯分数）の計算	84.1	90.0
（2	（小数）×（小数）の計算	88.5	90.0
（3	（小数）÷（小数）の計算	67.1	75.0
（4	分数の意味理解と表現	83.7	70.0
（5	異分母分数の大小	73.4	70.0
（6	基準量と比較量の関係	60.6	70.0
（7	小数の除法で求められる値の意味理解	42.1	60.0
（8	公約数の利用	43.4	60.0
（9	計算の工夫	71.0	80.0
（１０	角の大きさ	79.6	80.0
（１１	複合図形の体積	79.6	70.0
（１２	面積の単位	41.6	60.0
（１３	資料の分類・整理	71.9	65.0
（１４	立方体の展開図における平行な面	61.0	70.0
（１５	直方体の見取図	86.5	75.0
（１６	比例の関係	52.2	60.0
（１７	伴って変わる数量の捉え	83.6	90.0
（１８	伴って変わる数量の関係の読み取り	79.2	60.0
（１９	合同な三角形の作図の条件	83.4	80.0
（２０	図形の定義や性質を用いた説明	40.5	60.0



※├──┤は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	84.1	88.5	67.1	83.7	73.4	60.6	42.1	43.4	71.0	79.6	79.6	41.6	71.9	61.0	86.5	52.2	83.6	79.2	83.4	40.5
2 （誤答）	15.3	11.4	32.2	16.2	24.2	39.2	57.7	54.7	27.9	20.2	20.2	57.0	25.6	38.0	13.1	47.4	16.0	20.5	15.9	56.3
3 （無解答等）	0.6	0.2	0.6	0.1	2.4	0.3	0.3	1.9	1.0	0.1	0.2	1.4	2.6	1.0	0.3	0.4	0.4	0.3	0.7	3.2

小問別通過率度数分布表（200校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	28	28	12	34	16	8	5	5	12	20	20	10	11	8	42	6	23	13	29	4	
90%～100%	44	72	6	54	14	6	2	2	10	25	18	2	7	3	57		32	23	43	1	3
80%～90%	71	84	35	54	47	16	3	3	33	64	80	1	38	12	61	6	88	68	72	6	21
70%～80%	41	13	53	35	49	38	5	7	60	60	57	10	60	30	26	5	42	52	37	7	86
60%～70%	15	1	39	11	42	55	13	22	53	20	17	18	54	60	10	31	12	32	15	21	65
50%～60%	1	1	34	11	22	42	26	30	23	9	7	30	23	56	3	69	2	9	1	31	23
40%～50%			12		2	20	62	54	7	2	1	42	6	17	1	50	1	2	3	33	2
30%～40%		1	7	1	7	10	53	47	1			38	1	12		22		1		36	
20%～30%					1	4	25	23	1			38		2		8				31	
10%～20%			1				4	7				11				2				24	
0%～10%			1			1	2									1				6	

小学校５年　算数　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識･理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
＋１０％　より高い	1	1	1	1	0	1	1	3
±１０％　の範囲内	6	4	3	5	2	2	4	１３
－１０％　より低い	1	1	2	2	1	1	0	4
計	8	6	6	8	3	4	5	２０

2　考察

(1) 全体について

①20問中16問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点別に見ると「知識・理解」にやや課題が見られる。領域別に見ると「数量関係」は良好であるが、「数と計算」にやや課題が見られる。

(2) 成果

①分数の意味や表し方の理解について、昨年度と比べて改善が図られている。

②伴って変わる二つの数量の関係を表や図を基に考え、正しい式を判断することについて、昨年度と比べて改善が図られている。

(3) 課題

①具体的な場面に即して、最大公約数を活用することについて課題が見られる。

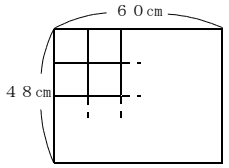
②図形の性質に着目して、根拠を明らかにして説明することに課題が見られる。

3　今後の指導

具体的な問題場面を設定して、用語の意味の理解を深めながら最大公約数を求める学習活動の充実を図る。

[参考　通し番号(8]

次の図のように，たてが４８cm，横が６０cmの長方形の紙を，あまりがでないようにできるだけ大きな正方形に切り分けます。正方形の１辺の長さは何cmになりますか。答えを □ の中に書きましょう。



・形式的に最大公約数の求め方を指導することに偏ることなく、具体的な問題場面を設定して最大公約数の意味の理解を深める。

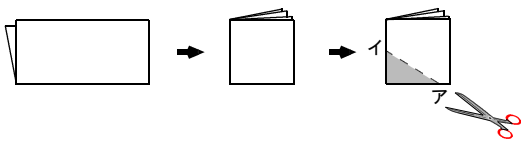
・二つの数の最大公約数を求める活動だけではなく、例えば、48と60の最大公約数を６と考えたり、最小公倍数を求めたりした誤答等を取り上げて、「約数、公約数、最大公約数、最小公倍数」等の用語を用いながら正誤について話し合う活動を大切にする。

・具体物を使って敷き詰めて確かめるなど、求めた答えが正しいかどうかを振り返る活動を取り入れる。

操作的な活動を取り入れながら、図形の性質を用いてよりよい説明をつくり上げるなどの算数的活動の充実を図る。

[参考　通し番号(20]

正方形を次の図のように４つに折り，折ったまま直線**アイ**にそって切りました。かげをつけた部分を開くと，ひし形になります。ひし形になる**わけ**を □ の中に書きましょう。



・紙を切り抜いてできる図形をイメージできない児童に対しては、切り抜いて作った図形を広げたり折ったりするなどの操作的な活動を通して、実際に確かめさせながら図形の性質の理解を深める。

・なぜその図形といえるかの判断の理由を、図形を構成する要素に着目させながら、「辺、長さ、等しい」等の用語を用いて説明する場を設定する。その際、誤答や不完全な説明を生かしながら、よりよい説明をつくり上げるなどの算数的活動を大切にする。

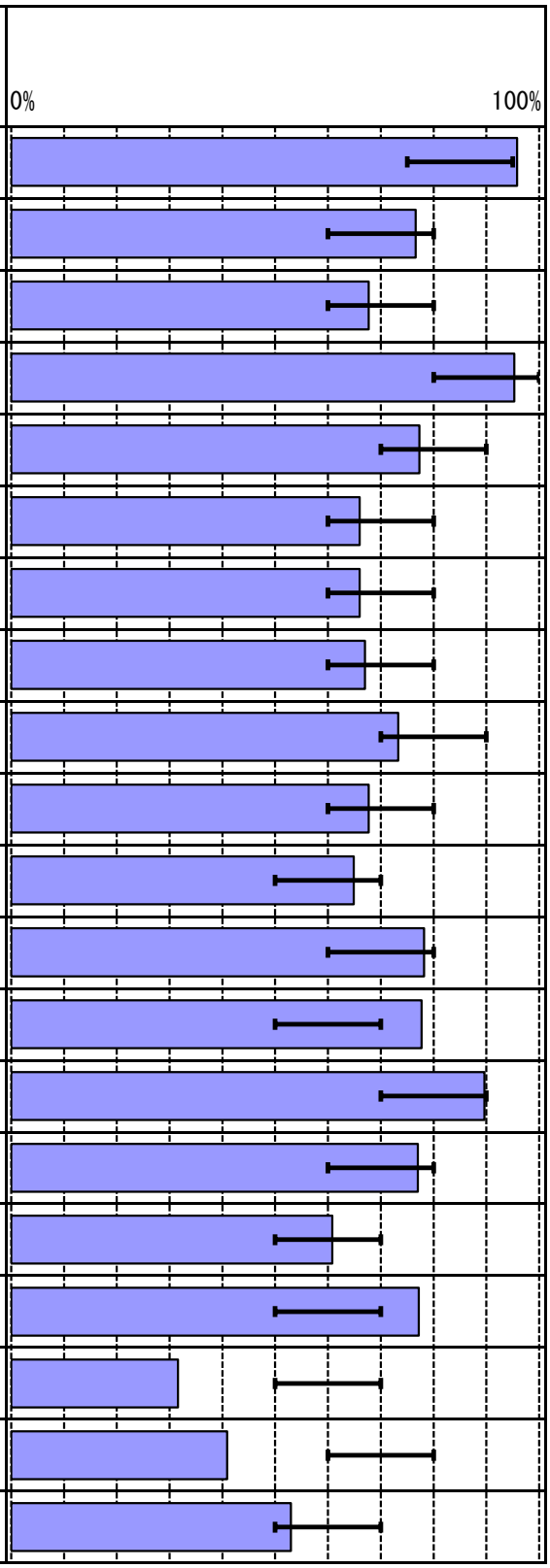
平成２９年度小学校学習状況調査　第６学年　算数　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 考え方	観点 技能	観点 知識・理解
第5学年	A 数と計算	(4)イ 分数	・整数の除法の結果が分数を用いると，常に一つの数として表されることを理解している。	(2			○
	B 量と測定	(1)ア 図形の面積	・ひし形の面積を求めることができる。	(6		○	
			・必要な部分の長さを判断して，三角形の面積を求めることができる。	(7		○	
		(3)ア 量の大きさの測定値	・仮の平均を用いた考えを解釈し，示された数値を基準とした場合の平均の求め方を，言葉や式を用いて説明することができる。	(17	○		
		(4)ア 異種の二つの量の割合	・異種の二つの量の割合として捉えられる数量について，その比べ方を説明することができる。	(13	○		
	C 図形	(1)アウエ 平面図形の性質	・直径と円周率を用いて，円周の長さを求める式を表すことができる。	(5		○	
			・多角形の角の大きさの和について，図と式を関連付けて考えている。	(14	○		
		(2)ア 立体図形の性質	・四角柱の展開図を基にして，辺や面のつながりや位置関係を理解している。	(15			○
	D 数量関係	(2) 数量の関係を表す式	・二つの数量の関係を図や式と関連付けて考え，判断することができる。	(19	○		
		(3) 百分率	・基準量と割合から比較量を求める式の表し方を理解している。	(10			○
		(4) 円グラフや帯グラフ	・帯グラフや円グラフが用いられる場面について理解している。	(9			○
			・複数の円グラフから必要な情報を読み取って，読み取ったことが正しいか，正しくないかの理由を説明することができる。	(20	○		
第6学年	A 数と計算	(1)アイウ 分数の乗法，除法	・小数÷分数の計算ができる。	(1		○	
			・分数の除法で，除数と商の大きさの関係について理解している。	(3			○
			・具体的な場面で，数直線を用いて分数の乗法の式に表す方法を理解している。	(11			○
	B 量と測定	(2)ア 円の面積	・円を含む複合図形の面積を，既習の形に分割して求めることができる。	(8		○	
		(4) 速さ	・具体的な場面で，速さと時間の関係から進んだ道のりを求めることができる。	(16		○	
	C 図形	(1)イ 対称な図形	・対称な図形において，対称の中心を利用して対応する点をかくことができる。	(12		○	
	D 数量関係	(3)ア 文字を用いた式	・x に数をあてはめて，式の値を求めることができる。	(4		○	
			・具体的な場面で，数量の関係に着目して文字を使って式に表現することができる。	(18	○		

小学校　６年　算数　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率　70.2%

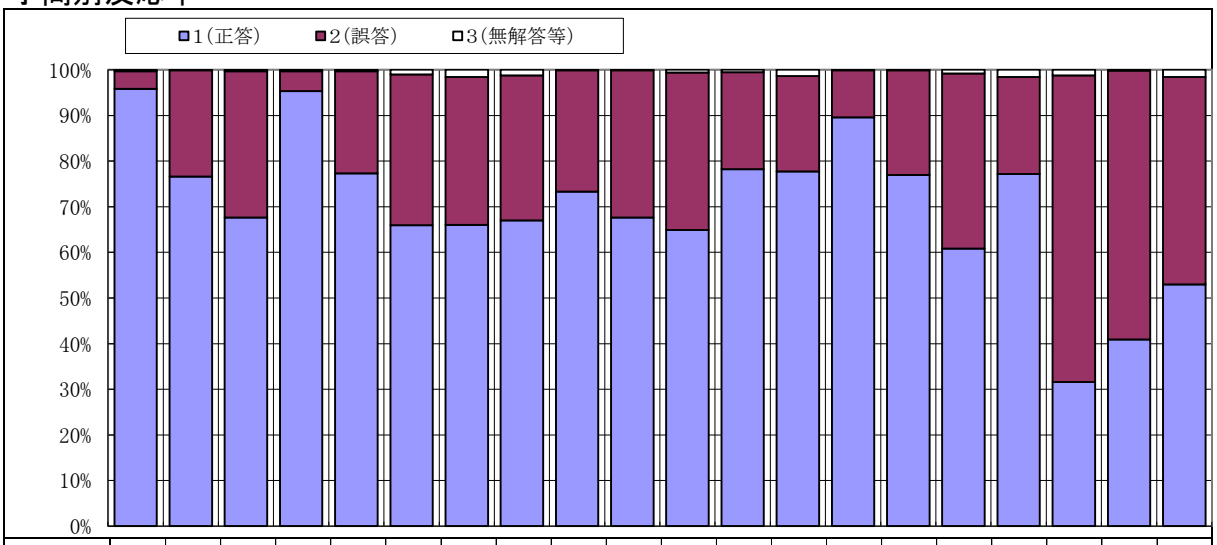
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	小数÷分数の計算	95.8	85.0
（2	分数の意味	76.6	70.0
（3	除数と商の関係	67.7	70.0
（4	代入した式の値	95.3	90.0
（5	円周の長さ	77.3	80.0
（6	ひし形の面積	66.0	70.0
（7	三角形の面積	66.0	70.0
（8	円を含む複合図形の面積	67.0	70.0
（9	帯グラフや円グラフが用いられる場面	73.3	80.0
（１０	割合を含んだ数量の関係	67.7	70.0
（１１	分数の乗法の意味	64.9	60.0
（１２	点対称な図形の対応する点	78.2	70.0
（１３	単位量当たりの大きさ	77.7	60.0
（１４	多角形の内角の和	89.6	80.0
（１５	展開図を組み立てたときの頂点	77.0	70.0
（１６	速さ，時間，道のりの関係	60.8	60.0
（１７	仮の平均	77.2	60.0
（１８	文字を用いた式	31.6	60.0
（１９	□や○を用いた式	40.9	70.0
（２０	必要な情報の読み取りと，数学的な説明	53.0	60.0



※ ├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　算数

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	95.8	76.6	67.7	95.3	77.3	66.0	66.0	67.0	73.3	67.7	64.9	78.2	77.7	89.6	77.0	60.8	77.2	31.6	40.9	53.0
2 (誤答)	3.9	23.3	32.1	4.4	22.4	33.1	32.4	31.8	26.6	32.3	34.5	21.3	20.9	10.3	23.0	38.4	21.2	67.3	58.9	45.5
3 (無解答等)	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	1.0	1.6	1.2	0.1	0.1	0.6	0.5	1.4	0.1	0.1	0.8	1.6	1.2	0.2	1.6

小問別通過率度数分布表（202校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	96	21	4	83	17	8	7	8	11	12	10	33	20	47	13	7	17	2	2	6	1
90%～100%	92	34	6	103	30	7	5	5	16	21	16	32	26	81	11	6	18				
80%～90%	12	66	33	16	62	27	34	22	47	41	24	58	66	44	67	17	62	3	1	15	34
70%～80%	1	29	56		44	55	47	61	55	37	35	32	46	22	75	29	62	6	5	23	91
60%～70%		25	52		33	48	45	61	46	31	42	29	33	3	29	56	31	7	11	50	57
50%～60%		16	39		13	34	39	29	21	29	36	12	6	4	6	48	8	20	33	41	18
40%～50%		7	8		3	15	17	8	5	15	21	4	3		1	28	2	20	52	28	
30%～40%		1				6	7	5		10	12		1			9		34	62	23	
20%～30%		1	2			1		1		4	5						1	68	29	11	
10%～20%			1							1						1		31	5	2	1
0%～10%	1	2	1			1	1	2	1	1	1	2	1	1		1	1	11	2	3	

小学校６年　算数　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			領域別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
＋10％ より高い	2	1	0	1	2	0	0	3
±10％ の範囲内	2	7	6	3	4	4	4	１５
－10％ より低い	2	0	0	0	0	0	2	2
計	6	8	6	4	6	4	6	２０

2　考察

(1) 全体について

①設定通過率「＋10％より高い」と「±10％の範囲内」の設問数を合わせると20問中18問であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点別に見ると「考え方」に、領域別に見ると「数量関係」にやや課題が見られる。

(2) 成果

①全国学力・学習状況調査において課題であった仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を言葉や式を用いて説明することについては、改善が図られている。

②異種の二つの量の割合として捉えられる数量を比べ、説明することについては、改善が図られている。

(3) 課題

①問題場面の数量の関係に着目し、文字を使って式に表現することについて課題が見られる。

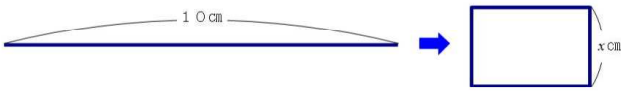
②問題場面の平面図形とその求め方を示した式の関係を筋道立てて考察することについて課題が見られる。

3　今後の指導

問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を文字を用いて簡潔かつ一般的に表現する学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(18 ］

次の図のように，１０㎝の針金を使って，周りの長さが１０㎝の長方形を作ります。縦の長さをx ㎝とするとき，横の長さを表す式を x を使って，□ の中に書きましょう。



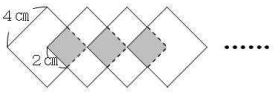
・周りの長さが１０㎝の長方形において、伴って変わる縦と横の長さを表を用いて調べ、二つの数量の関係を可視化し、規則性を捉えさせる。

・文字を用いて表現し一般化するよさを実感できる算数的活動を積み重ねるなどして、中学校における文字式の学習の素地を養うことが大切である。

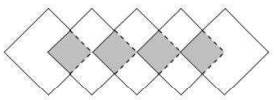
図形を観察したり構成したりするなどの活動を通して、数量の関係を捉え、式に表す学習活動の充実を図る。

［参考　通し番号(19 ］

次の図のように，一辺が４㎝の正方形の折り紙を，重なり合う部分が一辺２㎝の正方形になるようにして横に並べていきます。



ひろしさんは，５枚の折り紙を重ねたときの全体の面積を求める式を次のように考えました。　　［ひろしさんの考え］



４×４×５－２×２×４＝８０－１６

＝６４

折り紙の枚数を□個，全体の面積を○㎝としたとき，［ひろしさんの考え］を正しく表している式を，次の**ア**～**エ**の中から１つ選んで，その**記号**を □ の中に書きましょう。

ア　（４×４－２×２）×□＋２×２＝○

イ　４×４×□＝○

ウ　４×４×□－２×２×□＝○

エ　４×４×□－２×２×(□－１)＝○

・例えば、一辺が４㎝の正方形が３枚あり重なり合う部分の正方形が二つある平面図形など、本問題場面とは異なる場面の式を与え、二つの問題場面の式を比べる活動を通して、変量に着目して考察し、妥当な式を判断させる必要がある。

・変量を□、△などの記号を用いて式に表すことにより問題場面を簡潔に表現できるなど、数学のよさを実感させることが大切である。

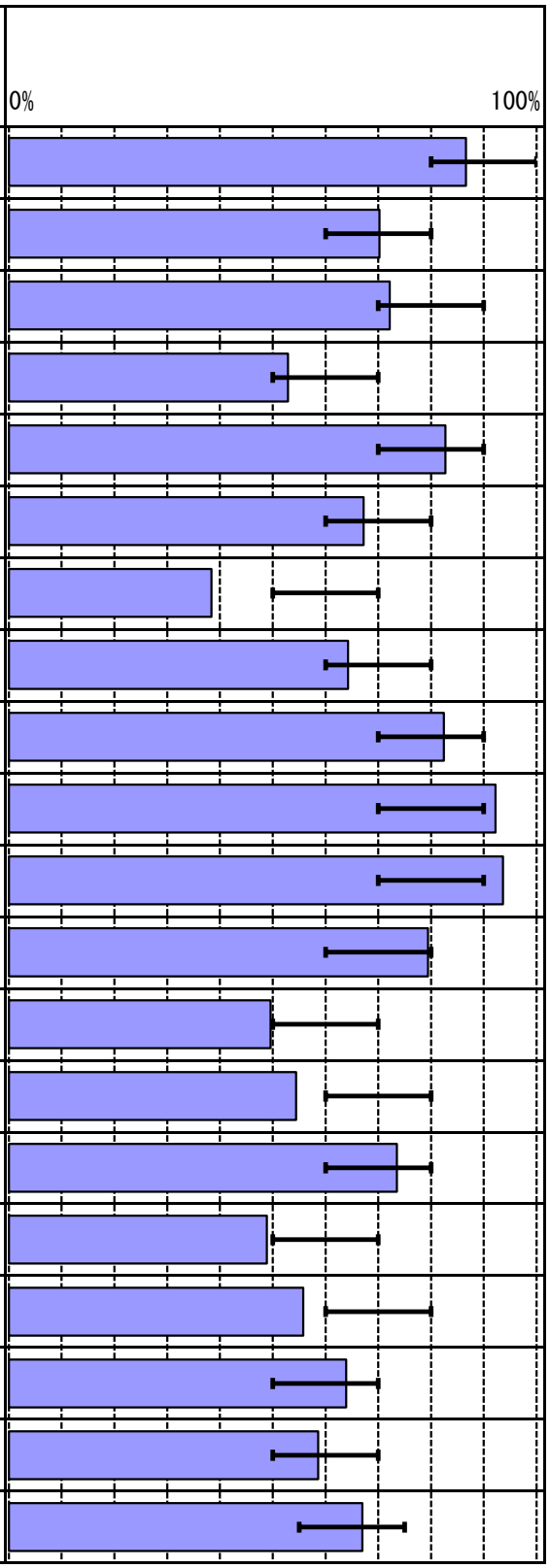
平成２９年度中学校学習状況調査　第１学年　数学　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 考え方	観点 技能	観点 知識・理解
小学校第6学年	A 数と計算	(1)イ 分数の乗法，除法	・小数÷分数の計算ができる。	(1		○	
	B 量と測定	(3)ア 角柱及び円柱の体積	・三角柱の体積を求めるために必要な数量を選び，体積を求めることができる。	(14		○	
		(5) メートル法の単位の仕組み	・体積の単位の関係を理解している。	(7			○
	C 図形	(1)ア 縮図や拡大図	・拡大図の意味を理解している。	(13			○
			・一つの頂点に集まる辺や対角線の長さの比を一定にして拡大図をかくことができる。	(11		○	
	D 数量関係	(2)アイウ 比例	・比例や反比例の意味及び性質を理解している。	(9			○
			・比例の関係を用いて求めた式の数値が何を表しているのかを考えている。	(12	○		
		(4)イ 資料の考察	・柱状グラフから読み取ったことを根拠にして判断した理由を説明することができる。	(15	○		
		(5) 起こり得る場合	・起こり得る場合を，重なりがないように調べる方法を説明することができる。	(10	○		
中学校第1学年	A 数と式	(1)アイウエ 正の数・負の数	・実際の値と基準との差を表した正負の数から，実際の値の平均を求めることができる。	(8		○	
			・正の数と負の数の範囲で，減数と差の大きさの関係について判断したことを説明することができる。	(17	○		
		(2)アイウエ 文字を用いた式	・文字を用いた式に負の数を代入して，式の値を求めることができる。	(2		○	
			・数量の大小関係を不等式に表すことを理解している。	(3			○
			・数量の関係を文字式で表すことができる。	(16		○	
			・文字式が表す碁石の個数の求め方を，式と図を関連付けて考えている。	(20	○		
		(3)アイウ 一元一次方程式	・一次方程式の解の意味を理解している。	(6			○
			・一次方程式を解く過程で根拠となる等式の性質を理解している。	(5			○
			・係数が分数の一次方程式を解くことができる。	(4		○	
			・具体的な場面で，一次方程式をつくることができる。	(18		○	
			・具体的な場面で，比の相等関係を捉えて，比例式を成り立たせる数値を考えている。	(19	○		

中学校　１年　数学　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 67.7%

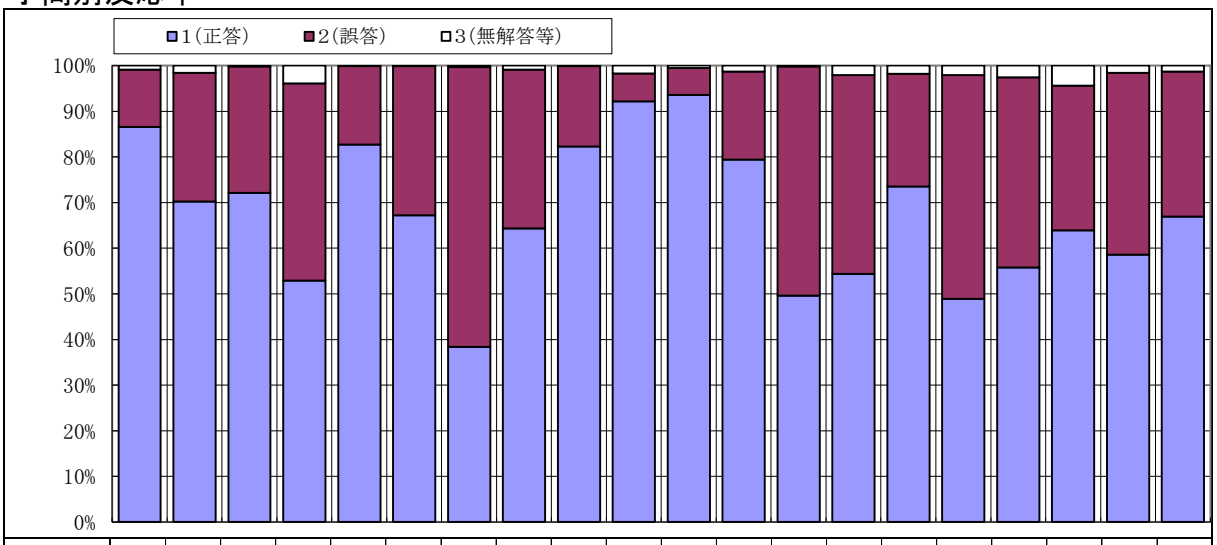
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	小数÷分数の計算	86.6	90.0
（2	式の値	70.2	70.0
（3	不等式を用いた数量関係の表現への理解	72.2	80.0
（4	分数係数の一次方程式	52.9	60.0
（5	等式の性質の利用	82.7	80.0
（6	一次方程式の解の意味	67.2	70.0
（7	体積を表す単位の関係	38.4	60.0
（8	仮平均を用いた平均の求め方	64.3	70.0
（9	比例や反比例の意味や性質	82.4	80.0
（１０	起こりうる場合の数	92.2	80.0
（１１	拡大図の作図	93.6	80.0
（１２	比例の利用	79.4	70.0
（１３	拡大図の意味	49.6	60.0
（１４	三角柱の体積	54.4	70.0
（１５	柱状グラフの読み取り	73.5	70.0
（１６	数量の関係と文字式	48.9	60.0
（１７	正負の数の範囲における、減数と差の大きさの関係	55.8	70.0
（１８	一次方程式の利用	63.9	60.0
（１９	比例式の立式	58.6	60.0
（２０	文字式と図の関係	67.0	65.0



※├──┤は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　数学

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	86.6	70.2	72.2	52.9	82.7	67.2	38.4	64.3	82.4	92.2	93.6	79.4	49.6	54.4	73.5	48.9	55.8	63.9	58.6	67.0
2 （誤答）	12.5	28.2	27.7	43.2	17.2	32.7	61.3	34.8	17.6	6.1	5.9	19.3	50.2	43.5	24.7	49.0	41.6	31.7	39.8	31.8
3 （無解答等）	0.9	1.6	0.2	3.9	0.1	0.1	0.3	0.9	0.1	1.7	0.5	1.3	0.2	2.1	1.8	2.1	2.6	4.4	1.6	1.3

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	7	2	2	2	6	6			6	18	29	5	1		3		2	3	1	5	
90%～100%	36	3	4		18	5		1	23	68	64	4	1	1	7	1	2	1		6	
80%～90%	57	22	20	6	53	15	2	4	53	25	20	48		3	25	3	8	8	16	23	4
70%～80%	16	37	41	10	28	30	2	31	19	3	3	44	5	8	34	1	17	20	17	19	40
60%～70%		26	38	16	7	31	1	37	12	2		12	20	22	34	11	23	41	26	24	62
50%～60%	2	23	7	37	5	18	6	35	3	1	1	5	36	44	11	43	27	27	26	21	10
40%～50%		3	3	21		10	31	5					36	24	2	27	23	13	17	10	1
30%～40%		1	1	19		2	52	2					14	11	1	25	13	2	7	6	
20%～30%			1	5	1	1	19		1	1			3	3		3	3	2	6	1	1
10%～20%				1			2						1			3				1	
0%～10%		1	1	1			3	3	1		1		1	2	1	1		1	2	2	

中学校１年　数学　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別				計
	見方･考え方	技能	知識･理解	数と計算 数と式	量と測定	図形	数量関係	
＋１０％　より高い	1	1	0	0	0	1	1	2
±１０％　の範囲内	4	5	4	１０	0	0	3	１３
－１０％　より低い	1	2	2	2	2	1	0	5
計	6	8	6	１２	2	2	4	２０

2　考察

(1) 全体について

①小学校の内容に関する問題における通過率は、９問中６問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であるが、「量と測定」領域の問題では改善が進んでいないものもある。

②中学校の内容に関する問題における通過率は、11問中９問が設定通過率の「＋10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。

(2) 成果

①一元一次方程式に関する問題（「分数係数の一次方程式を解くこと」「等式の性質の理解」「解の意味の理解」「具体的な場面で一元一次方程式をつくること」「比例式の立式」）について、５問全ての通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①数量の関係を文字式に表すことに課題が見られる。

②正の数と負の数の範囲で、減数と差の大きさの関係について判断したことを説明することに課題が見られる。

3　今後の指導

数量の関係を具体的な数で考えたり図に表したりする活動の充実を図る。

［参考　通し番号(16 ］

赤いテープと白いテープの長さについて，次のことがわかっています。

赤いテープの長さは a cmです。
赤いテープの長さは白いテープの長さの３倍です。

白いテープの長さは何cmですか。a を用いた式で表しなさい。

・数量の関係を具体的に確認した上で文字式で表すことができるよう「a cm」を具体的な数に置き換えて考える活動を取り入れる。
・立式場面での演算決定につながるよう数量の関係をテープ図や数直線を用いて表現する活動を取り入れる。

事柄が成り立たない理由を根拠を明らかにして説明する活動の充実を図る。

［参考　通し番号(17 ］

次のことがらは正しいですか。「正しい」か「正しくない」か，どちらかを ◯ で囲み，その理由も書きなさい。

a がどんな数であっても，$6-a$ はいつでも６より小さくなる。

・減法において、差は常に被減数より小さくなると判断する生徒もいるため、意図的に誤答を取り上げたり、数を代入して反例を示したりする活動を設定する。
・他の学習内容においても、反例を用いるなどして説明する場を設定し、事柄が常に成り立つとは限らないことを説明するには反例を１つ示し、それを根拠とすればよいことへの理解を図る。

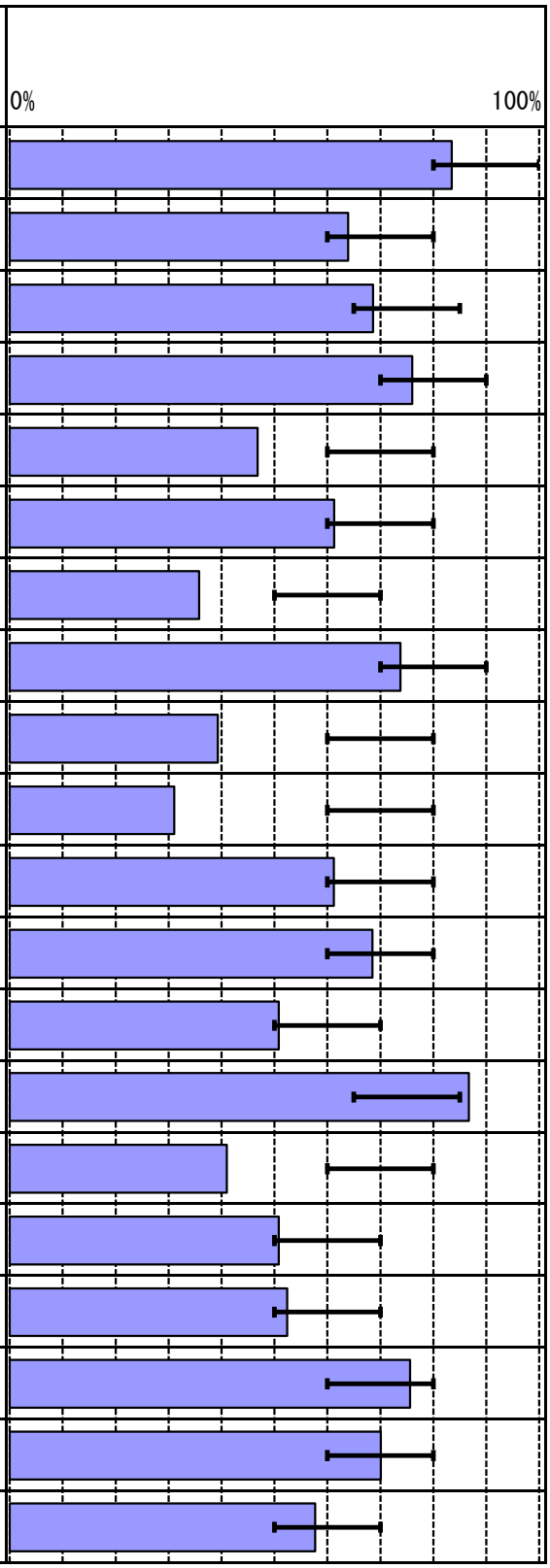
平成２９年度中学校学習状況調査　第２学年　数学　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 考え方	観点 技能	観点 知識・理解
小学校第６学年	A数と計算	(1)イ 分数の乗法，除法	・小数÷分数の計算ができる。	(1		○	
中学校第１学年	A数と式	(2)エ 文字を用いた式	・文字を用いて数量の関係を式に表すことができることを理解している。	(3			○
		(3)ア 一元一次方程式	・一次方程式の解の意味を理解している。	(2			○
	B図形	(1)アイ 平面図形	・回転移動した図形をかくことができる。	(9		○	
			・垂線の作図について理解している。	(8			○
		(2)イウ 空間図形	・円錐の体積を求めることができる。	(10		○	
	C関数	(1)アイオ 比例・反比例	・関数関係の意味を理解している。	(13			○
			・比例を用いて具体的な事象について考えることができる。	(14	○		
			・反比例の比例定数について理解している。	(15			○
	D資料の活用	(1)ア 資料の散らばりと代表値	・総度数が異なる事象について，相対度数を用いて考えることができる。	(18	○		
			・近似値を（整数部分が１桁の数）×（１０の累乗）の形に表すことを理解している。	(12			○
中学校第２学年	A数と式	(1)アイウ 式の計算	・与えられた考え方で式の値を求めることができる。	(5		○	
			・等式を目的に応じて変形することができる。	(11		○	
			・与えられた式を用いて，問題を解決する方法を考えることができる。	(20	○		
		(2)アイウ 連立方程式	・連立方程式を解くことができる。	(4		○	
			・具体的な事象において，割合に着目して式を考えることができる。	(7	○		
	C関数	(1)イウエ 一次関数	・一次関数の変化の割合の意味を理解している。	(6			○
			・与えられた座標が，一次関数のグラフ上にあるか判断し，説明することができる。	(16	○		
			・具体的な事象について，一次関数のグラフを用いて考えることができる。	(17	○		
			・具体的な事象について，二つの数量が一次関数とみなせることを理解している。	(19			○

中学校　２年　数学　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 59.7%

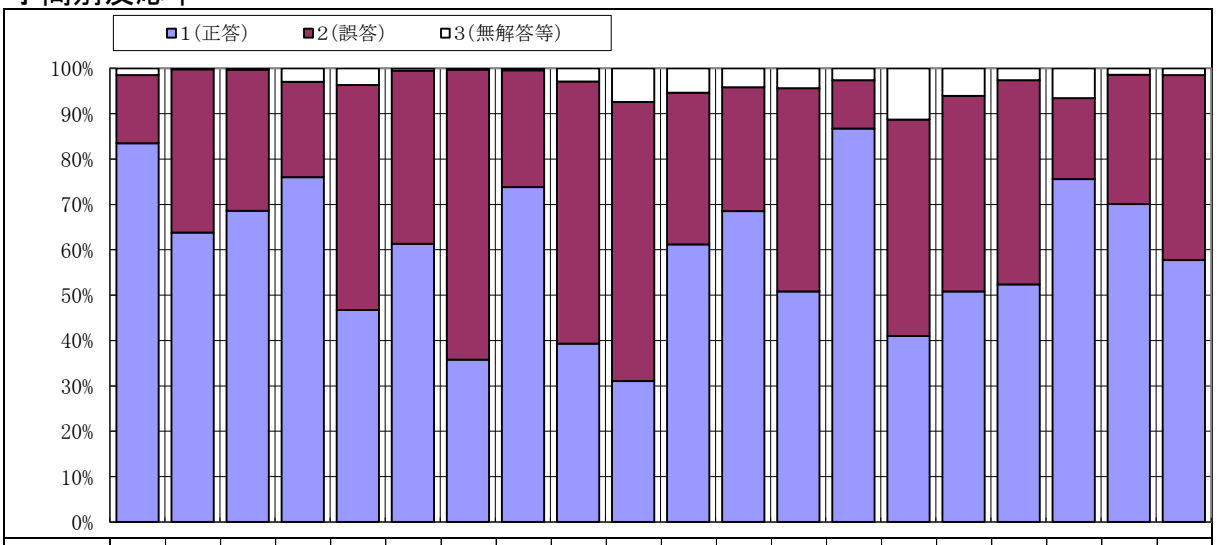
通し番号	出題内容	通過率(%)	設定通過率(%)
(1	小数÷分数の計算	83.5	90.0
(2	一次方程式の解の意味	63.9	70.0
(3	文字式の意味	68.6	75.0
(4	連立方程式の計算	76.0	80.0
(5	式の値	46.8	70.0
(6	一次関数の変化の割合の意味	61.3	70.0
(7	連立方程式の立式	35.8	60.0
(8	垂線の作図の意味	73.8	80.0
(9	回転移動の作図	39.3	70.0
(１０	円錐の体積	31.1	70.0
(１１	等式の変形	61.2	70.0
(１２	近似値の$a \times 10^n$の形での表し方	68.5	70.0
(１３	関数の意味	50.8	60.0
(１４	比例の利用	86.7	75.0
(１５	反比例の比例定数	41.0	70.0
(１６	一次関数のグラフ	50.8	60.0
(１７	一次関数の利用	52.4	60.0
(１８	相対度数の利用	75.6	70.0
(１９	一次関数の判別	70.1	70.0
(２０	文字式の意味の説明	57.7	60.0



※├──┤ は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　数学

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	83.5	63.9	68.6	76.0	46.8	61.3	35.8	73.8	39.3	31.1	61.2	68.5	50.8	86.7	41.0	50.8	52.4	75.6	70.1	57.7
2 （誤答）	15.0	36.0	31.1	21.0	49.6	38.2	63.9	25.8	57.8	61.5	33.4	27.3	44.8	10.7	47.7	43.1	45.0	17.8	28.5	40.8
3 （無解答等）	1.5	0.2	0.3	3.0	3.7	0.5	0.3	0.4	2.9	7.4	5.4	4.2	4.4	2.6	11.3	6.1	2.6	6.6	1.4	1.5

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	6	2		8	1			1			2	1	1	5				3	7		
90%～100%	18	6	1	9		1	1	4			3	7	7	32	1	2	1	5	5	1	
80%～90%	65	17	13	33	1	8		23	1		15	17	10	65	1	1	1	35	33	2	3
70%～80%	20	17	34	40	5	16	2	51	1	2	19	34	8	11	7	2	11	44	20	5	9
60%～70%	6	30	44	23	13	39	3	30	2	1	27	30	11	3	9	23	20	22	29	35	46
50%～60%	3	28	23	4	30	36	7	7	17	7	27	19	14	1	16	33	35	6	18	48	47
40%～50%		13	2		32	13	22		33	14	15	6	32		30	30	34	1	5	25	10
30%～40%		3			26	4	40		36	36	8	2	26		26	16	9			1	2
20%～30%		1			5		31		24	43	1	1	8		23	7	4			1	
10%～20%					2		11		2	11					2	2	1				1
0%～10%		1	1	1	3	1	1	2	2	4	1	1	1	1	3	2	2	2	1		

中学校２年　数学　調査結果の考察

１　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			領域別				計
	見方・考え方	技能	知識・理解	数と計算 数と式	図　形	関　数	資料の活用	
＋10％ より高い	1	0	0	0	0	1	0	1
±10％ の範囲内	4	3	7	6	1	5	2	１４
－10％ より低い	1	3	1	2	2	1	0	5
計	6	6	8	8	3	7	2	２０

２　考察

(1) 全体について

①20問中15問が、設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」でおおむね良好な状況であるが、基礎的・基本的な内容の定着についてやや課題が見られる。

②観点別では、「技能」にやや課題が見られる。領域別では、「数と式」「図形」に課題が見られる。

(2) 成果

①一元一次方程式の解の意味の理解について、昨年度と比べて改善が図られている。

②近似値を（整数部分が１桁の数）×（１０の累乗）の形に表すことの理解について、昨年度と比べて改善が図られている。

(3) 課題

①円錐の体積を求めることに課題が見られる。

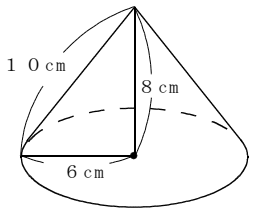
②反比例の比例定数の理解について課題が見られる。

３　今後の指導

錐体の体積について実感を伴った理解が図られる活動の充実を図る。

［参考　通し番号(10 ］

右の円錐（すい）の体積を求めなさい。ただし，円周率を π とします。



・底面が合同で高さが等しい柱体と錐体の体積の関係を予想させ、その予想が正しいかどうかを、錐体の容器に入った水を柱体の容器に移したり、柱体の容器に入った水を錐体の容器に移したりする実験を通して確かめる活動を取り入れる。

・錐体の体積の３倍が柱体の体積、柱体の体積の３分の１が錐体の体積になることを筋道を立てて説明させたり、図をかきながら立体の体積を求めるためにはどの要素が分かればよいかを話し合わせたりすることを通して、体積の求め方についての理解を一層深めさせる。

反比例の表から x、y について変化や特徴を捉え、a を比例定数として、$y = \frac{a}{x}$ 、$xy = a$ という式で表される関係であることの理解を図る学習の充実を図る。

［参考　通し番号(15 ］

次の表は，y が x に反比例する関係を表したものです。この反比例の比例定数を求めなさい。

x	・・・	－３	０．５	２	・・・
y	・・・	－４	２４	６	・・・

・反比例の意味の理解を深めるために、変数を明確に意識させ、比例と対比させながら、表から二つの数量の変化や対応の特徴を捉えさせる活動を取り入れる。

・x の値とそれに対応する y の値の積が常に一定になっていることを調べる活動を通して、x、y の間の関係を見いだし、式に表し、x、y の積が反比例の比例定数であることを確認する。

4　結果と考察　(4) 理科

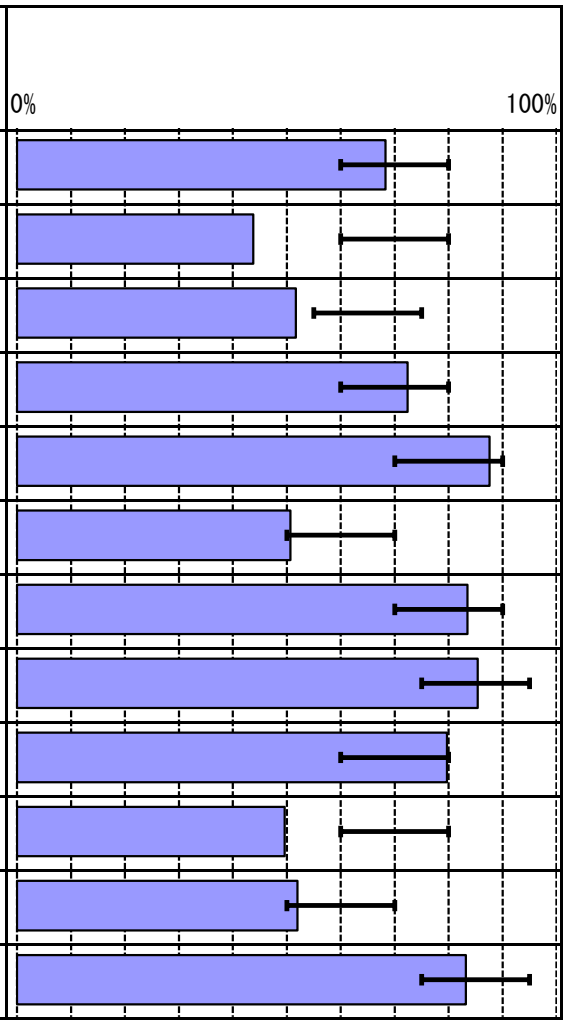
平成２９年度小学校学習状況調査　第４学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第３学年	A 物質・エネルギー	(1)イ	・体積を同じにしたときの物の重さを比較して考察し，表現している。	(1	○		
		(4)イ	・磁石の異極は引き合い，同極は退け合うことを理解している。	(4			○
	B 生命・地球	(3)ア	・日陰の位置の変化と太陽の動きを関連させて考察し，表現している。	(2	○		
		(1)イ	・植物の育ち方には一定の順序があることを考察し，表現している。	(3	○		
第４学年	A 物質・エネルギー	(3)イ	・光電池に当てる光の強さを変える実験方法を考え，表現している。	(6	○		
		(3)ア	・回路に流れる電流を強くするために，乾電池を直列つなぎにして回路をつくっている。	(7		○	
	B 生命・地球	(4)ア	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(5		○	
		(1)イ	・関節の働きについて理解している。	(8			○
		(1)イ	・体を動かすための筋肉の動きを理解している。	(9			○
		(4)ア	・月を観察し，適切に記録している。	(10		○	
		(4)ア	・日によって月の形が変わって見えることについて考え，表現している。	(11	○		
		(3)ア	・１日の天気の様子から気温の変化を考え，表現している。	(12	○		

小学校　４年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 67.3%

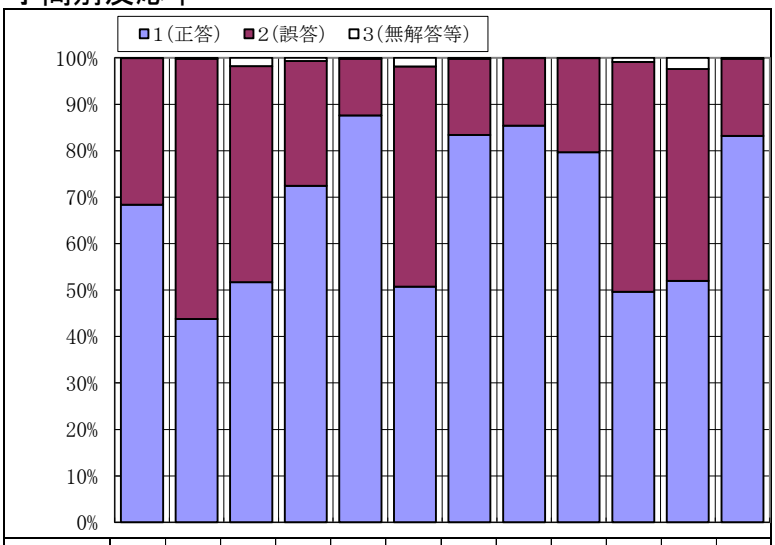
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	物の重さ	68.3	70.0
（2	太陽と地面の様子	43.8	70.0
（3	植物の成長	51.7	65.0
（4	磁石の性質	72.4	70.0
（5	方位磁針の使い方	87.6	80.0
（6	光電池の働き	50.7	60.0
（7	電気の働き	83.5	80.0
（8	関節のつくり	85.4	85.0
（9	筋肉の動き	79.7	70.0
（１０	月の観察	49.6	70.0
（１１	月の形	52.0	60.0
（１２	天気と１日の気温の変化	83.2	85.0



※├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　４年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12
1 （正答）	68.3	43.8	51.7	72.4	87.6	50.7	83.5	85.4	79.7	49.6	52.0	83.2
2 （誤答）	31.5	56.0	46.5	26.9	12.2	47.4	16.4	14.5	20.2	49.4	45.6	16.6
3 （無解答等）	0.1	0.2	1.8	0.7	0.2	1.9	0.2	0.1	0.1	0.9	2.4	0.2

小問別通過率度数分布表（202校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	平均通過率
100%	29	5	6	16	51	3	31	39	24	10	5	32	
90%～100%	35	4	4	16	63	5	55	45	20	11	5	40	4
80%～90%	22	19	17	54	54	13	54	80	78	14	15	71	30
70%～80%	26	9	25	61	30	18	36	31	50	24	27	35	60
60%～70%	15	18	30	30	3	31	14	4	24	14	32	19	69
50%～60%	25	30	34	13	1	33	3		4	30	39	4	36
40%～50%	19	34	30	5		40	4	1	2	24	30	1	3
30%～40%	18	41	28	4		26	2	1		31	26		
20%～30%	9	30	16	1		23				22	13		
10%～20%	3	9	8	1		6	1			14	7		
0%～10%	1	3	4	1		4	2	1		8	3		

小学校４年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容区分別		計
	科学的な思考・表現	技　能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％　より高い	0	0	0	0	0	0
±10％　の範囲内	4	2	3	4	5	9
－10％　より低い	2	1	0	0	3	3
計	6	3	3	4	8	１２

2　考察

(1) 全体について

①知識・理解に関する設問(4、(8、(9の通過率の平均は79.2であり、他の観点に関する設問に比べて高い。

②12問中３問が設定通過率の「－10％より低い」状況である。全体の通過率は67.3であり、学習内容の定着にやや課題が見られる。

(2) 成果

①類似問題については、５問全てにおいて通過率が上昇した。また、通過率の平均は昨年度よりも 8.0ポイント上昇した83.9であり、改善の傾向が見られる。

②「人の体のつくりと運動」に関する設問の通過率は、昨年度に比べて13.2ポイント上昇した82.6であり、学習内容の定着が図られている。

(3) 課題

①通し番号(2「太陽と地面の様子」についての設問の通過率が43.8であり、影の位置の変化と太陽の動きとを関係付けて考察させることについて、指導の改善を図る必要がある。

②通し番号(6「光電池の働き」についての設問の通過率は50.7である。予想の内容と実験の方法を結び付けて考え、表現させることについて、指導の改善を図る必要がある。

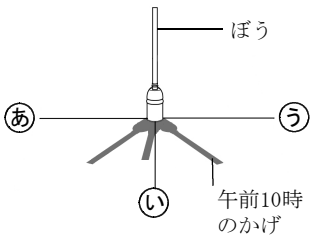
3　今後の指導

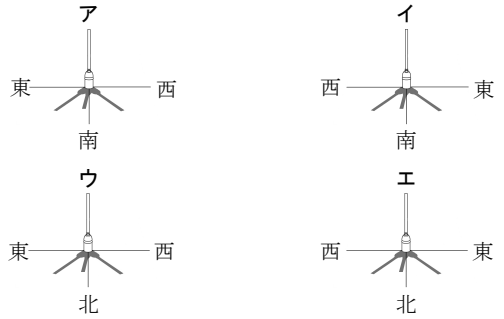
学習を通して獲得した知識を基に、観察した事実と関係付けながら考察できるような手立てを工夫する。

[参考　通し番号(2]

校庭にぼうを立てて，午前10時，正午，午後２時にぼうのかげの向きを調べました。図は，それぞれの時こくのかげを記ろくしたものです。ぼうを中心にすると，図の あ，い，う は，どの方いを表していますか。方いを正しく表しているものを，次の**ア**～**エ**から１つ選んで，［　　］の中に記号を書きなさい。

図１





・方位の指導については、第４学年「B(3)天気の様子」や「B(4)月と星」、社会科第３学年及び第４学年の「方位」の学習と関連させ、方位を日常生活において使うことができるようにすることが大切である。例えば、教室の壁面等に方位を掲示し、「窓は南、黒板は西、廊下は北」のように日常的に方位を意識できる環境を工夫することなどが考えられる。

・棒の影の位置が太陽の位置の変化によって変わることを理解させるために、影の反対側に太陽があることを捉えさせることが必要である。その上で、例えば、影ができている方位を根拠として、記録用紙に太陽の位置する方位の所に印を付け、太陽の動きを説明させるなどの学習活動を取り入れることが考えられる。

予想や仮説の内容と実験の方法を結び付けて考えることができるような手立てを工夫する。

・自然の事物・現象に働きかけて見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基にした予想や仮説を発想させる場を設定する。

・予想や仮説が妥当かどうかを確かめるための観察、実験の方法や計画についても、児童自らが発想できるよう、既習の内容を想起させたり、関連する体験活動等を単元の指導計画に意図的に組み入れたりすることが考えられる。

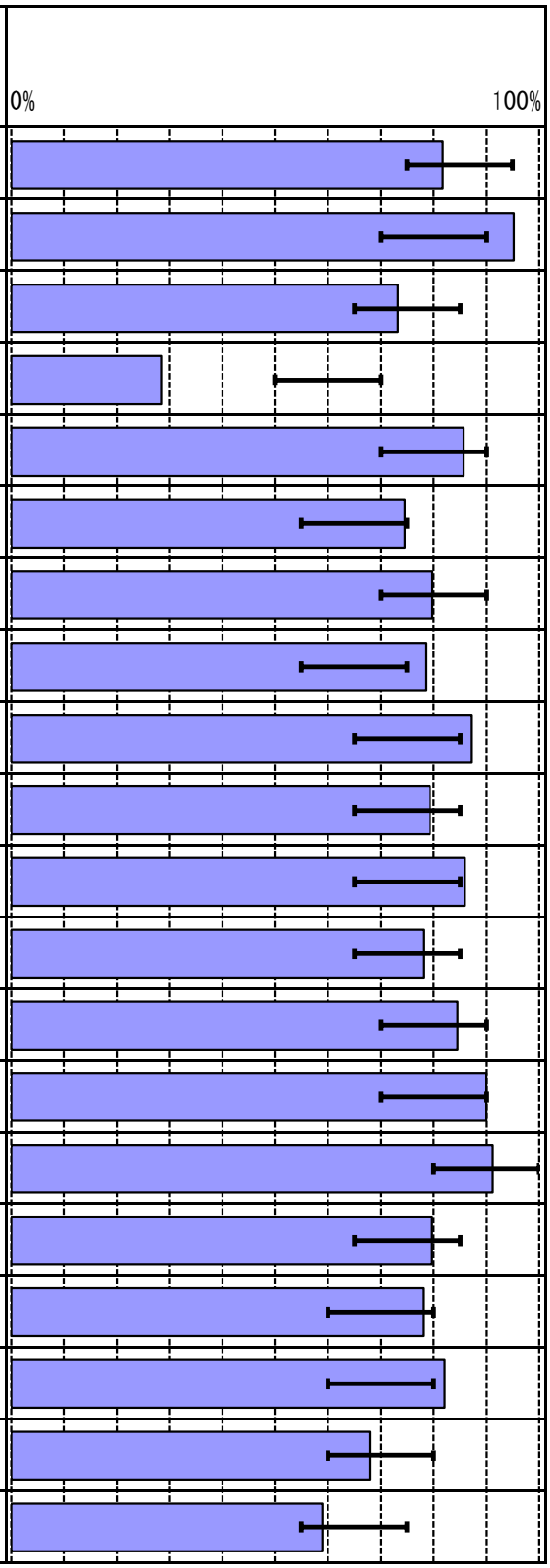
平成２９年度小学校学習状況調査　第５学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第４学年	B 生命・地球	(4)ウ	・星座早見の正しい使い方を身に付けている。	(1		○	
		(4)ウ	・星の集まりの見え方の特徴について考え，表現している。	(2	○		
		(2)アイ	・季節による動物の活動や植物の成長の様子を理解している。	(3			○
	A 物質・エネルギー	(2)ウ	・水が氷になるときの温度変化の規則性を理解している。	(4			○
		(2)ウ	・水が氷になるときの体積の変化について考え，表現している。	(5	○		
		(2)イ	・空気の温まり方についての仮説に対する結果の見通しをもち，表現している。	(6	○		
		(2)イ	・空気の温まり方について,実験結果を基にして考え，仮説を修正している。	(7	○		
		(2)ア	・温度の違いによる，空気の体積変化を捉えるための実験計画を考え，表現している。	(8	○		
		(1)ア	・閉じ込めた空気を圧(お)したときの体積の変化や手ごたえの大きさについて考え，表現している。	(9	○		
		(1)イ	・閉じ込めた水を圧したときの体積の変化について理解している。	(10			○
第５学年	B 生命・地球	(1)ア	・子葉の役割を確かめるための方法を考え，表現している。	(11	○		
		(1)ウ	・植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画し，表現している。	(12	○		
		(4)ア	・雲が動く方向について理解している。	(13			○
		(4)ア	・雲の量と天気の関係について考え，表現している。	(14	○		
		(4)ア	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(15		○	
		(4)イ	・台風が発生する場所や進路について理解している。	(16			○
		(4)イ	・台風がもたらす降雨は短時間に多量になることを理解している。	(17			○
		(1)エ	・受粉の仕組みについて条件を制御して調べる実験の方法を理解している。	(18			○
		(2)イ	・顕微鏡を適切に操作して，水中の小さな生物を観察する技能を身に付けている。	(19		○	
		(2)ア	・ヒメダカの子どもが生まれるようにするための方法を考え，表現している。	(20	○		

小学校　５年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 77.9%

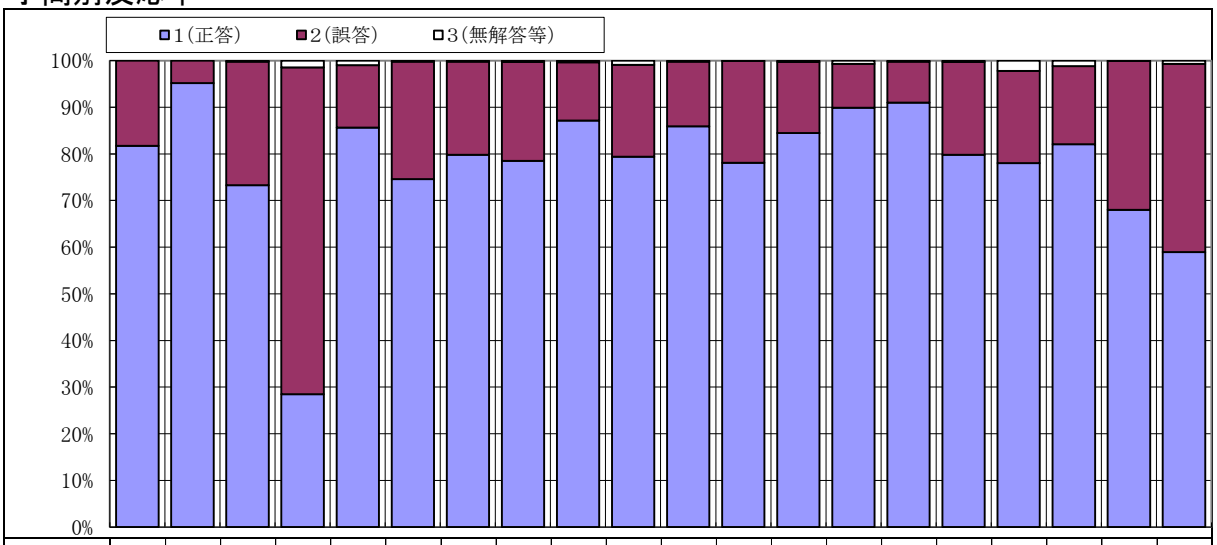
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	星座早見の使い方	81.7	85.0
（2	星座の位置と並び方	95.2	80.0
（3	季節による動植物の様子	73.3	75.0
（4	水が氷になるときの温度変化	28.5	60.0
（5	水から氷への体積変化	85.7	80.0
（6	空気の温まり方についての仮説を基にした検証結果の予想	74.6	65.0
（7	空気の温まり方	79.8	80.0
（8	空気の温度による体積変化を調べる実験計画	78.5	65.0
（9	閉じ込めた空気の体積と圧し返す力の関係	87.2	75.0
（１０	閉じ込めた水を圧したときの体積	79.3	75.0
（１１	子葉の働き	85.9	75.0
（１２	インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画	78.1	75.0
（１３	雲の動く方向	84.5	80.0
（１４	雲の量と天気の関係	89.9	80.0
（１５	方位磁針の使い方	91.1	90.0
（１６	台風の進路	79.7	75.0
（１７	台風の降雨による影響	78.0	70.0
（１８	受粉の仕組みを確かめる実験方法	82.1	70.0
（１９	顕微鏡の使い方	68.0	70.0
（２０	ヒメダカの子どもが生まれるようにするための飼育方法	58.9	65.0



※├──┤ は設定通過率±10%を示している。

小学校　５年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	81.7	95.2	73.3	28.5	85.7	74.6	79.8	78.5	87.2	79.3	85.9	78.1	84.5	89.9	91.1	79.7	78.0	82.1	68.0	58.9
2 (誤答)	18.3	4.8	26.5	70.1	13.4	25.2	20.0	21.2	12.5	19.7	13.9	21.8	15.2	9.4	8.8	19.9	19.8	16.7	31.9	40.3
3 (無解答等)	0.0	0.0	0.2	1.5	1.0	0.2	0.2	0.3	0.4	0.9	0.2	0.1	0.3	0.7	0.2	0.3	2.2	1.2	0.1	0.7

小問別通過率度数分布表（200校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	37	72	10	5	31	13	16	32	31	17	28	14	31	45	51	17	18	25	17	13	
90%～100%	57	101	18		48	20	29	42	58	25	46	24	51	73	79	37	47	40	16	10	17
80%～90%	42	25	36	3	84	49	75	56	80	68	85	72	60	67	54	58	56	72	40	27	85
70%～80%	33	2	60	5	28	52	47	26	15	59	29	39	38	13	15	50	34	40	41	19	74
60%～70%	14		54	7	8	42	25	16	12	23	9	40	17	2	1	31	19	17	39	37	23
50%～60%	8		13	16	1	22	8	15	3	7	3	10				7	18	5	26	36	1
40%～50%	3		7	20				4				1	2				5		7	32	
30%～40%	2		1	22		1		5	1								3	1	12	17	
20%～30%	1			50				1												7	
10%～20%	1			51				3					1						1		
0%～10%	2		1	21		1				1									1	2	

小学校５年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			内容区分別		計
	科学的な思考・表現	技　能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％ より高い	4	0	1	2	3	5
±10％ の範囲内	6	3	5	4	１０	１４
－10％ より低い	0	0	1	1	0	1
計	１０	3	7	7	１３	２０

2　考察

(1) 全体について

①20問中19問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②観点が「自然事象についての知識・理解」の設問は、通過率の平均が昨年度よりも14.1ポイント下降した72.2であり、指導の改善を図る必要がある。

(2) 成果

①類似問題については、８問中７問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。

②観点が「科学的な思考・表現」の設問は、通過率の平均が昨年度よりも10.1ポイント上昇した81.4であり、指導の改善が図られている。

(3) 課題

①通し番号(4「水が氷になるときの温度変化」については、他の設問に比べて通過率が低く、観察・実験を基にした知識の定着に課題が見られる。

②通し番号(1、(19 のように、星座早見や顕微鏡の基本操作に関する技能についての設問は設定通過率を下回っており、引き続き指導の充実を図る必要がある。

3　今後の指導

自然の事物・現象について、体験したことを基にして理解することができるよう、指導の手立てを工夫する。

・知識に関する指導に当たっては、主体的な問題解決の過程を通して、実感を伴って理解できるようにする。
・観察・実験の際は、何について検証するのかを確認し、着目する点を明確にする。
・通し番号(4においては、状態変化について温度変化と水の様子の変化を関係付けて理解できるようにする。
※指導の手立て（例）
□時間ごとの温度とともに試験管の中の水の様子を記録できるワークシートやグラフ用紙等を準備する。
□結果をグラフに整理し、温度変化のきまりや、温度が変わらずグラフが平らになっているときの水の状態について話し合う場を設定する。

［参考　通し番号(4]

水面の位置に印をつけた試験管を氷の入ったビーカーに入れました。次に，図１のようにこい食塩水をビーカーに入れて，試験管の中の水の温度がどのように変わるかを調べました。図２は，調べた結果をグラフに表したもので，７分後，０℃になり，氷ができはじめました。この実験を続けてさらに冷やすと，試験管の中の温度はどのようになりますか。試験管の中のすべての水が**氷になる前**と**氷になった後**のそれぞれについて，□の中に書きなさい。

図1

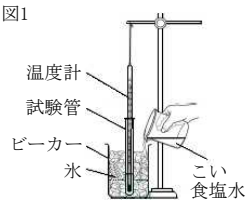
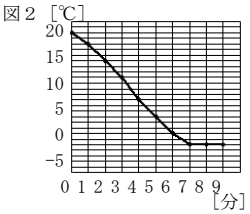


図２



一人一人が観察・実験器具の基本的な操作についての技能を身に付けられるよう、指導の手立てを工夫する。

・星座早見の使い方の指導に当たっては、「北」の文字が上下逆向きに示されている理由を考えさせたり、日付の目盛りと時刻の目盛りの合わせ方を変えるとどうなるかを確認させたりするなど、操作の意味を捉えさせることが大切である。
・顕微鏡を使用して観察する際、一人に一台の顕微鏡を割り当てられない場合は、一連の操作を交代で行わせるなど、一人一人が確実に操作できる機会を保障する。
・基本的な操作についてパフォーマンステストを行うなど、技能の定着を確認する場を設定し、定着が不十分な児童には繰り返し指導する。

平成２９年度小学校学習状況調査　第６学年　理科　評価規準と評価の観点

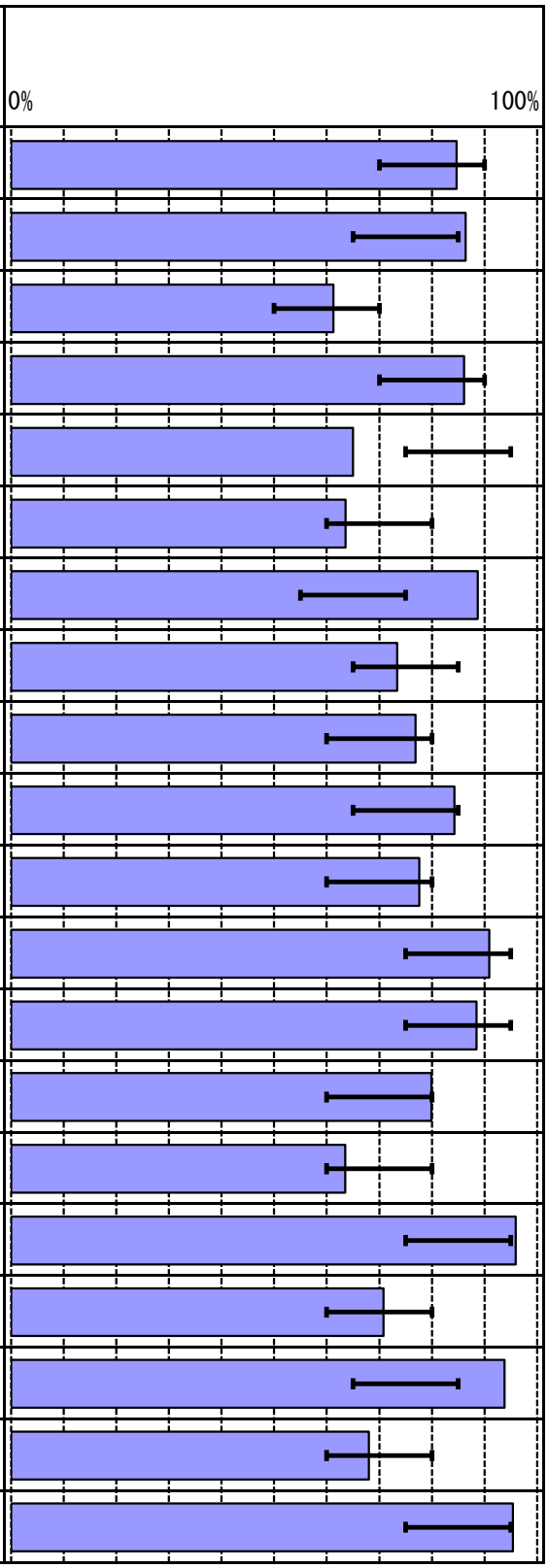
学年	区分	内容	評価規準	通し番号	観点 思考表現	技能	知識理解
第５学年	B 生命・地球	(3)ア	・流れる水には，土砂を堆積させる働きがあることを理解している。	(1			○
		(3)ウ	・川の曲がっている部分の外側と内側での水流の速さの違いから侵食の違いを考察している。	(2	○		
		(2)ウ	・受精卵について理解している。	(4			○
		(2)ウ	・母体内でのへその緒の働きを理解している。	(5			○
		(2)イ	・顕微鏡を適切に操作して，水中の小さな生物を観察する技能を身に付けている。	(8		○	
	A 物質・エネルギー	(1)イ	・物が水に溶ける量を，水の温度と関係付けて考察し，表現している。	(3	○		
		(2)ア	・振り子の長さが，支点からおもりの中心までの長さとなるように，実験器具を組み立てている。	(6		○	
		(2)ア	・実験結果から，ふりこが１往復する時間とその条件を関係付けて考察している。	(7	○		
		(3)ア	・電流の流れる向きと電磁石の極の関係について理解している。	(9			○
		(3)イ	・電磁石の強さを調べる実験方法から，どのような予想を立てたのかを考え，表現している。	(10	○		
第６学年	A	(1)ア	・実験結果を基に，物が燃え続けるための条件を推論し，表現している。	(12	○		
		(1)ア	・物が燃えるとき，空気に含まれる酸素の体積の割合が変化した結果について考察している。	(13	○		
	B 生命・地球	(3)イ	・食物連鎖について理解している。	(11			○
		(1)イ	・だ液の働きを調べる実験において，でんぷんが分解する温度と人の体温とを関連させて理解している。	(14			○
		(1)エ	・肝臓の名称と体内における位置を理解している。	(15			○
		(1)ア	・実験結果から，吐き出した空気と吸う空気と比較し，呼吸の働きについて考え，表現している。	(16	○		
		(2)イ	・根から吸い上げられた水は，決まった通り道を通って体全体に運ばれることを推論し，表現している。	(17	○		
		(2)イ	・実験結果から，植物の体内にある水の行方について推論している。	(18	○		
		(5)ア	・月の形の見え方は，観測した日によって違うことを資料から見いだし，表現している。	(19	○		
		(5)ア	・地球，月，太陽の位置関係をモデル実験で確かめている。	(20		○	

・第６学年の区分欄のＡは「物質・エネルギー」を示している。

小学校　６年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 79.7%

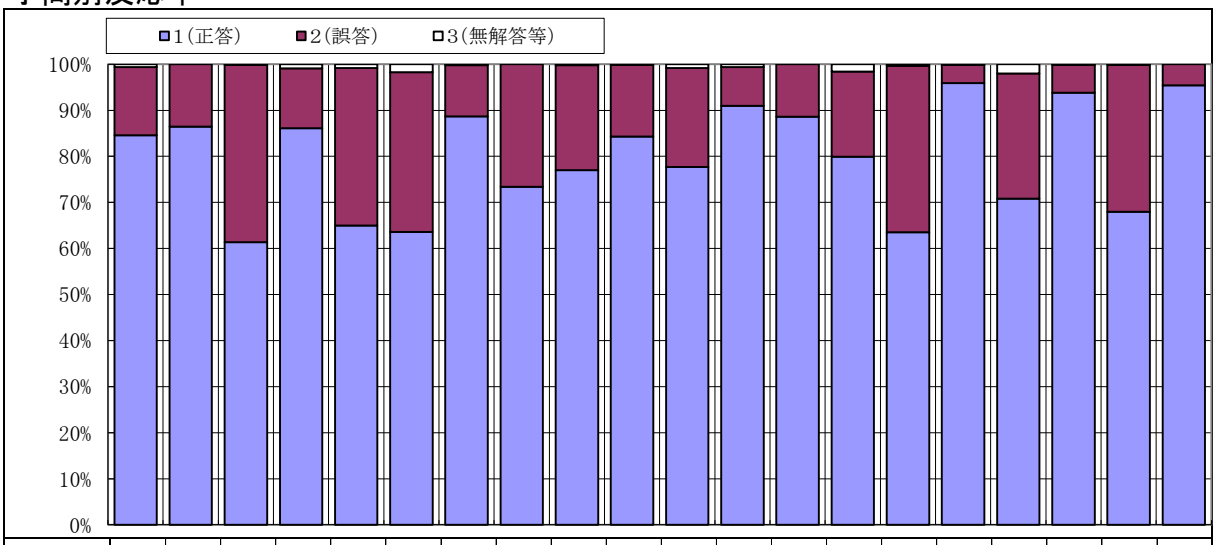
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	流れる水の働き	84.7	80.0
（2	川の場所による侵食作用の違い	86.4	75.0
（3	物の溶け方	61.3	60.0
（4	受精卵のでき方	86.1	80.0
（5	へその緒の働き	65.0	85.0
（6	振り子の長さ	63.6	70.0
（7	振り子の１往復する時間と関係する条件	88.7	65.0
（8	顕微鏡の使い方	73.4	75.0
（9	電流の向きと電磁石の極の関係	76.9	70.0
（１０	電磁石の強さを決める条件	84.3	75.0
（１１	食物連鎖による生物どうしのつながり	77.6	70.0
（１２	物が燃え続けるための条件	90.9	85.0
（１３	物が燃えるときの酸素の割合の変化	88.5	85.0
（１４	だ液の働く温度	79.9	70.0
（１５	肝臓の名称や働き，体内の位置	63.5	70.0
（１６	呼吸により出入りする気体	95.9	85.0
（１７	植物の水の通り道	70.8	70.0
（１８	蒸散の仕組み	93.8	75.0
（１９	月の見える位置	68.0	70.0
（２０	月の形の見え方を調べるモデル実験	95.4	85.0



※├──┤は設定通過率±10%を示している。

小学校　６年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	84.7	86.4	61.3	86.1	65.0	63.6	88.7	73.4	76.9	84.3	77.6	90.9	88.5	79.9	63.5	95.9	70.8	93.8	68.0	95.4
2 （誤答）	14.8	13.5	38.5	13.0	34.2	34.7	11.1	26.6	22.8	15.6	21.5	8.4	11.4	18.5	36.2	4.0	27.2	6.1	31.9	4.6
3 （無解答等）	0.6	0.0	0.1	0.9	0.8	1.7	0.2	0.0	0.2	0.1	0.8	0.6	0.0	1.6	0.3	0.1	2.0	0.1	0.1	0.0

小問別通過率度数分布表（202校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	37	34	3	29	11	8	41	13	12	34	13	63	38	25	8	75	16	66	13	74	1
90%～100%	59	51	7	59	7	9	61	19	29	44	29	78	71	39	8	109	24	97	7	107	18
80%～90%	57	83	22	76	34	33	82	41	67	72	63	45	70	50	22	16	45	32	26	18	108
70%～80%	37	25	30	29	44	43	14	62	44	43	49	9	21	52	44	1	47	5	38	2	65
60%～70%	9	7	55	5	42	31	3	40	28	7	31	2	1	21	54	1	33	1	67		8
50%～60%	2	2	44	4	35	40	1	14	18	1	13	1	1	7	43		18	1	38	1	
40%～50%			32		17	26		9	2	1	1	1		4	12		9		10		2
30%～40%			7		8	8		2	1		1	1		1	7		4		1		
20%～30%			1		2	2					1						2		1		
10%～20%					1									1	1		1				
0%～10%	1		1		1	2		2	1		1	2		2	3		3		1		

小学校６年　理科　調査結果の考察

１　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容区分別		計
	科学的な思考・表現	技　能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
＋10％ より高い	4	1	0	1	4	5
±10％ の範囲内	6	2	6	6	8	１４
－10％ より低い	0	0	1	0	1	1
計	１０	3	7	7	１３	２０

２　考察

(1) 全体について

①20問中19問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②第５学年の内容に関する通過率の平均は77.0、第６学年の内容に関する通過率の平均は82.4であった。第６学年の学習と関連させて、第５学年の内容を扱う機会を意図的・計画的に設定することが大切である。

(2) 成果

①類似問題については、７問中全ての問題で通過率が上昇し、指導の改善が図られている。特に、昨年度の課題であった「物の溶け方」に関する設問の通過率は17.9ポイント上昇した61.3、「顕微鏡の使い方」に関する設問の通過率は7.2ポイント上昇した73.4であった。

②観点が「科学的な思考・表現」の設問は、通過率の平均が昨年度よりも10.4ポイント上昇した82.9であり、改善の傾向が見られる。

(3) 課題

①通し番号(15 「肝臓の名称や働き、体内の位置」のように、観察・実験を通して理解につなげることが難しい設問の通過率が低いことから、身に付けた知識を活用して繰り返し説明させるなどの場面を設定し、定着を図る必要がある。

②通し番号(17 「植物の水の通り道」のように、科学的に妥当な表現にすることが求められる設問の通過率が低いことから、自分の予想の妥当性を検討したり、グループ等で検討したりして表現を改善するための場面を設定する必要がある。

３　今後の指導

知識の定着が確実に図られるよう、学習を通して獲得したことを使って説明する学習活動を充実させる。

・単元の終末に「私たちが生命活動を維持するためにどんな臓器があったか」を話し合わせ、「呼吸に関わる臓器」「消化に関わる臓器」「血液の循環に関わる臓器」等について整理し、資料や人体模型等を使ってそれぞれの臓器の位置や働きを関係付けながら調べ、自分の言葉でまとめたり説明したりする時間を指導計画に意図的に位置付けるようにする。

・人体模型を使って様々な臓器を自分の体と対比させながら取り出し、形や大きさ、位置などを確認し、生命活動を維持している臓器が規則正しく並んでいることを実感を伴って理解できるようにする。

自分の予想と複数の観察・実験の結果を照らし合わせて導いた考察等を、より科学的に妥当な表現にするための話合い活動を充実させる。

・観察・実験前の自分の予想と観察で得られた結果を照らし合わせ、自分の予想が確認されたのかを検討させる。その際、一つの結果だけに着目するのではなく、複数の結果を総合的に捉えて、考察できるようにする。

・より科学的に妥当な表現に改善するためには､自分の考えと他者の考えを比較したり、関係付けたりすることが大切である。その際には、得られた結果から考察したことを自分で検討するだけではなく、グループから学級全体へと段階的に話し合って吟味した後で、自分の考察を再検討できるような場を設定する。

［参考 通し番号（17］

【考察１】切り口の全体ではなく一部分が赤くそまったことから，根からとり入れられた水はくき，葉にある［　あ　］を通ってからだ全体に運ばれるということがわかる。

(1) 図２～図４から，どのようなことがわかりますか。【考察１】が正しくなるように，あ に当てはまる内容を［　　］の中に書きなさい。

平成２９年度中学校学習状況調査　第１学年　理科　評価規準と評価の観点

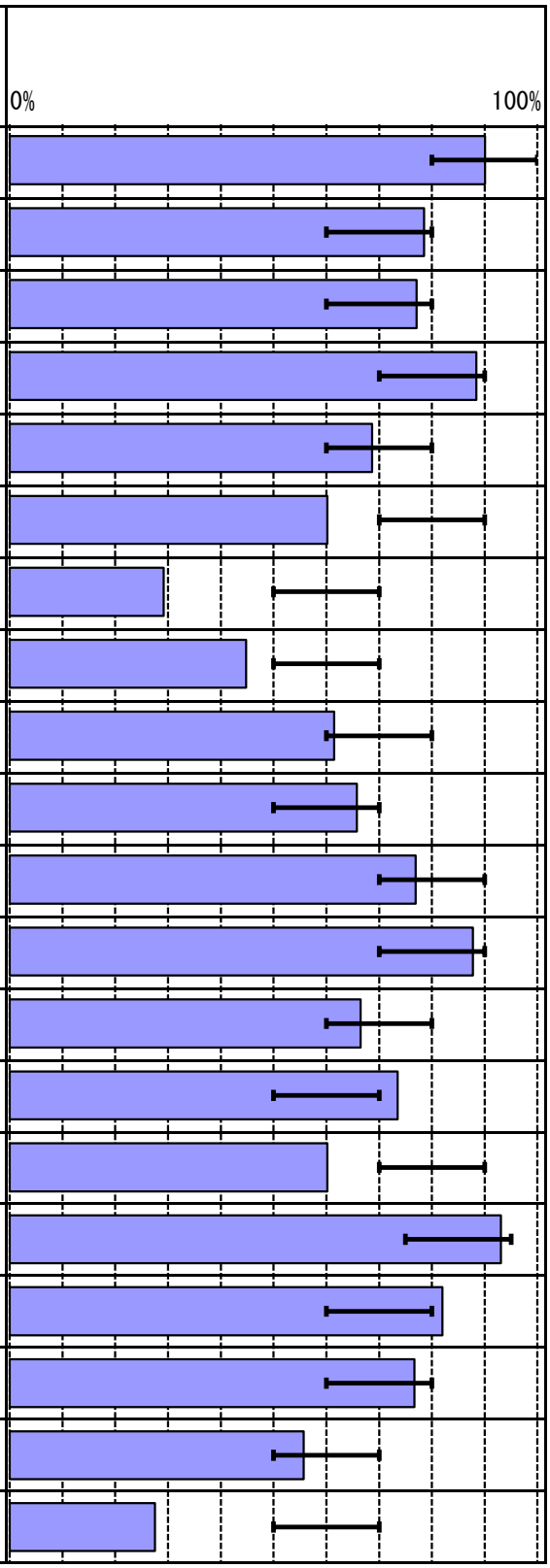
学年	領域等	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
小学校第６学年	A 物質・エネルギー	(4)ア	・コンデンサーに同じ量の電気をためるための条件制御に着目して実験を計画している。	(1	○		
		(4)イ	・電気は運動に変えることができることを理解している。	(2			○
		(4)ア	・発光ダイオードと豆電球の明かりをつけるために使う電気の量について考察し，表現している。	(3	○		
		(2)ア	・リトマス紙に液体をつけるときの方法を身に付けている。	(4		○	
		(2)アイウ	・水溶液の性質を基に，水溶液の種類を推論している。	(5	○		
		(3)ア	・てこを水平にするための条件を理解している。	(7			○
		(3)イ	・てこの規則性を基に，てこが水平につり合うときのおもりをつるす位置と重さについて推論し，表現している。	(8	○		
		(3)ウ	・てこの規則性を基に，はさみの使い方について推論し，表現している。	(9	○		
	B	(4)イ	・地層の様子から，地層のでき方を推論し，表現している。	(6	○		
		(2)イ	・道管の観察や蒸散の実験の結果を基に，植物の体内にある水の行方について推論している。	(16	○		
中学校第１学年	化学的領域	(2)ア（ア）	・物質の密度を求める方法を理解している。	(10			○
		(2)ア（ア）	・物質の性質を示した結果から，無機物を推論している。	(11	○		
		(2)ア（ア）	・物質の性質を示した結果から，有機物を推論し，その理由を表現している。	(12	○		
		(2)ア（イ）	・酸素を発生させる方法を身に付けている。	(13		○	
		(2)ア（イ）	・実験結果を課題と正対させて考察し，見いだした結論を表現している。	(14	○		
		(2)イ（ア）	・質量パーセント濃度と水溶液の質量から，溶質と溶媒の質量を求める方法を理解している。	(19			○
		(2)イ（イ）	・顕微鏡の使い方を身に付けている。	(20		○	
	生物的領域	(1)イ（イ）	・道管の役割を理解している。	(15			○
		(1)ウ（ア）	・被子植物と裸子植物を分類する観点を理解している。	(17			○
		(1)ウ（イ）	・コケ植物の水の吸収の仕方を理解している。	(18			○

※第６学年の領域等欄のＢは「生命・地球」を示している。

中学校　１年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 68.2%

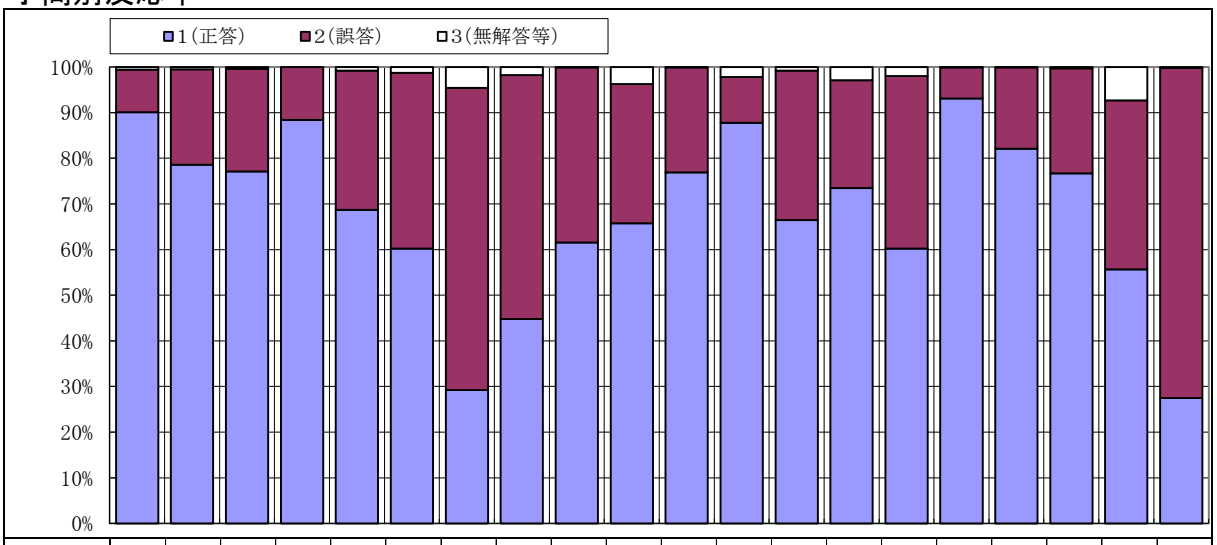
通し番号	出題内容	通過率(%)	設定通過率(%)
(1	同じ量の電気をためるための条件	90.1	90.0
(2	電気の利用	78.5	70.0
(3	発光ダイオードの利点	77.1	70.0
(4	リトマス紙の使い方	88.4	80.0
(5	水溶液の同定	68.7	70.0
(6	地層のでき方	60.2	80.0
(7	てこがつり合う条件	29.2	60.0
(8	てこが水平につり合うときのきまり	44.8	60.0
(9	てこの働き	61.5	70.0
(１０	密度の求め方	65.8	60.0
(１１	白い粉末の区別	76.9	80.0
(１２	有機物の性質	87.8	80.0
(１３	酸素の発生方法	66.5	70.0
(１４	気体の性質	73.5	60.0
(１５	道管の役割	60.2	80.0
(１６	蒸散の仕組み	93.1	85.0
(１７	被子植物の分類	82.0	70.0
(１８	コケ植物の体の特徴	76.7	70.0
(１９	質量パーセント濃度を利用した物質の質量の求め方	55.7	60.0
(２０	顕微鏡の使い方	27.5	60.0



※├──┤は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	90.1	78.5	77.1	88.4	68.7	60.2	29.2	44.8	61.5	65.8	76.9	87.8	66.5	73.5	60.2	93.1	82.0	76.7	55.7	27.5
2 （誤答）	9.3	20.9	22.5	11.6	30.5	38.5	66.1	53.4	38.3	30.6	23.0	10.0	32.7	23.6	37.8	6.8	17.8	23.0	37.0	72.3
3 （無解答等）	0.6	0.5	0.4	0.0	0.8	1.3	4.6	1.8	0.1	3.7	0.1	2.2	0.8	2.9	2.0	0.1	0.1	0.3	7.3	0.2

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	21	5	5	13	2	3	1			1	3	9		3	1	19	5	4			
90%～100%	57	21	18	46	5	5	2		4	2	10	42	5	7	1	72	16	7	1		
80%～90%	22	43	31	50	16	21	2	1	6	11	38	59	8	34	13	24	50	39	4	1	4
70%～80%	12	20	39	6	34	15	7	1	24	29	41	7	34	31	14	3	36	36	10		46
60%～70%	4	16	14	1	40	23	9	4	33	37	17	1	33	28	22		9	21	24	4	58
50%～60%	2	6	8	1	19	24	10	31	35	32	7		27	9	32		2	9	48	6	9
40%～50%		3		1		18	7	44	13	4	2		6	3	18			1	17	9	
30%～40%		2	1		2	5	7	26	1				2	2	14				11	28	1
20%～30%		1				2	17	9	1				1		1			1	2	27	
10%～20%						1	30	1												33	
0%～10%		1	2			1	26	1	1	2			2	1	2				1	10	

中学校１年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			内容区分別・領域別				計
	科学的な思考・表現	技能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	化学	生物	
＋10％ より高い	1	0	1	0	0	1	1	2
±10％ の範囲内	7	2	4	6	1	5	1	１３
－10％ より低い	2	1	2	2	1	1	1	5
計	１０	3	7	8	2	7	3	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中15問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①昨年度までの課題の改善状況を捉えるために出題した(1、(3、(8、(9、(10、(14、(19の７問については、６問で通過率が上昇した。

②内容区分別・領域別の「生命・地球」の設問は、通過率の平均が76.7であり、「生物」の設問は、通過率の平均が73.0である。第１分野に比べて、第２分野の内容について定着が図られている。

(3) 課題

①通し番号(13「酸素の発生方法」のように、科学的に探究する過程を踏まえた上で、目的の気体を発生させる方法の定着について課題が見られる。既習事項を基にどのように検証するかを思考、表現させたり、技能について振り返らせたりする活動を取り入れる必要がある。

②通し番号(19「質量パーセント濃度を利用した物質の質量の求め方」及び通し番号(20「顕微鏡の使い方」のように、既習の知識や技能を科学的に探究する活動に活用させることに課題が見られる。計算式や基本操作等の意味を理解させるとともに、既習の概念を課題解決に活用する必要性を感じさせた上で観察・実験等を行う授業を、意図的に展開する手立てを工夫する必要がある。

3　今後の指導

科学的に探究する過程に、観察・実験の計画を立てたり、観察・実験に必要な技能の定着を図ったりする場面を設定する。

・身の回りの事物・現象から疑問を引き出し、生徒の言葉等を生かして学習課題を設定し、見通しと意欲をもたせる。
・学習課題に対する予想・仮説を立てさせる活動を充実させる。
・予想や仮説を検証するための観察・実験計画を生徒自身に立案させ、グループや全体で実証性の視点から検討し、改善する場を設定する。
・計画を立てる際には、既習の技能を活用させたり、日常生活との関連を意識させたりし、生徒が目的意識をもって観察・実験に取り組めるようにする。

［参考　通し番号(13 ］

【課題】二酸化炭素と酸素では，どちらが水にとけやすいのだろうか。
【予想】酸素の方が水にとけやすい。
【実験】図１のように，三角フラスコに石灰石を入れ，活栓つきろうとでうすい塩酸を加えて二酸化炭素を発生させ，ペットボトルＡに水が半分くらい残るように水上置換で集め，ふたをした。同じようにして，別の三角フラスコに（　Ｘ　）を入れ，活栓つきろうとで（　Ｙ　）を加えて酸素を発生させ，ペットボトルＢに集め，ふたをした。次に，ペットボトルＡとペットボトルＢをそれぞれふった。

図１

(1) Ｘ，Ｙに当てはまる物質は，それぞれ何ですか。次のア～エから正しい組み合わせを１つ選んで，記号を書きなさい。

	Ｘ	Ｙ
ア	鉄	うすい塩酸
イ	鉄	オキシドール
ウ	二酸化マンガン	うすい塩酸
エ	二酸化マンガン	オキシドール

【結果】図２のように，ペットボトルＡはつぶれ，ペットボトルＢはほとんど変化しなかった。

図２

既習の概念や知識・技能が、課題の探究に活用される場を意図的に設定する。

・質量パーセント濃度を求める場合、単に計算の方法としての知識にとどまることなく、「濃度」の意味を理解させるようにする。その際、科学的に探究する活動を進める上で、濃度を求める必要感のある場を意図的に設定する。
・顕微鏡の使い方については、観察する対象や目的に応じて意図的に操作できる技能として習得するよう、例えば、視野の一部が暗いなどのように適切に観察できていない場合における対処方法を資料等を用いて具体的に示したり、実際に観察する場面においては生徒が試行錯誤して観察を進められる十分な時間を確保したりすることが大切である。

［参考　通し番号(19，(20 ］

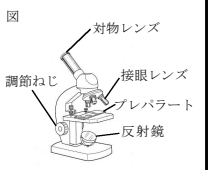
１０　食塩の結晶の観察について，次の(1)，(2)の問いに答えなさい。

(1) 質量パーセント濃度が５％の食塩水100ｇをつくるときに必要な食塩と水の量は，それぞれ何ｇですか，求めなさい。また，求める過程も書きなさい。

(2) 食塩水をスライドガラスに１滴たらし，水を蒸発させて，図のような顕微鏡で観察しました。操作の順が正しくなるように，次のア～オを並べかえて，記号をかきなさい。

ア　プレパラートをステージにのせる。
イ　対物レンズをいちばん低倍率のものにする。
ウ　接眼レンズをのぞきながら，反射鏡を調節して，全体が均一に明るく見えるようにする。
エ　真横から見ながら調節ねじを回し，プレパラートと対物レンズをできるだけ近づける。
オ　接眼レンズをのぞいて，プレパラートと対物レンズを遠ざけながらピントを合わせる。

図



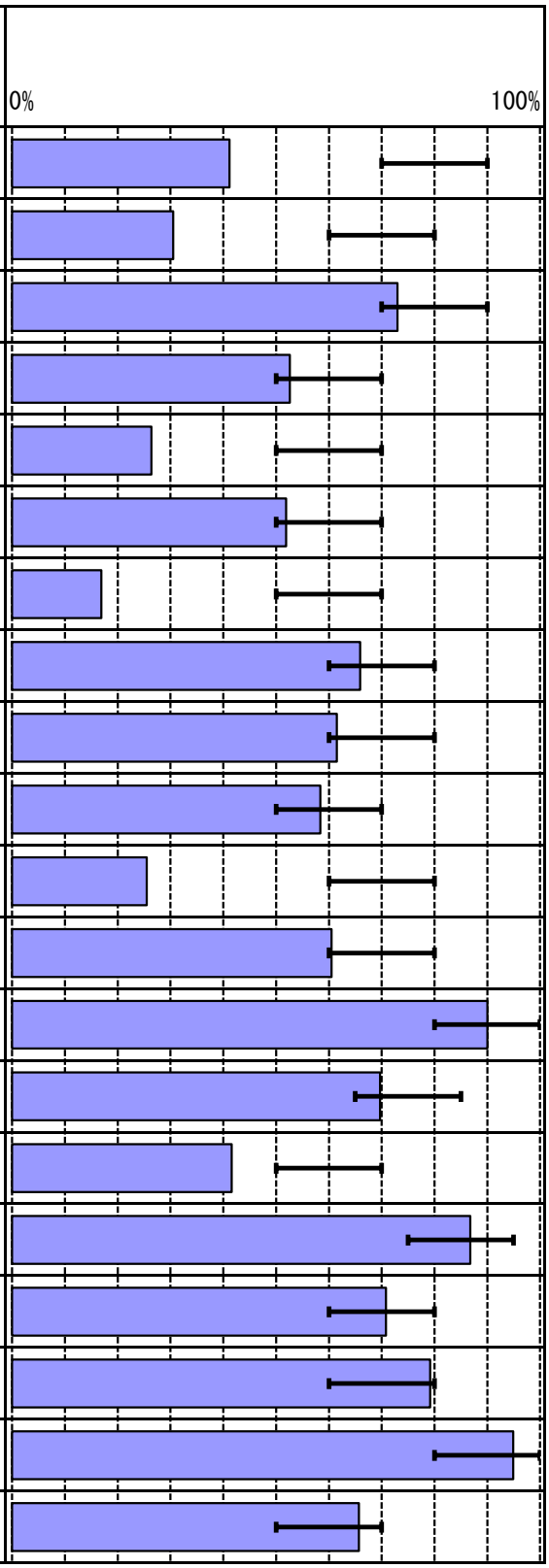
平成２９年度中学校学習状況調査　第２学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
第1学年	地学的領域	(2)ア（イ）	・震源の真上の地表が震央であることを理解している。	(1			○
		(2)ア（イ）	・主要動がＳ波によるものであることを理解するとともに，地震波の伝わる速さを求める方法を理解している。	(2			○
		(2)ア（イ）	・地震波の記録から，初期微動継続時間の長さが震源からの距離に関係していることを見いだし，表現している。	(3	○		
		(2)イ（ア）	・示準化石の条件を理解している。	(4			○
		(2)イ（ア）	・標高を示した図と柱状図を関連付けて考察し，地層が傾いている方角を表現している。	(5	○		
	物理的領域	(1)ア（ア）	・光がガラスの境界面で屈折したときの進み方について考察し，表現している。	(6	○		
		(1)ア（イ）	・スポットライトの仕組みを，凸レンズの性質と関連付けて考察し，表現している。	(7	○		
		(2)ア（ア）	・物質の密度を求める方法を理解している。	(8			○
		(1)イ（ア）	・物体に働く重力を，矢印で表すことができる。	(9			○
		(1)イ（イ）	・浮力の大きさの変化について考察し，表現している。	(10	○		
第2学年	化学的領域	(4)イ（イ）	・還元された物質が再び酸化されないための操作に留意しながら，安全に実験を行っている。	(11		○	
		(4)イ（イ）	・考察を検討し，実験結果から酸化と還元は同時に起こっていることを見いだし，改善している。	(12	○		
		(4)ウ（イ）	・金属の粉末を完全に酸化させるための操作に留意しながら，適切に実験を行っている。	(13		○	
		(4)ウ（イ）	・実験結果から，銅の質量と反応した酸素の質量の関係を，グラフに表すことができる。	(14		○	
		(4)ウ（イ）	・銅と酸素が化合するときの質量の関係を見いだし，酸化銅の生成に必要な銅の質量を推定することができる。	(15	○		
	生物的領域	(3)ア（ア）	・植物細胞と動物細胞のつくりの共通点と相違点について理解している。	(16			○
		(3)ア（ア）	・植物の細胞のつくりと体の仕組みを関連付けて考察し，表現している。	(17	○		
		(3)イ（ア）	・ヒトの呼吸の仕組みについて，肺のつくりと横隔膜などの働きを関連付けて考察し，表現している。	(18	○		
		(3)ウ（ア）	・メダカが魚類であることを理解している。	(19			○
		(3)イ（ア）	・メダカの呼吸の前後における水溶液の色の変化について，呼吸で排出される気体に着目して考察し，表現している。	(20	○		

中学校　２年　理科　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 58.1%

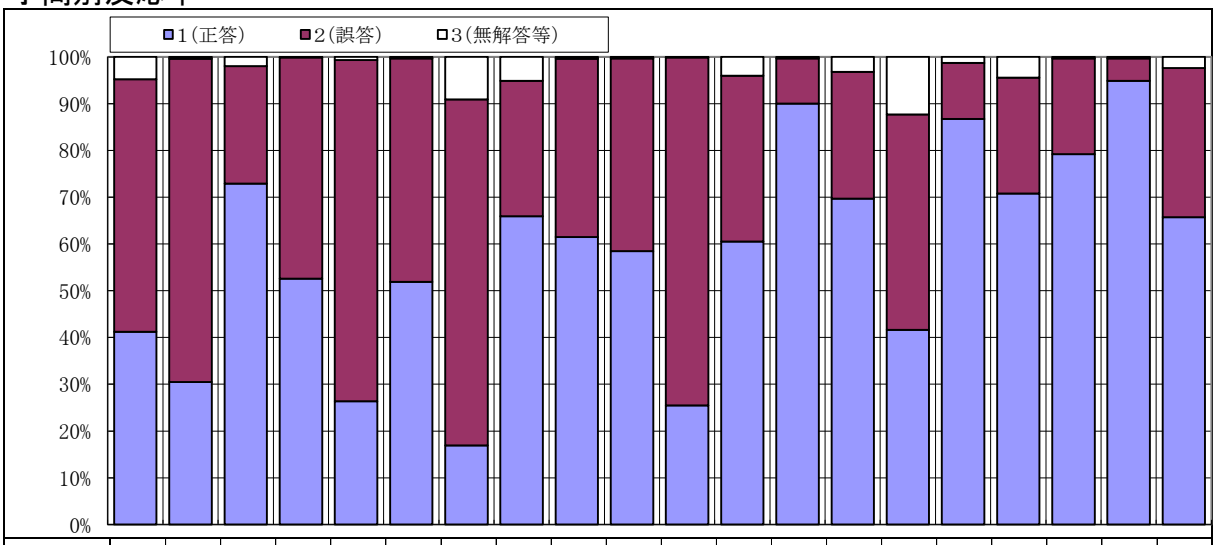
通し番号	出　題　内　容	通過率（%）	設　定通過率（%）
（1	震源の真上の地点の名称	41.2	80.0
（2	主要動が伝わる速さ	30.5	70.0
（3	初期微動継続時間と震源距離の関係	73.0	80.0
（4	示準化石になる生物の条件	52.6	60.0
（5	地層が傾いている方角	26.4	60.0
（6	光の屈折による物の見え方	51.9	60.0
（7	スポットライトの仕組み	16.9	60.0
（8	密度の求め方	65.9	70.0
（9	重力の表し方	61.5	70.0
（１０	浮力の変化	58.4	60.0
（１１	還元の実験の手順	25.5	70.0
（１２	還元の仕組み	60.5	70.0
（１３	金属の粉末をうすく広げる理由	90.0	90.0
（１４	銅の質量と反応した酸素の質量との関係を表すグラフの作成	69.7	75.0
（１５	銅と酸素の質量の比	41.6	60.0
（１６	植物細胞と動物細胞の共通点と相違点	86.8	85.0
（１７	細胞壁の働き	70.8	70.0
（１８	ヒトの呼吸の仕組み	79.2	70.0
（１９	セキツイ動物の分類	94.9	90.0
（２０	メダカの呼吸の様子	65.7	60.0



※├──┤は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　理科

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	41.2	30.5	73.0	52.6	26.4	51.9	16.9	65.9	61.5	58.4	25.5	60.5	90.0	69.7	41.6	86.8	70.8	79.2	94.9	65.7
2 （誤答）	54.0	69.1	25.1	47.3	72.9	47.8	74.0	29.0	38.1	41.2	74.4	35.5	9.7	27.1	46.0	12.0	24.8	20.5	4.8	31.9
3 （無解答等）	4.8	0.4	2.0	0.1	0.7	0.3	9.1	5.1	0.4	0.3	0.1	4.0	0.3	3.2	12.3	1.3	4.4	0.3	0.3	2.4

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%			1		1			1	1	1			14			11	3	4	26	1	
90%～100%	4		20			2		2	10	1	1	2	53	13		37	18	8	83	2	
80%～90%	1		24	3		2	1	18	20	7	1	8	42	29		48	31	43	7	6	
70%～80%	9	1	30	9		12	3	26	11	19		11	7	28	2	12	22	51	1	35	10
60%～70%	7	4	17	21		12	10	35	26	27	4	34	2	22	2	6	12	11		43	30
50%～60%	13	6	14	31	2	39	6	26	20	32	5	38		12	23	3	17	1	1	24	67
40%～50%	14	11	7	30	7	21	4	6	14	21	4	19		9	33	1	5			5	8
30%～40%	22	32	2	17	25	23	5	2	7	4	22	5			31		7			1	2
20%～30%	22	43	1	5	54	5	13		6	4	27			3	20		3				1
10%～20%	20	16			24	1	14		2	1	35				5						
0%～10%	6	5	2	2	5	1	62	2	1	1	19	1		2	2					1	

中学校２年　理科　調査結果の考察

1　設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容区分別・領域別				計
	科学的な思考・表現	技能	知識・理解	物理	化学	生物	地学	
＋10％ より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10％ の範囲内	7	2	5	4	3	5	2	１４
－10％ より低い	3	1	2	1	2	0	3	6
計	１０	3	7	5	5	5	5	２０

2　考察

(1) 全体について

20問中14問が設定通過率の「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好ではあるが、改善を要するものもある。

(2) 成果

①過去に見られた課題に対する改善状況を捉えるために出題した８問については、５問で通過率が上昇した。

②「生物」の領域に関する設問は、通過率の平均が79.5であり、細胞のつくりと働きや、呼吸について、学習内容の定着が図られている。

(3) 課題

①通し番号7)「スポットライトの仕組み」のように、実験から見いだした凸レンズの性質と関連付けて考察し、表現できるかどうかを問う設問の通過率が低いことから、実生活とのつながりが実感できる学習活動を、意図的・計画的に取り入れる必要がある。

②通し番号11)「還元の実験の手順」のように、目的に留意しながら安全に実験を行うための操作の仕方を問う設問の通過率が低いことから、観察・実験の計画を立てる際には、何を検証するための観察・実験であるのかを明確にするとともに、操作の目的や意味も明確に捉えさせる必要がある。

3　今後の指導

実生活とのつながりが実感できる学習活動を、意図的・計画的に設定する。

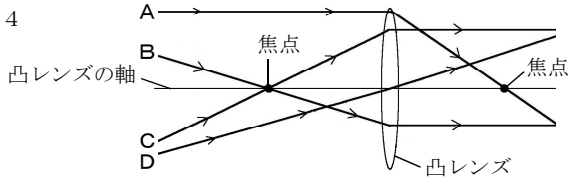
次のような学習活動を、意図的・計画的に設定する。

・授業の導入では、日常的な体験を想起する活動を行い、そこで生じた疑問から学習課題を設定する。
・予想や仮説を発想する際には、既習の内容や日常的な体験を根拠とさせる。
・観察・実験の結果から見いだした規則性をまとめた後に、その規則性を日常生活に関連させて思考させたり、表現させたりするような新たな課題を設定する。
・見いだした規則性を利用して、ものづくりを行う。
・理科の学習で学んだことが、日常生活に利用されている例を適宜紹介する。

［参考　通し番号(7 ］

図４のＡ～Ｄのように光源装置から光を出し，その進み方を調べたところ，Ｂ，Ｃのように進んだ光が，凸レンズを通ったあと凸レンズの軸に平行に進むようすが観察できました。〔洋さんの考え〕が正しくなるように，Ｘに当てはまる内容を「**焦点**」と「**光源**」という語句を用いて書きなさい。

図４



〔洋さんの考え〕 スポットライトの光が広がらずに遠くまで届くのは，［　Ｘ　］ことで，凸レンズを通った光が，凸レンズの軸に平行に進むようにしているからだと考えました。

目的を明確にして観察・実験を計画し、遂行できるように工夫する。

・観察・実験の計画を立てる際には、何を検証するための観察・実験であるのか明確にする。
・観察・実験の計画については、実証性と安全面の観点から検証する。
・生徒の観察・実験に対する目的を明確にするために、操作の仕方の意味について確認する場を設定する。
・観察・実験を行う際は、チェック表を用いたり、確認する係を設けたりするなど、観察・実験の操作の目的が意識されるように工夫する。

［参考　通し番号(11 ］

しばらく加熱を続けると気体が発生しなくなったので，ａ加熱をやめた。

下線部ａについて，正しい操作の順序になるように，次の**ア**～**ウ**を並べかえて，記号を書きなさい。

ア　ガスバーナーの火を消す。
イ　ピンチコックでゴム管を閉じる。
ウ　ガラス管を石灰水の中からとり出す。

4　結果と考察　(5) 英語

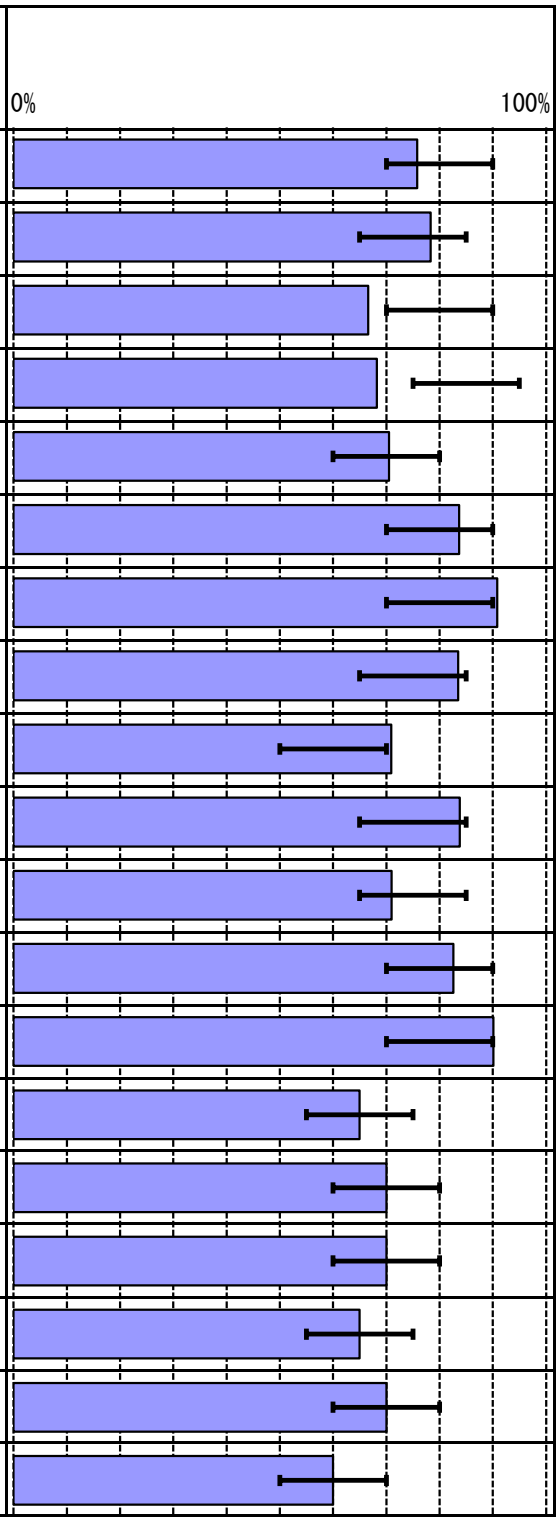
平成２９年度中学校学習状況調査　第１学年　英語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準		通し番号	観点 表現	観点 理解	観点 知識・理解
第１学年	聞くこと	ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・短い英文を聞いて，情報を正確に聞き取ることができる。	(1		○	
		ア(ｵ)	[適切な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて，概要や要点を適切に聞き取ることができる。	(2　(3		○	
		ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・短い会話を聞いて，情報を正確に聞き取ることができる。	(4　(5		○	
		ア(ｳ)	[適切な聞き取り]	・話し手からの発話や質問を聞いて，適切に応じることができる。	(6　(7		○	
	読むこと	ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について，正確に読み取ることができる。	(8　(9 (10		○	
		ウ(ｴ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，大切な部分を読み取り，適切に応じることができる。	(11		○	
		ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・話の流れをつかみながら，文章を正確に読み取ることができる。	(12 (13		○	
	書くこと	エ(ｲ)	[正確な筆記]	・文法にしたがって，正しく英文を書くことができる。	(15	○		
		エ(ｴ)	[適切な筆記]	・自分のことについて，相手に伝わるように適切に英文を書くことができる。	(16	○		
		エ(ｳ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に，適切に英文を書くことができる。	(17	○		
		エ(ｲ)	[言語についての知識・理解]	・正しい語順を用いて，文を構成する知識を身に付けている。	(18 (19 (20			○

中学校　１年　英語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 75.1%

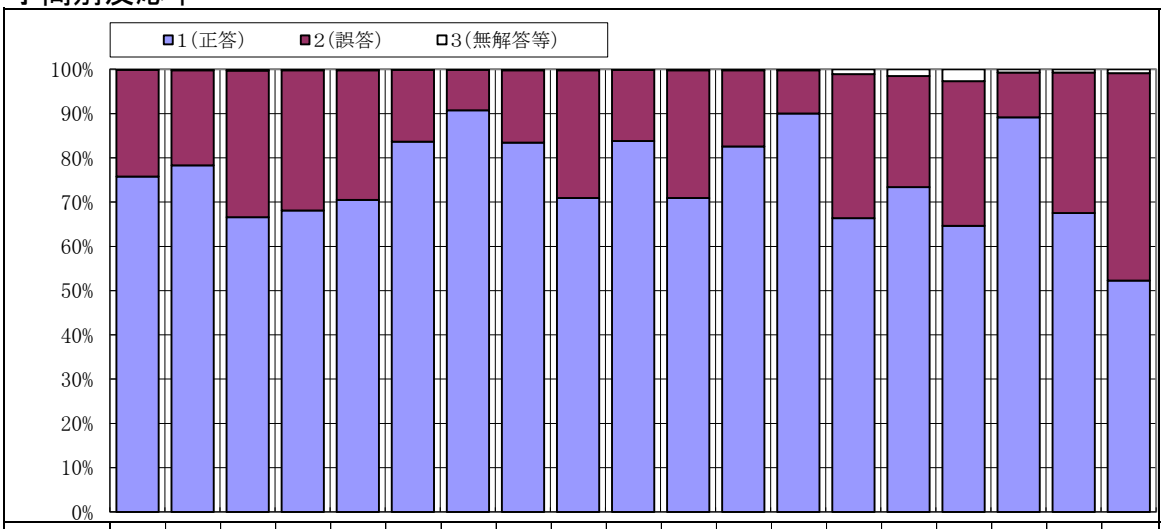
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	（聞）月日、曜日の聞き取り	75.8	80.0
（2	（聞）兄妹の人数の聞き取り	78.3	75.0
（3	（聞）テニスをする人物の聞き取り	66.6	80.0
（4	（聞）買いたい果物についての聞き取り	68.2	85.0
（5	（聞）朝食で食べるものについての聞き取り	70.5	70.0
（6	（聞）持ち物に関する質問に対する適切な応答	83.7	80.0
（7	（聞）友達との会話における適切な応答	90.8	80.0
（8	（読）週末の過ごし方についての会話文の読み取り	83.5	75.0
（9	（読）時間割についての会話文の読み取り	70.9	60.0
（１０	（読）友達の紹介文についての読み取り	83.8	75.0
（１１	（読）メール文の内容に対する適切な返信	71.0	75.0
（１２	（読）適切な会話の構成	82.6	80.0
（１３	（読）適切な会話の構成	90.1	80.0
（１５	（書）be動詞を用いた疑問文の作成	66.3	65.0
（１６	（書）自分の好きなもの（こと）についての英文作成	73.3	70.0
（１７	（書）返信メールの内容を踏まえた英文作成	64.6	70.0
（１８	（書）be動詞を含む疑問文の構造	89.2	65.0
（１９	（書）三単現を含む疑問文の構造	67.5	70.0
（２０	（書）三単現を含む否定文の構造	52.3	60.0



※├──┤ は設定通過率±10%を示している。

中学校　１年　英語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 (正答)	75.8	78.3	66.6	68.2	70.5	83.7	90.8	83.5	70.9	83.8	71.0	82.6	90.1	66.3	73.3	64.6	89.2	67.5	52.3
2 (誤答)	24.1	21.5	33.1	31.7	29.3	16.3	9.2	16.4	28.9	16.1	28.9	17.2	9.8	32.5	25.1	32.7	10.2	31.8	46.8
3 (無解答等)	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	1.1	1.5	2.7	0.7	0.7	0.9

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	3	4		3	1	10	13	6	1	3	1	3	13	3	2	1	15	2	1	
90%～100%	8	6	4	4	2	22	59	18	4	20	4	22	50	9	14	2	52	1	1	4
80%～90%	28	41	8	7	23	59	37	57	17	63	12	49	46	8	22	17	27	22	1	22
70%～80%	50	50	32	39	37	17	8	28	43	22	35	29	8	30	39	28	15	31	9	64
60%～70%	25	14	34	33	36	7	1	7	37	7	53	8	1	32	19	33	6	31	26	24
50%～60%	3	3	30	26	14	2		1	13	2	12	7		22	14	22	2	19	33	4
40%～50%	1		8	4	3	1					1			11	3	2	1	7	23	
30%～40%			1		1									2	1	3		2	17	
20%～30%			1	2	1				1					1	2	3		2	6	
10%～20%															1	2				
0%～10%								1	2	1					1	5		1	1	

中学校１年　英語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

設定通過率の＼分類	観点別			内容区分別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	0	3	1	1	2	1	4
±10％ の範囲内	3	8	2	4	4	5	１３
－10％ より低い	0	2	0	2	0	0	2
計	3	１３	3	7	6	6	１９

2　考察

(1) 全体について

①19問中17問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②「読むこと」に関しては、全ての設問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」にあり、通過率の平均は80.3％と高い。

③「書くこと」に関しては、通過率の平均が68.9％であり、「聞くこと」や「読むこと」に比べて低い。

(2) 成果

①平成28年度調査の類似問題９問のうち６問が昨年度の通過率を上回っており、指導の改善が図られている。

②経年比較している「be動詞の疑問文」「三人称単数現在形」に関する設問の通過率が上昇しており、改善の傾向が見られる。

(3) 課題

①「書くこと」において、読み取った内容を基に適切な英文を書くことに課題が見られる。

②「書くこと」において、三人称単数現在形の否定文について、正しい語順で文を構成する知識の定着に課題が見られる。

3　今後の指導

聞いたり読んだりした内容を整理して、場面や状況、相手の意向等を理解し、文脈に沿った英文を書く指導を工夫する。

・「聞くこと」や「読むこと」におけるインプットの量を増やし、その内容を理解した上で、「書くこと」の活動と関連付けた言語活動に慣れ親しませる。

・場面や目的に応じて適切な内容を書いて表現する活動を、意図的・継続的に設定する必要がある。その際、書き始める前に考えを整理させるなどし、場面や目的に適した内容であることを意識させることが大切である。

「書くこと」に関して、習得した言語材料を活用し「話すこと」の活動と関連付けた指導を工夫する。

・身近な話題等について、文の数や文章構成にとらわれずに書く機会を増やすことにより、英語で表現することに慣れ親しませる。

・目的をもって書く活動を計画的・継続的に取り入れ、習得した言語材料をコミュニケーションの中で活用させながら定着を図る。

・話す活動において用いた語句や表現を、英文にして書くなどの活動につなげることにより、主語や時制、状況等に応じた正しい表記や語順で文を書いたり、構成したりすることへの意識を高める。

※実際の指導例　：通し番号（17

示された英文に続けて自由に会話したり、会話した英文を書いたりする活動を通して、言語材料の定着と、文脈に沿った英文を書く力の育成を目指す指導例

教科書で取り扱われているダイアローグに続く内容をペアで考える。

＜教科書のダイアローグ＞

A：Does your father play any sports?

B：No, he doesn't.
He doesn't play any sports.

上記ダイアローグに続く内容

⇒

考えた内容を基に、間違いを気にせずにペアで会話を続ける。

＜会話例＞

S1: Does your father play any sports?

S2: No, he doesn't.
He doesn't play any sports.

S1: What does he like?

S2: He like music.
He play the guitar.

S1: I see.

⇒

会話した内容を書き、内容と英文が適切かを他のペアとチェックする。その後、再度ペアで会話練習する。

＜修正後の会話文＞

S1: Does your father play any sports?

S2: No, he doesn't.
He doesn't play any sports.

S1: What does he like?

S2: He likes music.
He plays the guitar.

S1: I see.

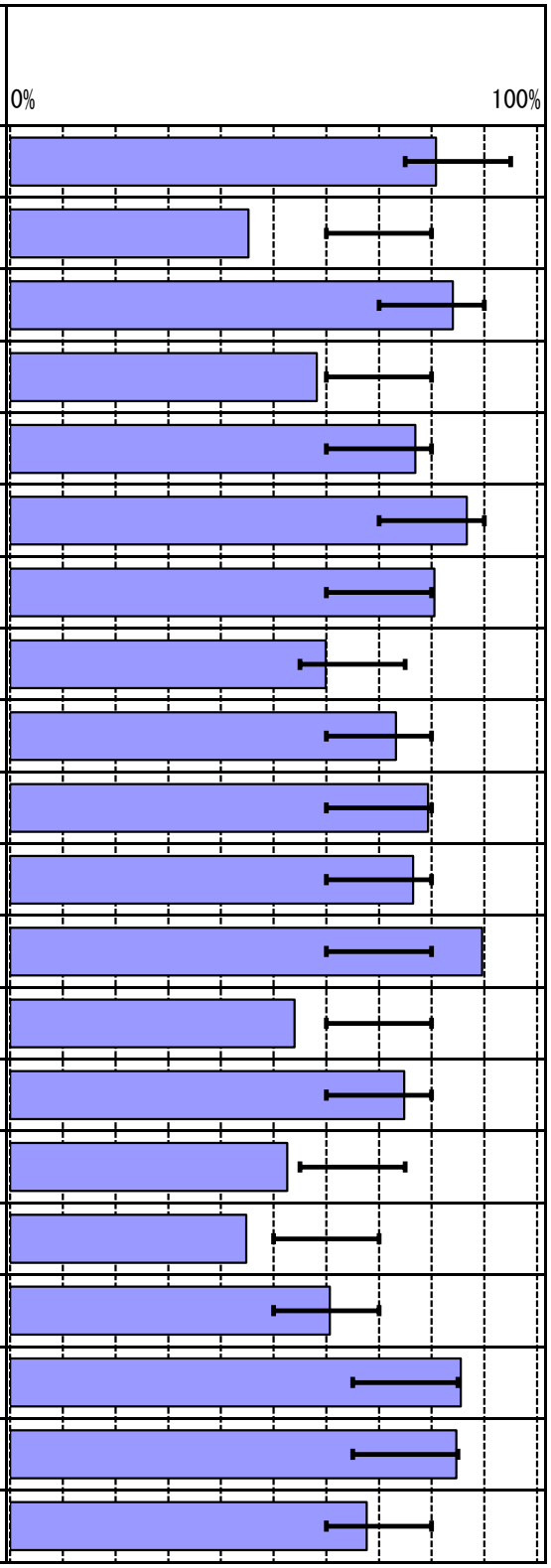
平成２９年度中学校学習状況調査　第２学年　英語　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準		通し番号	観点		
						表現	理解	知識・理解
第２学年	聞くこと	ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・短い英文を聞いて，情報を正確に聞き取ることができる。	(1		○	
		ア(ｲ)	[正確な聞き取り]	・会話を聞いて，情報を正確に聞き取ることができる。	(2　(3		○	
		ア(ｵ)	[適切な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて，概要や要点を適切に聞き取ることができる。	(4　(5		○	
		ア(ｳ)	[適切な聞き取り]	・話し手からの発話や質問を聞いて，適切に応じることができる。	(6　(7		○	
	読むこと	ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について，正確に読み取ることができる。	(8　(9 (10		○	
		ウ(ｴ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について，大切な部分を読み取り，適切に応じることができる。	(11		○	
		ウ(ｳ)	[正確な読み取り]	・話の流れをつかみながら，文章を正確に読み取ることができる。	(12 (13		○	
	書くこと	エ(ｲ)	[正確な筆記]	・文法にしたがって，正しく英文を書くことができる。	(14 (15	○		
		エ(ｳ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に，適切に英文を書くことができる。	(16	○		
		エ(ｵ)	[適切な筆記]	・自分のことについて，内容につながりをもたせて適切に英文を書くことができる。	(17	○		
		エ(ｲ)	[言語についての知識・理解]	・正しい語順を用いて，文を構成する知識を身に付けている。	(18 (19 (20			○

中学校２年　英語　　小問別通過率と設定通過率

平均通過率 70.7%

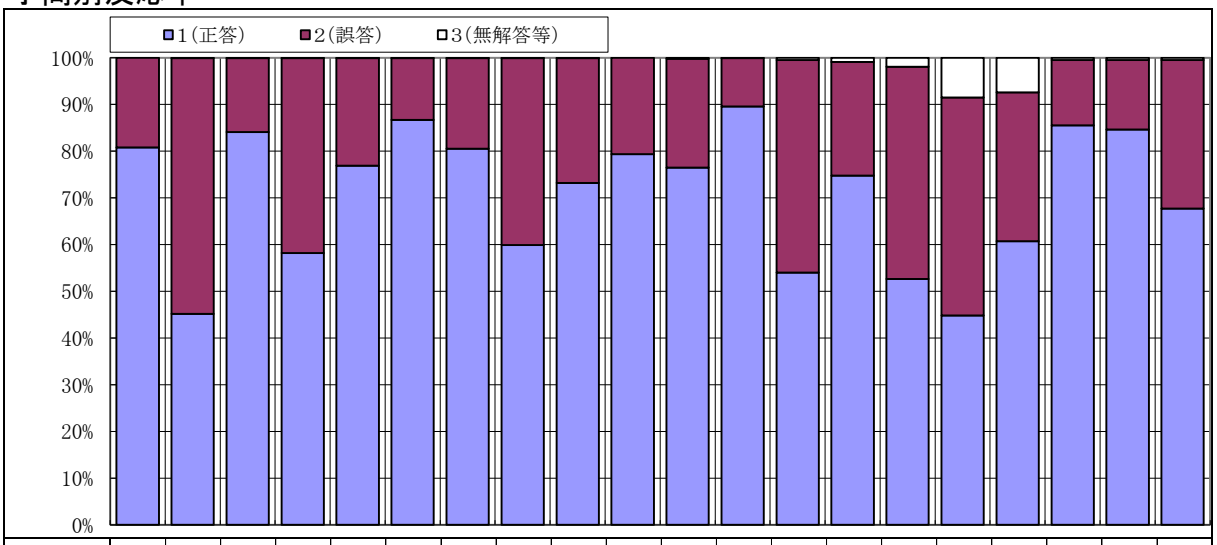
通し番号	出題内容	通過率（%）	設定通過率（%）
（1	（聞）月日、曜日の聞き取り	80.8	85.0
（2	（聞）友人宅での滞在時間の聞き取り	45.2	70.0
（3	（聞）トムがしたことについての聞き取り	84.0	80.0
（4	（聞）話している話題についての聞き取り	58.2	70.0
（5	（聞）明日の天気についての聞き取り	76.9	70.0
（6	（聞）友達との会話における適切な応答	86.7	80.0
（7	（聞）ＡＬＴからの質問に対する適切な応答	80.5	70.0
（8	（読）家庭学習時間についての会話文の読み取り	59.9	65.0
（9	（読）日記の内容についての読み取り	73.2	70.0
（１０	（読）パンフレットの内容についての読み取り	79.3	70.0
（１１	（読）メール文の内容に対する適切な返信	76.5	70.0
（１２	（読）適切な文章の構成	89.6	70.0
（１３	（読）適切な文章の構成	54.0	70.0
（１４	（書）三単現を用いた肯定文の作成	74.8	70.0
（１５	（書）疑問詞を用いた未来の文の作成	52.6	65.0
（１６	（書）送信メールの内容を踏まえた英文作成	44.8	60.0
（１７	（書）将来なりたいものについての英文作成	60.7	60.0
（１８	（書）過去進行形を含む疑問文の構造	85.5	75.0
（１９	（書）have to を含む肯定文の構造	84.7	75.0
（２０	（書）Can I を含む疑問文の構造	67.7	70.0



※├──┤は設定通過率±10%を示している。

中学校　２年　英語

小問別反応率



通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20
1 （正答）	80.8	45.2	84.0	58.2	76.9	86.7	80.5	59.9	73.2	79.3	76.5	89.6	54.0	74.8	52.6	44.8	60.7	85.5	84.7	67.7
2 （誤答）	19.2	54.7	15.8	41.7	23.0	13.2	19.4	40.0	26.7	20.6	23.3	10.3	45.5	24.3	45.4	46.7	31.9	14.0	14.9	31.8
3 （無解答等）	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.5	0.9	1.9	8.5	7.4	0.5	0.5	0.5

小問別通過率度数分布表（118校）

は県平均通過率

通し番号	(1	(2	(3	(4	(5	(6	(7	(8	(9	(10	(11	(12	(13	(14	(15	(16	(17	(18	(19	(20	平均通過率
100%	1		6	3	3	9	4		4		4	11		5		1	2	7	11	4	
90%～100%	17	1	26	1	7	41	11	1	5	12	3	51		21		1	1	40	17	3	1
80%～90%	56	1	53	9	32	51	53	7	27	44	39	47	1	31		2	15	44	57	15	10
70%～80%	31	3	25	15	53	11	37	13	43	45	48	5	4	20	13	6	19	14	21	34	60
60%～70%	8	9	6	26	18	3	8	38	20	12	15	2	25	21	21	10	25	7	9	30	34
50%～60%	4	29	1	28	4	1	3	35	14	4	8	2	43	10	41	32	24	3	1	18	9
40%～50%		30		22		1	1	20	3	1			29	4	21	21	14	2	1	7	3
30%～40%		23		9				2	1				11	2	14	22	9			4	
20%～30%		15		4				1					4	1	6	13	5			2	
10%～20%		5														8	1				1
0%～10%	1	2	1	1	1	1	1	1	1		1		1	3	2	2	3	1	1	1	

中学校２年　英語　調査結果の考察

1　設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 / 設定通過率の	観点別			領域別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
＋10％ より高い	0	2	1	1	1	1	3
±10％ の範囲内	2	8	2	4	4	4	１２
－10％ より低い	2	3	0	2	1	2	5
計	4	１３	3	7	6	7	２０

2　考察

(1)　全体について

①20問中15問が設定通過率の「＋10％より高い」又は「±10％の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

②「書くこと」「聞くこと」に関して、「－10％より低い」設問が各２問あり、課題が見られる。

(2)　成果

①「読むこと」に関してはおおむね良好であり、ほぼ全ての設問で設定通過率を上回った。

②「書くこと」において、正しい語順で文を構成する知識の定着状況はおおむね良好である。

(3)　課題

①「聞くこと」において、まとまりのある英文を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることに課題が見られる。

②「書くこと」において、まとまりのある英文の内容を正確に読み取った上で、文脈に沿って自分の考えや気持ちなどを適切な英文で書くことに課題が見られる。

3　今後の指導

「聞くこと」に関して、多様な語・表現をインプットしたりアウトプットしたりする活動や、目的をもって聞く活動の充実を図る。

・様々な場面や状況において、自然な口調で話される英文を聞く機会を設定し、速さや多様な表現に慣れさせる。
・教師の話す英語は、多様な表現を織り交ぜることを意識する。
・授業のウォーミングアップ等において、教師がまとまりのある英文で話し、生徒がその内容について応答するなど、インプットしたりアウトプットしたりする活動を取り入れる。
・聞くポイントを事前に示したり、聞く場面や状況を明確にしたりするなど、目的をもって聞く活動を取り入れる。

「書くこと」に関して、聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちなどを読み手に正しく伝わるように書く活動の充実を図る。

・聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや気持ちなどを英文で書くなど、複数の技能を統合して行う活動に慣れ親しませる。その際、聞いたり読んだりしたことの全体を理解した上で、伝えるべき内容は何かを判断した上で表現できるよう指導する。
・soやthenなどの接続詞や副詞を用いながら、文と文の順序や相互の関連に注意を払い、一貫性のある文章を書くことができるよう指導する。
・生徒が書いた英文の内容が適切であるか、表現が正確であるかなどの視点で生徒一人一人の学習状況を把握し、学習内容の確実な定着に向けてフィードバックを行うことにより、適切な筆記や正確な筆記につなげる。

※実際の指導例：通し番号(16

メール文の内容を的確に理解した上で、自分の考えや気持ちなどを適切な英文で書く、複数の技能を統合して行う活動の例

<クラスメートのメグ（Meg）から届いたメール>
Hi, ○○.
Do you have any plans next Sunday?　My sister and I are going to see a movie.　Why don't you come with us?
Meg
※解答例　Hi, Meg.　Thank you for your e-mail.　I will be free next Sunday.　So I want to see a movie with you.
What time shall we meet?　○○

【指導のポイント】
・メール文の内容を的確に理解した上で、返信メールとして適切な英文を考えさせる。
・返信メールの英文をペアやグループで紹介し合い、友達の英文から適切な内容や表現に気付かせる。